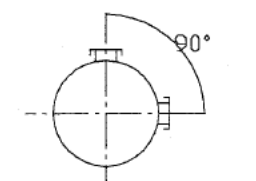


備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

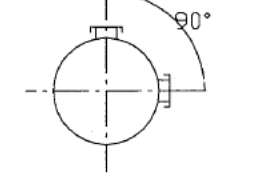
記号	名称
⊘	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。  
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

※1 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



※2 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。



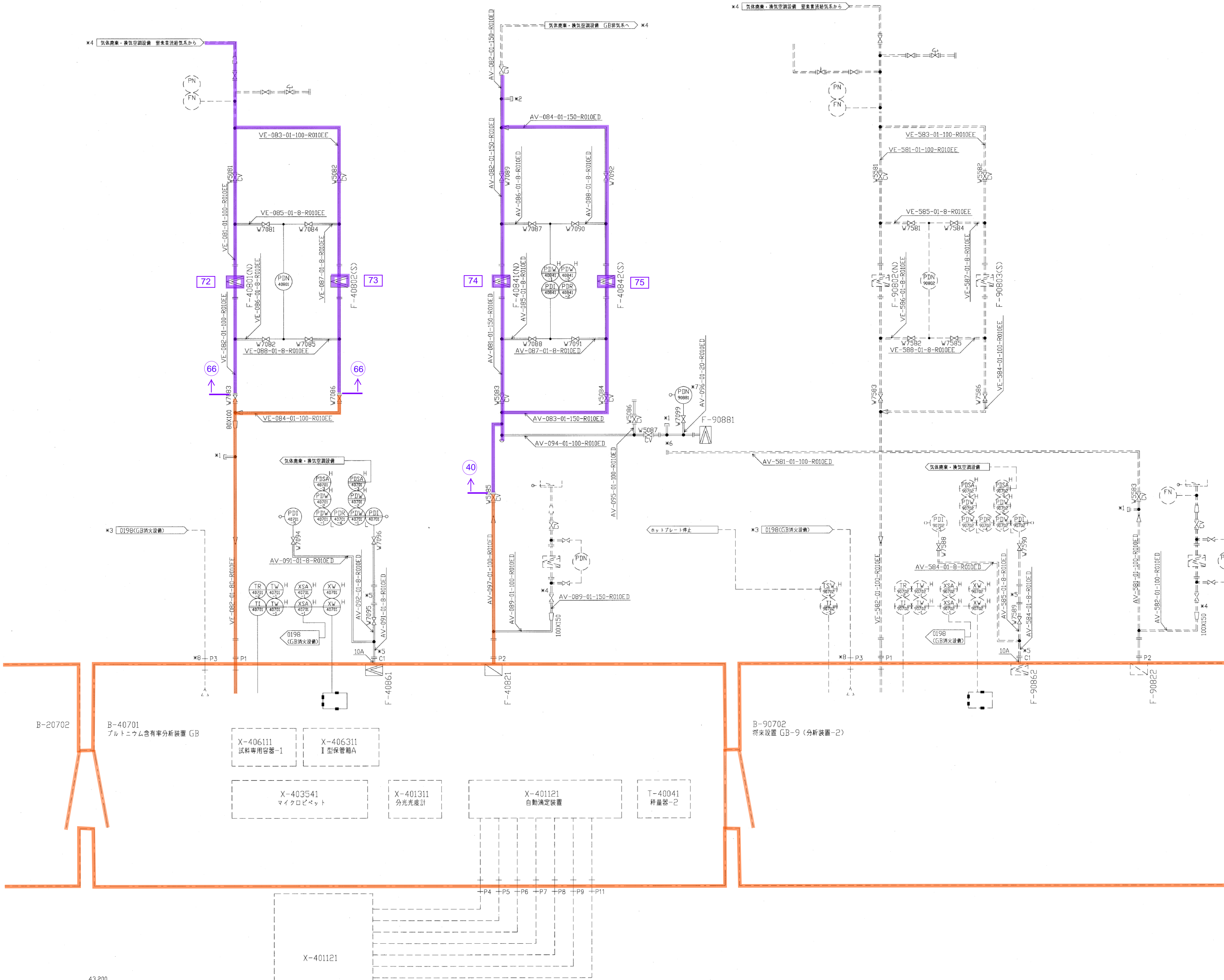
- ※3 防火設備(GB消火設備) EFD参照。
- ※4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- ※5 異径フランジ(8AX10A)。
- ※6 気送設備EFD(PF-0161-4122-001)参照。
- ※7 受払・分配装置及び搬送装置1・2取扱説明書 (PM-0163-4368-001)参照。
- ※8 分析機器配管配線図 (PM-0163-4141-001)参照。
- ※9 給気口近傍に設置する。

製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア (B-10701,B-47701) 工程:0163(GB)(1/18)		







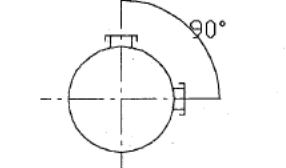


(凡例)

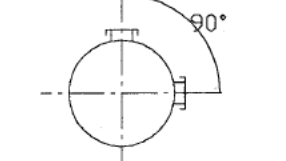
記号	名称
⊥	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。  
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

\*1 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



\*2 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。

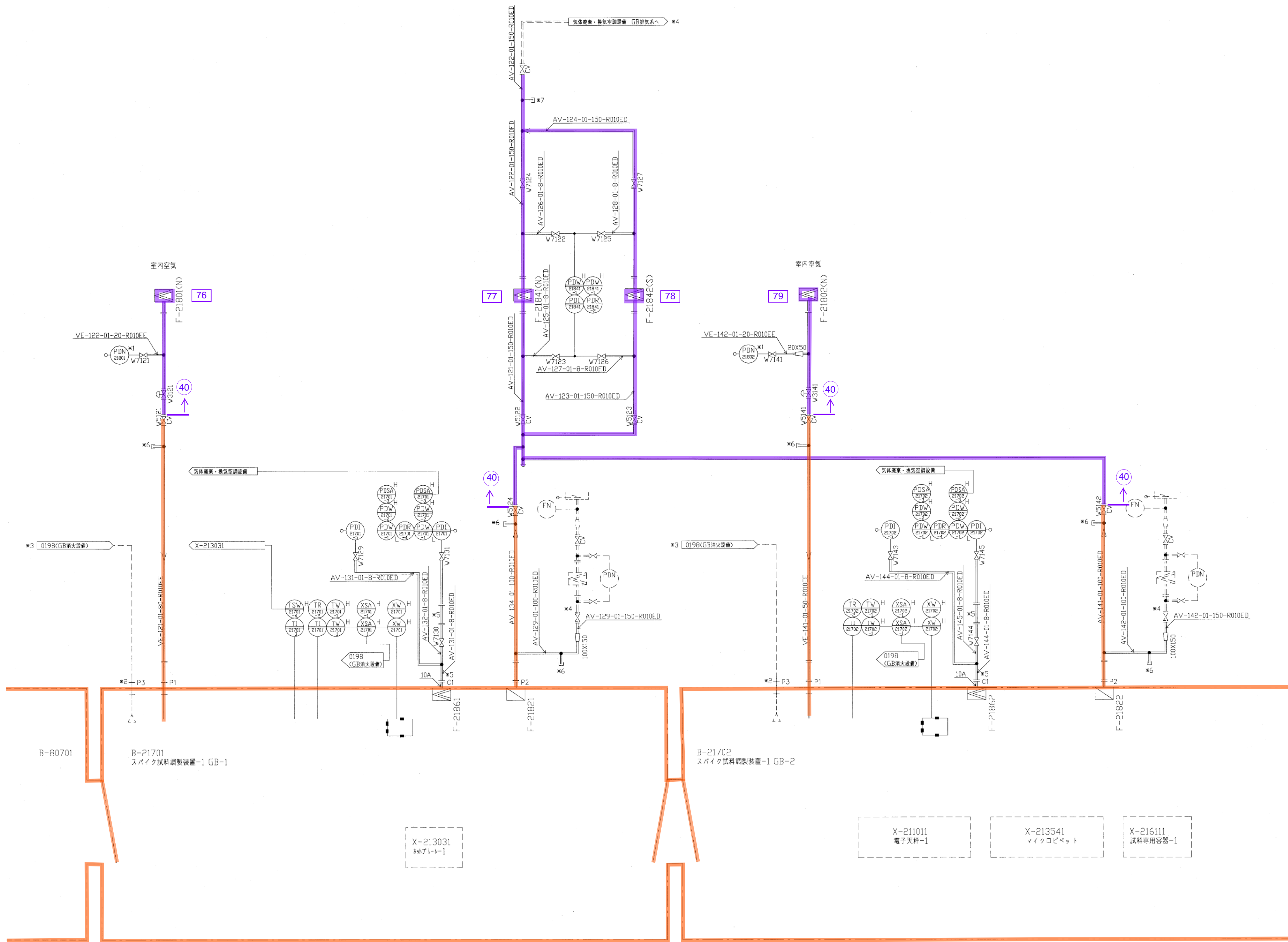


\*3 防火設備(GB防火設備) EFD参照。  
\*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。  
\*5 異径フランジ (8AX10A)。  
\*6 将来設置Bの排気フィンと接続する。  
\*7 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
\*8 給気口近傍に設置する。

4. B-90702は将来設置。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア (B-40701, B-90702) 工種: 0163 (GB) (3/18)		





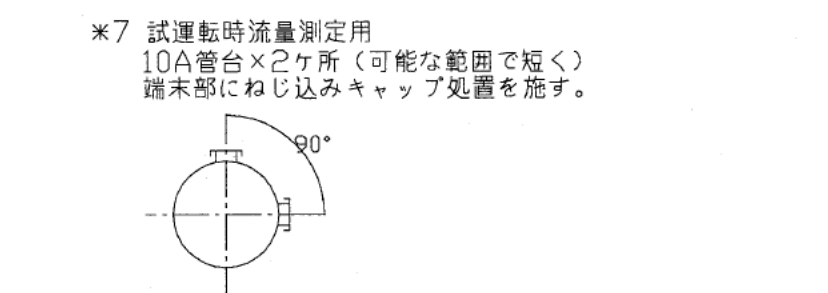
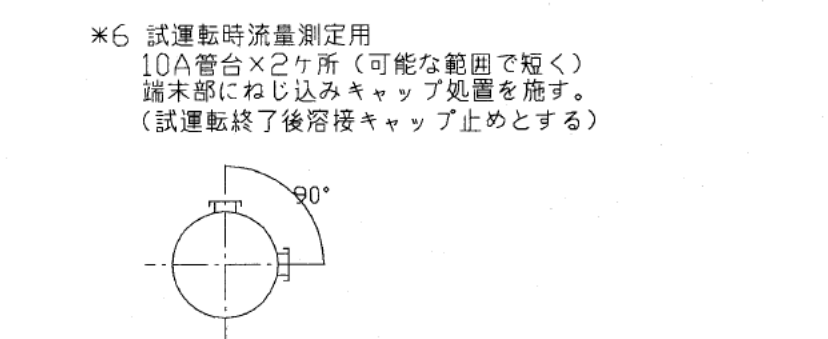
備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

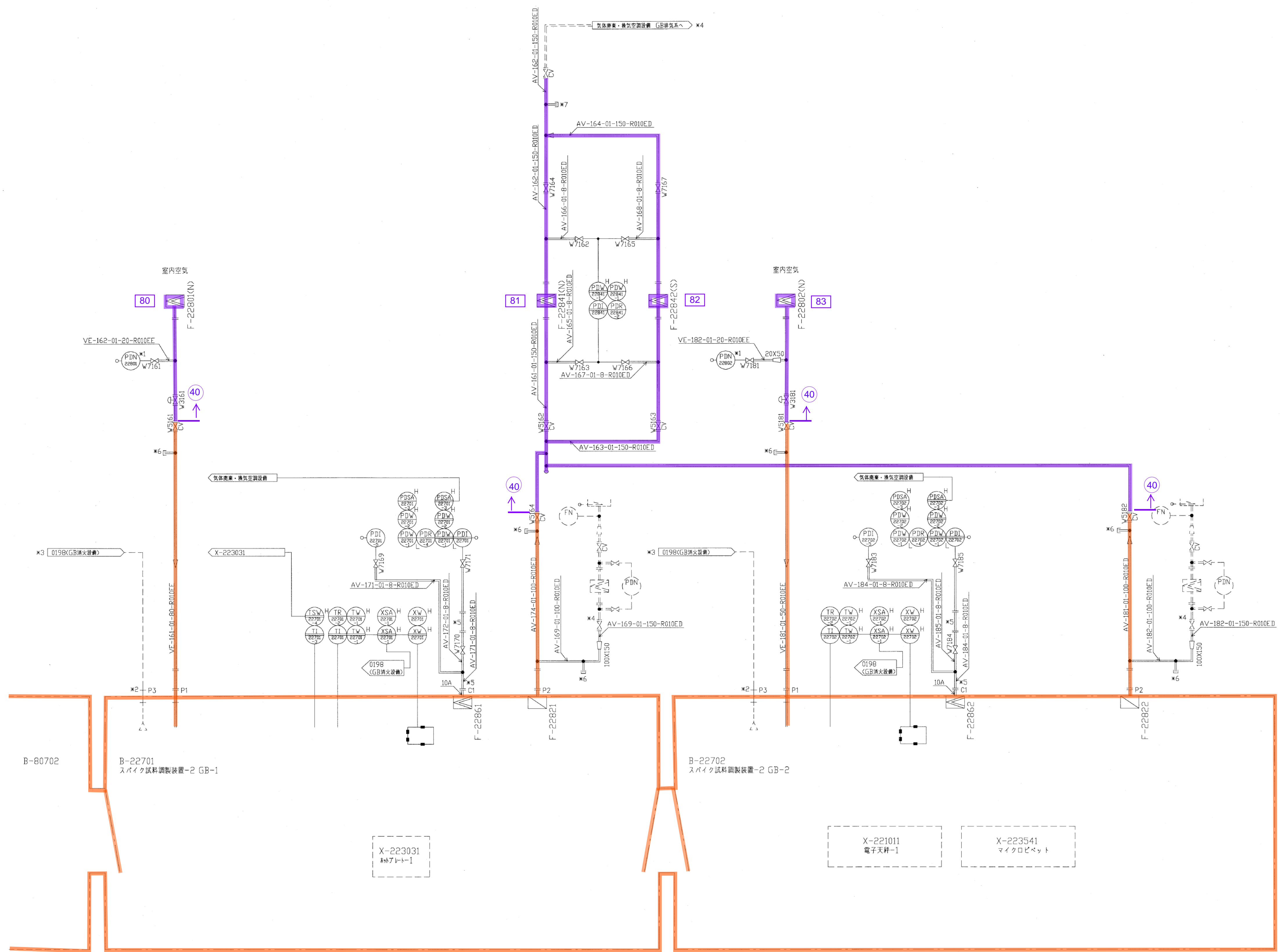
記号	名称
	普通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、詰未部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り機系統図(PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径ファンジ(BAX10A)。

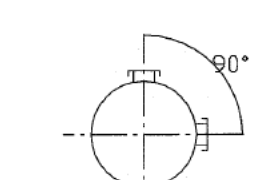
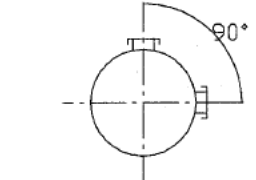


客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロー図 (B-21701,B-21702) I程:0163(GB) (4/18)		



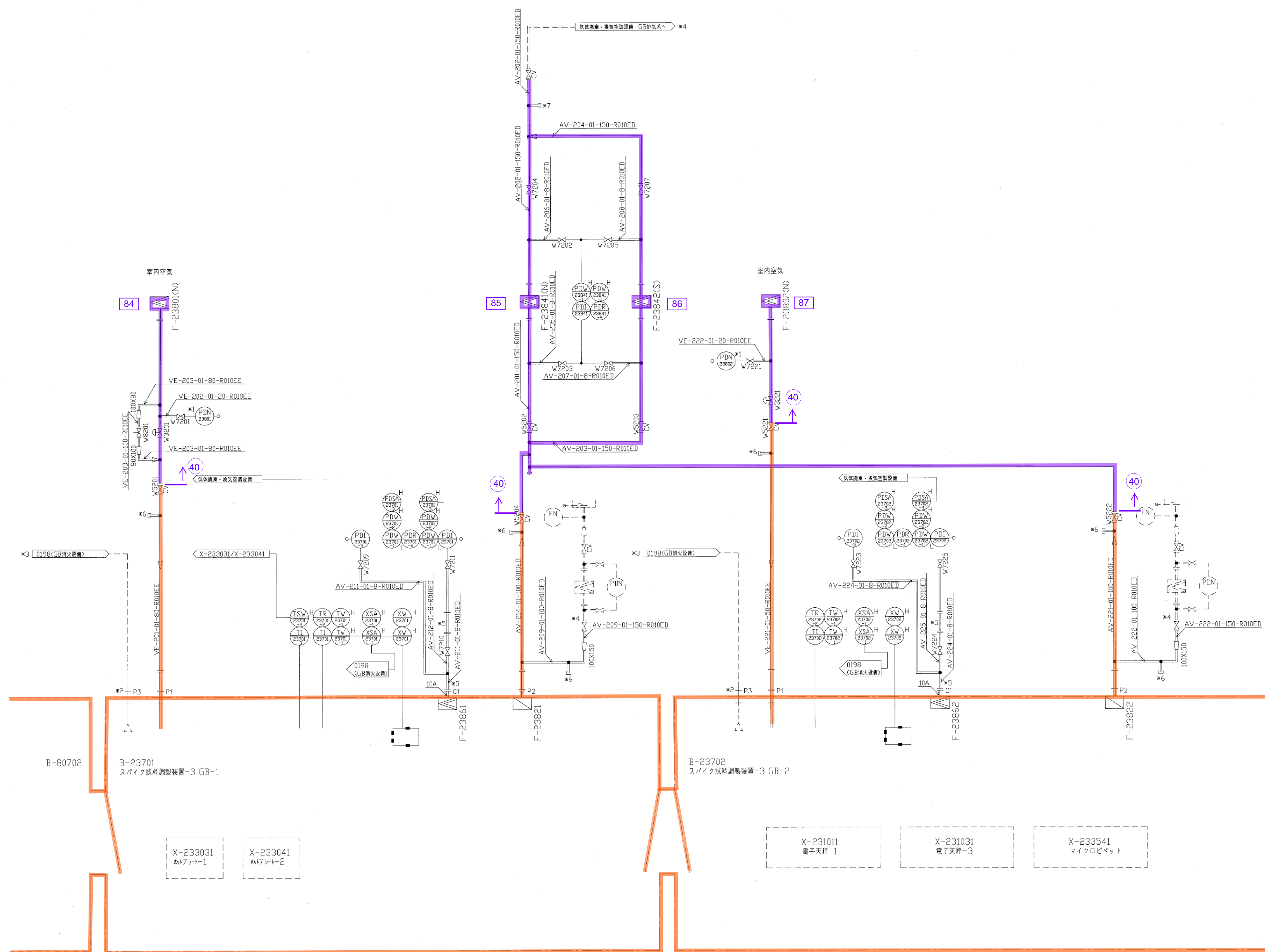


2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別製第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備(GB防火設備) EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径ファンジ (BAX10A)。
  - \*6 試運転時流量測定用 10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
  - \*7 試運転時流量測定用 10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダ/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア図 (B-22701, B-22702) I程: 0163 (GB) (5/18)		



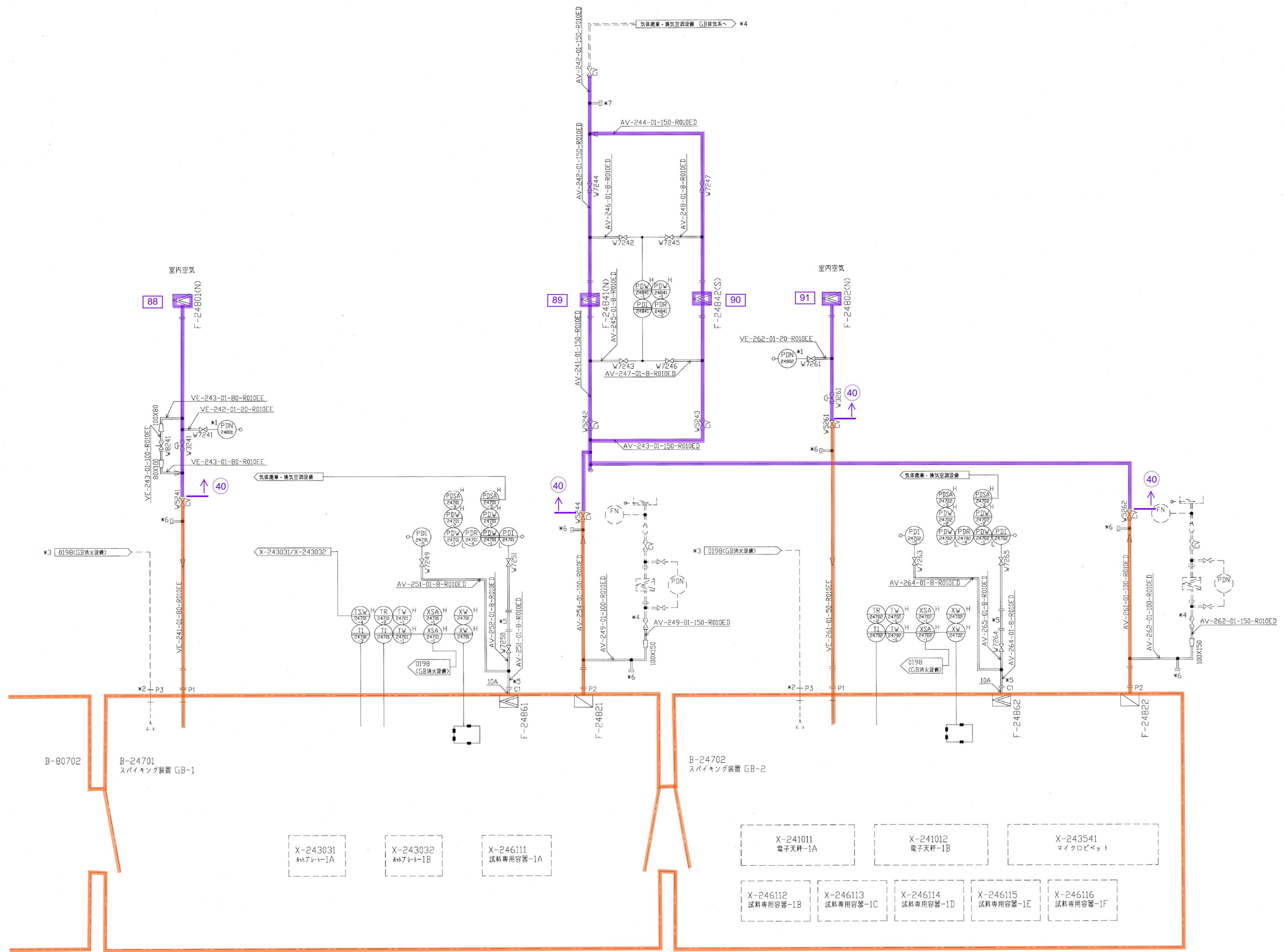


- 備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  
 (凡例)  

記号	名称
	貫通口
  2. 中央監視室に表示がある計装TAGに異しては制御室にも表示する。
  3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
    - \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
    - \*2 給気口近傍に設置する。
    - \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
    - \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
    - \*5 異径ファンジ(BAX10A)。
    - \*6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
    - \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルトニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロ-図 (B-23701,B-23702) 工程:0163(GB) (6/18)		





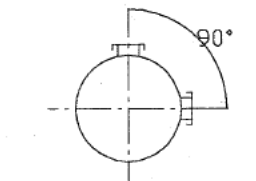
備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	貫通口

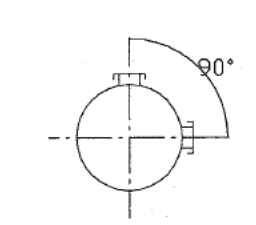
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに異しては別御第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
- \*4 グローボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径ファンジ(8AX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用  
10A相当×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



\*7 試運転時流量測定用  
10A相当×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ処置を施す。



B-80702

B-24701  
スパイクンダ装置 GB-1

B-24702  
スパイクンダ装置 GB-2

X-243031  
電子天秤-1A

X-243032  
電子天秤-1B

X-246111  
試料専用容器-1A

X-241011  
電子天秤-1A

X-241012  
電子天秤-1B

X-243541  
マイクロピセット

X-246112  
試料専用容器-1B

X-246113  
試料専用容器-1C

X-246114  
試料専用容器-1D

X-246115  
試料専用容器-1E

X-246116  
試料専用容器-1F

発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロ-図 (B-24701,B-24702) 工程:0163(GB) (7/18)		

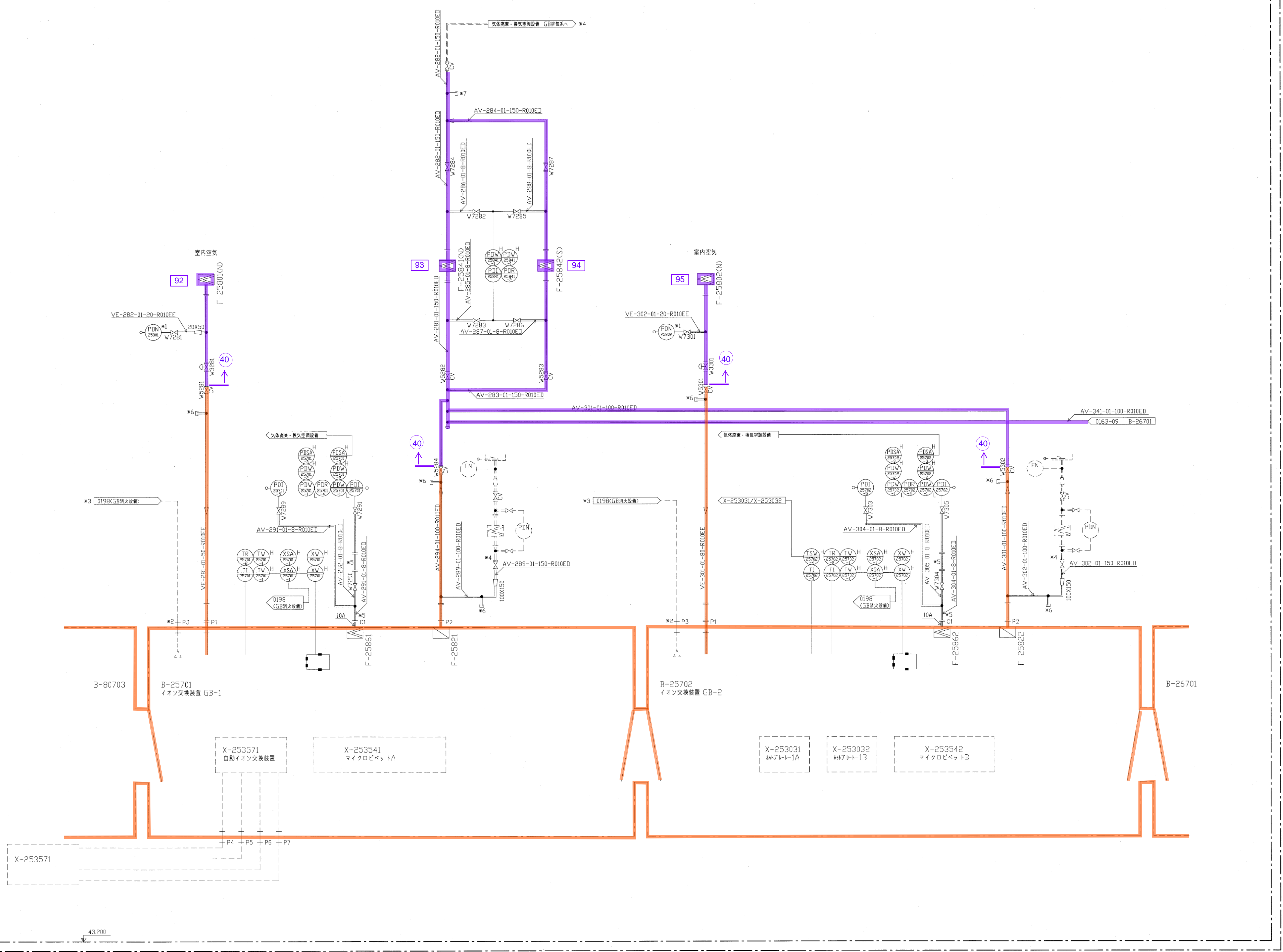
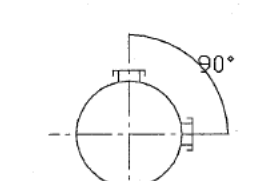
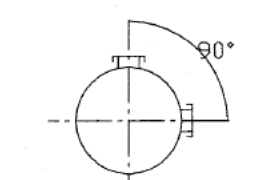


備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  
(凡例)

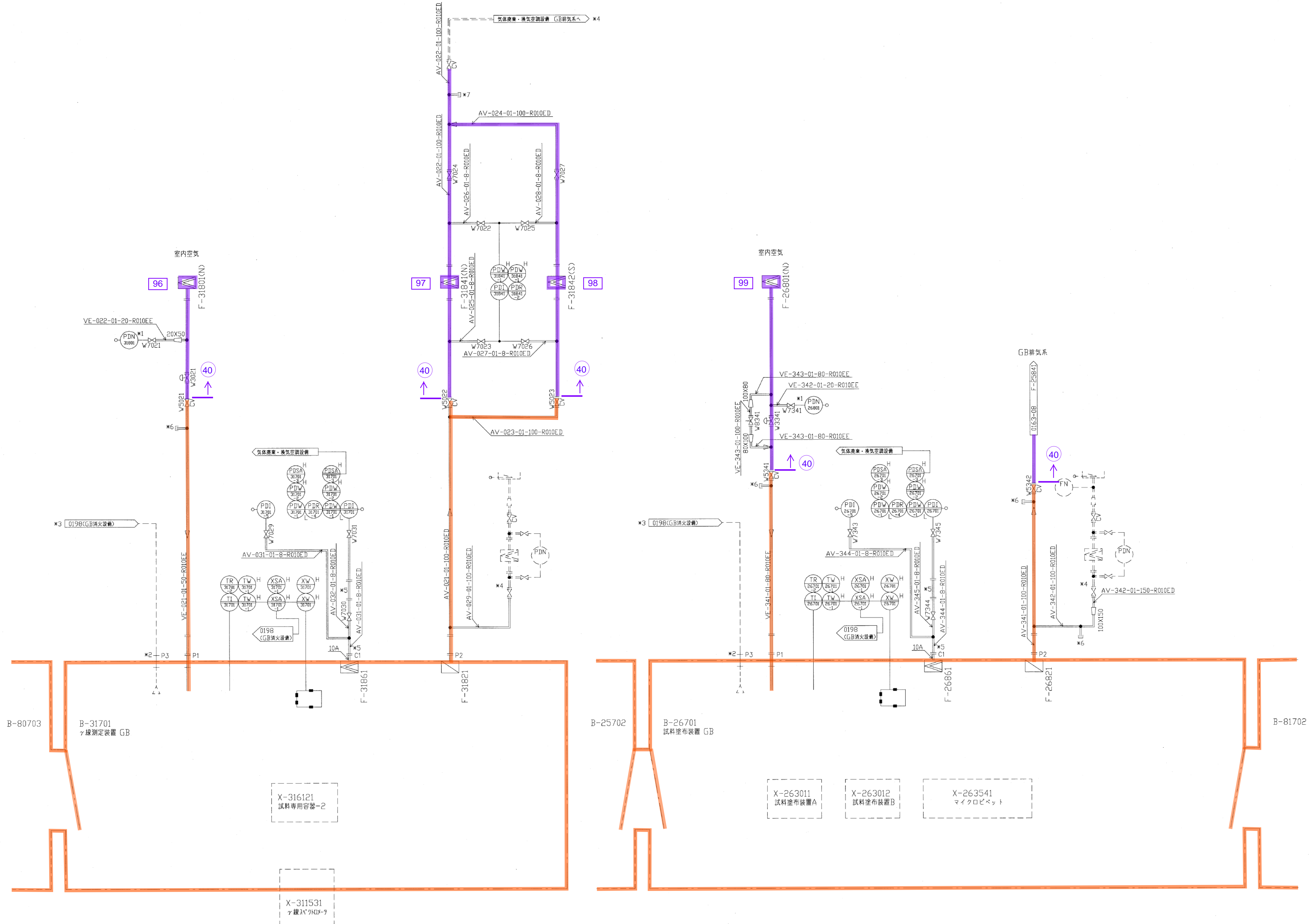
記号	名称
II	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御室にも表示する。  
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ  
処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防消火設備(GB消火設備) EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図  
(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ (8AX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
- \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。







(凡例)

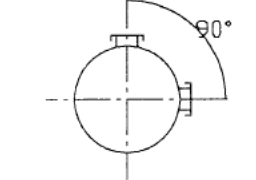
記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。

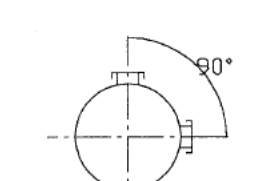
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- ※1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
- ※2 給気口近傍に設置する。
- ※3 防消火設備(GB消火設備) EFD参照。
- ※4 グローボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- ※5 異径フランジ (8AX10A)。

※6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後戻りキャップ止めとする)

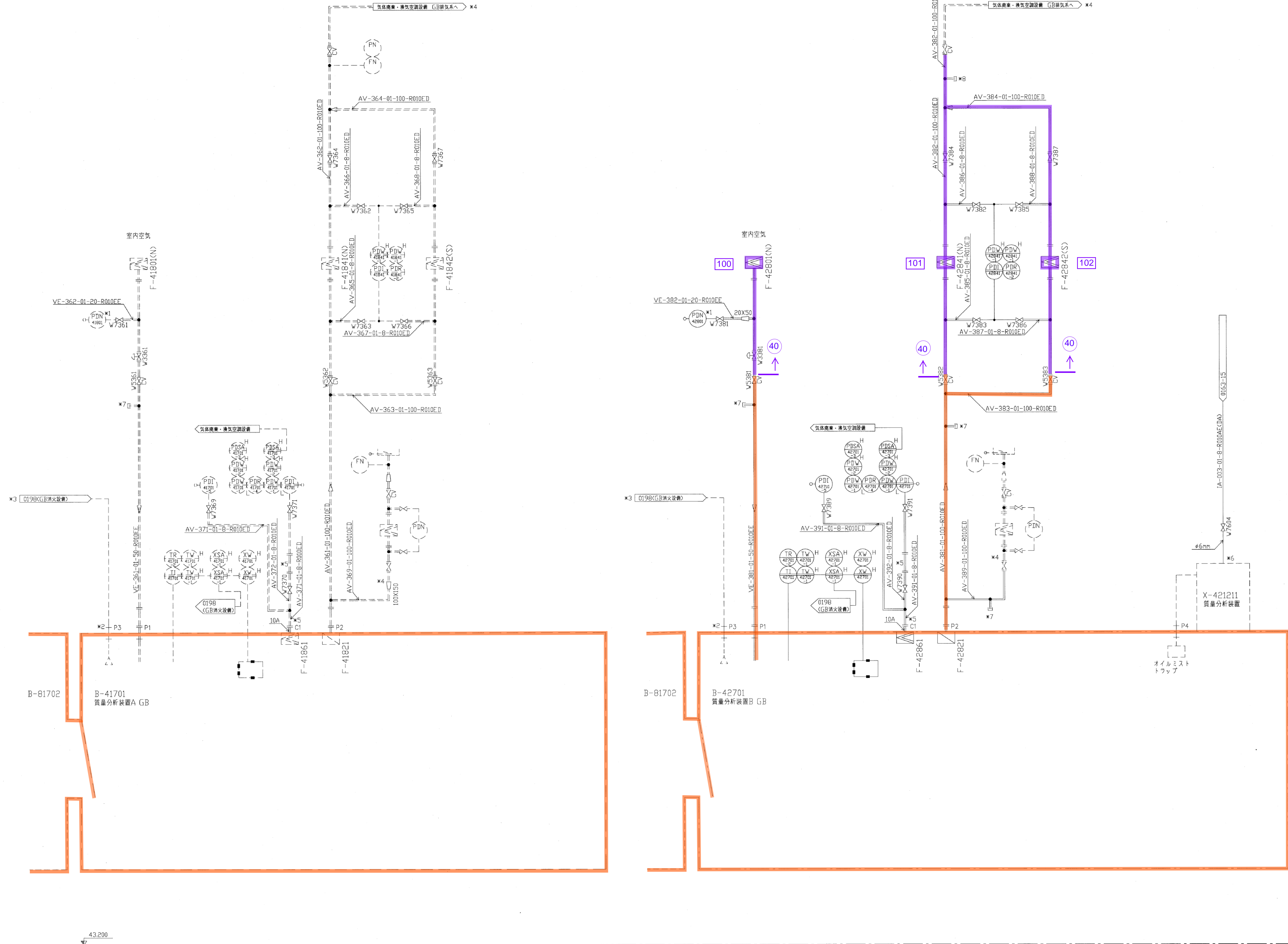


※7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ処置を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) アルトニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア (B-31701, B-26701) 工程: 0163 (GB) (9/18)		





備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

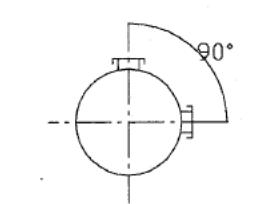
(凡例)

記号	名称
	消火器

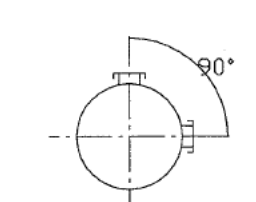
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに異しては制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径ファンジ(8AX10A)。
- \*6 分析機器配管図(PM-0163-4141-001)参照。
- \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後戻りキャップ止めとする)



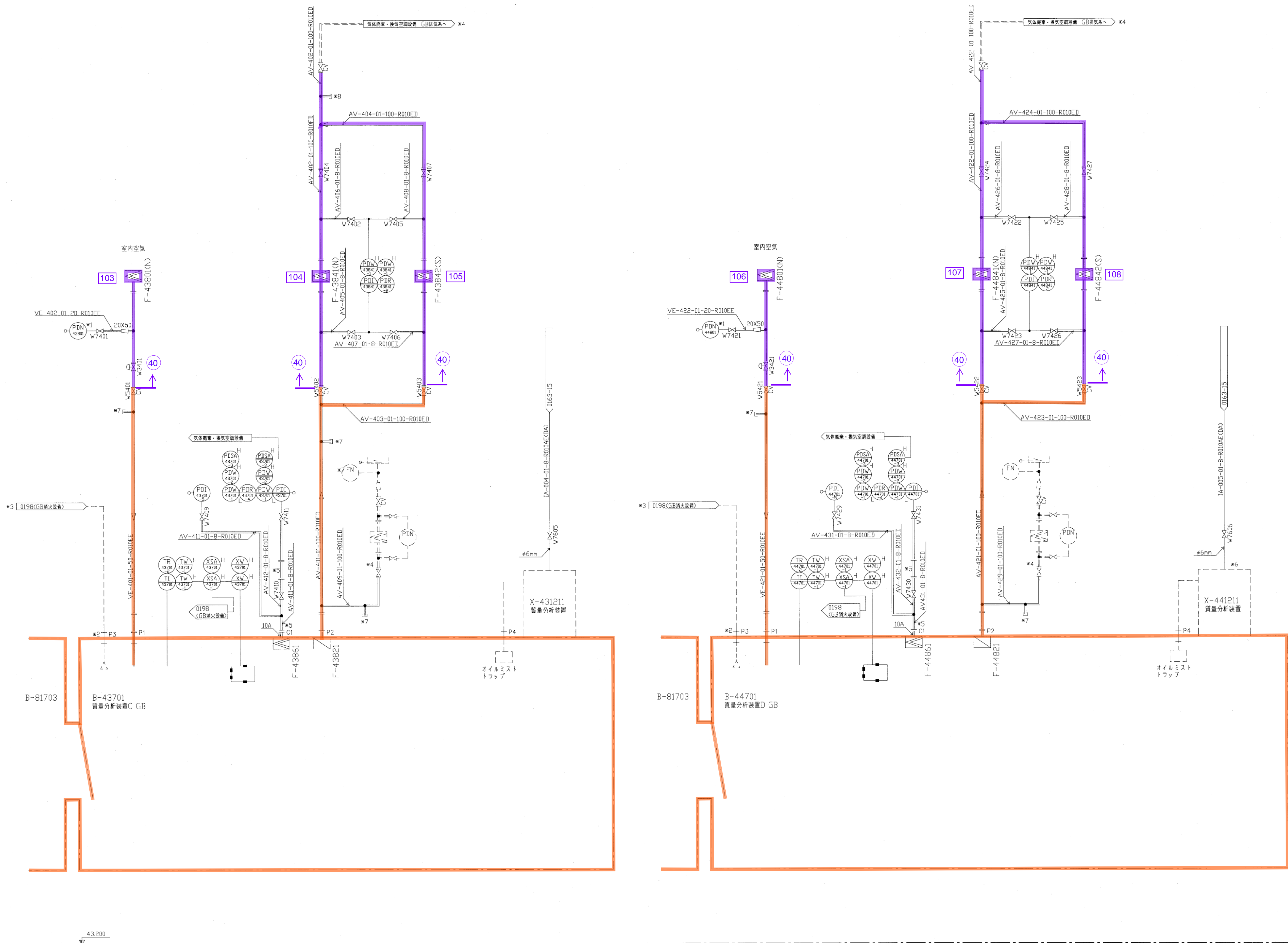
- \*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ処置を施す。



4. B-41701は将来設置。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロ-図 (B-41701,B-42701) 工程:0163 (GB) (10/18)		





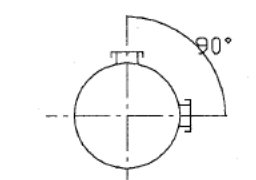
備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	貫通口

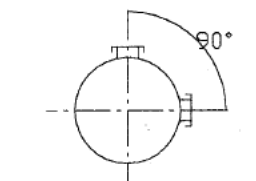
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防消火設備(GB消火設備) EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ (8AX10A)。
- \*6 分析機器配管配線図 (PM-0163-4141-001)参照。
- \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

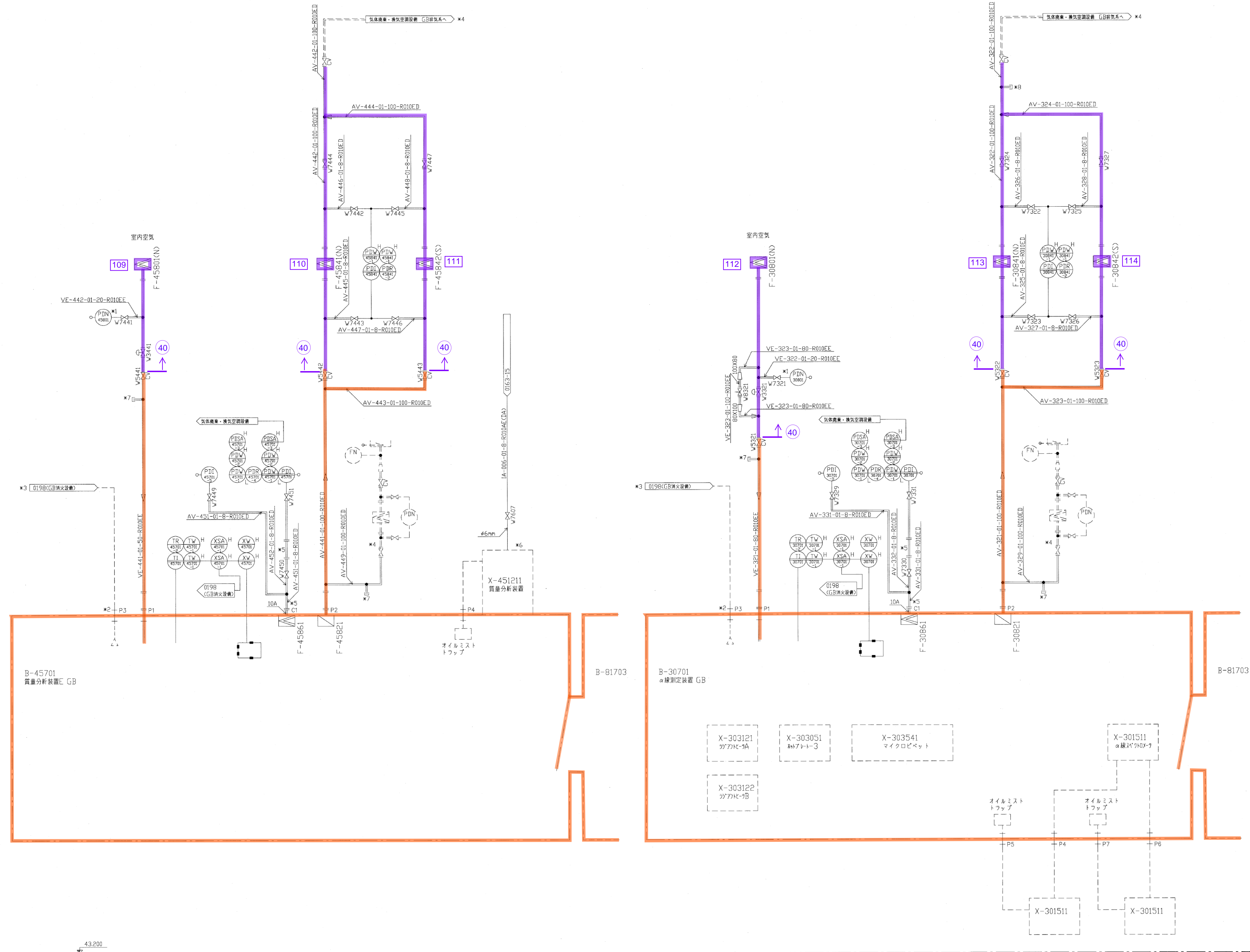


- \*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) アルミニウム・フッ素分析設備 エンジニアリングフロア図 (B-43701, B-44701) 工程: 0163 (GB) (11/18)		

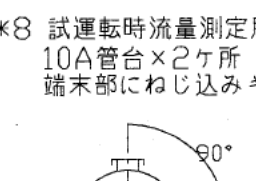
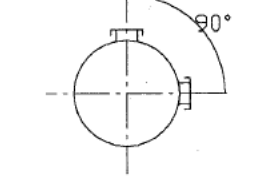




備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
⊥	貫通口

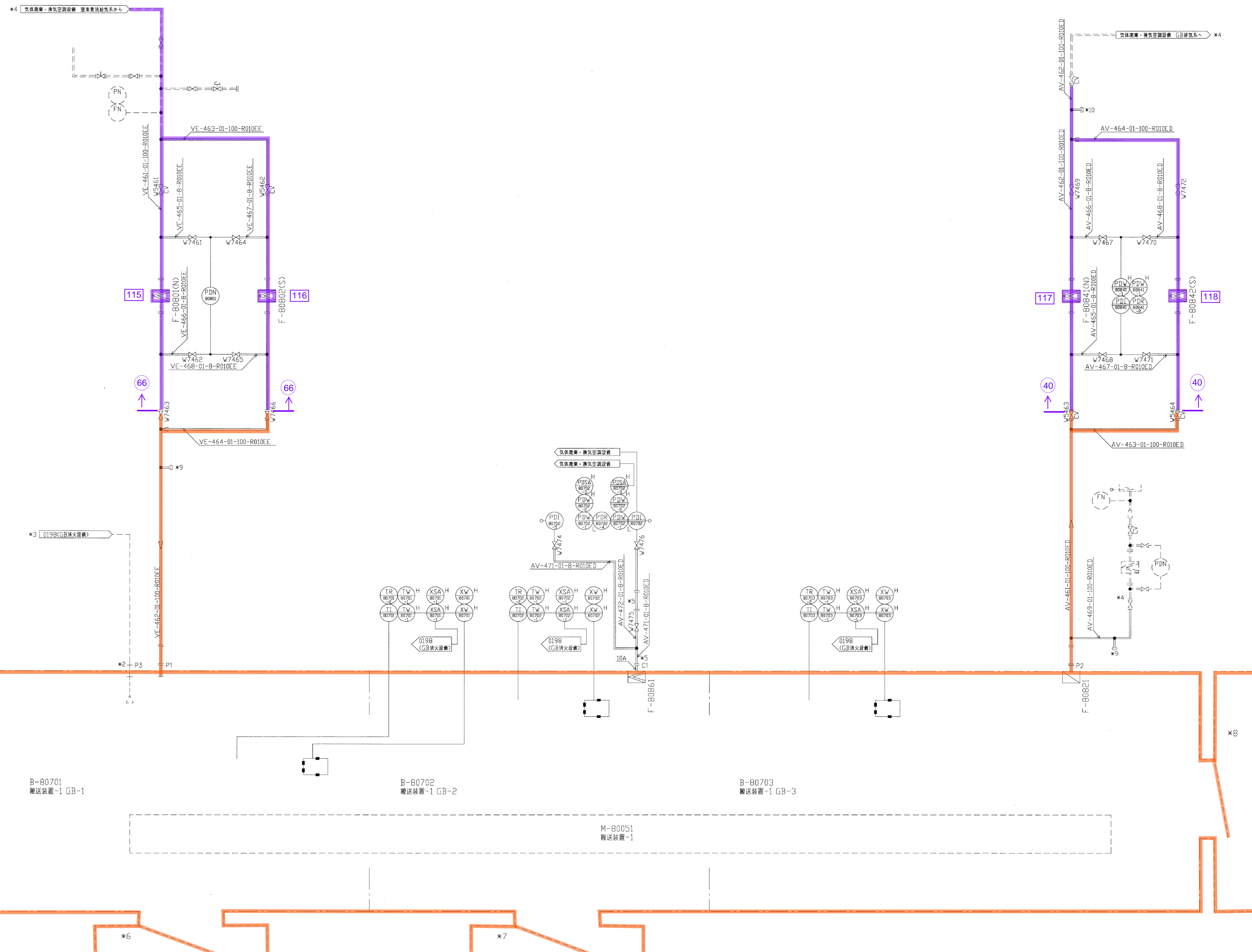
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに關しては制御室にも表示する。  
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径フランジ(BAX10A)。
  - \*6 分析機器配管配線図(PM-0163-4141-001)参照。
  - \*7 試運転時流量測定用10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



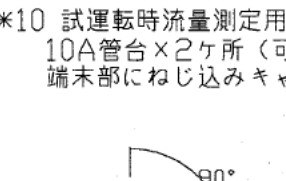
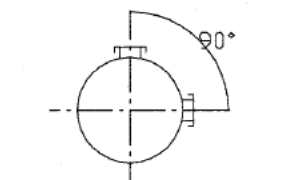
- \*8 試運転時流量測定用10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。

発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロ-図 (B-45701,B-30701) 工程:0163(GB) (12/18)		

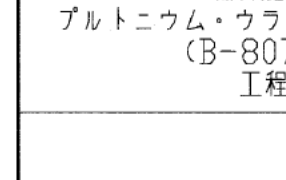
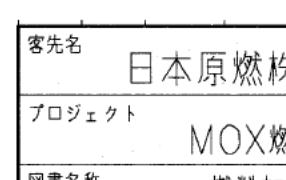
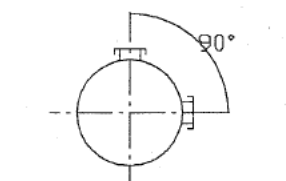




2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別冊第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取り出し時、箱末部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備(GB消火設備)EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径フランジ(BAX10A)。
  - \*6 B-80701と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-10701, B-20701, B-21701
  - \*7 B-80702と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-22701, B-23701, B-24701
  - \*8 B-80703と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-25701, B-31701, B-90701
  - \*9 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
箱末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



- \*10 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
箱末部にねじ込みキャップ処置を施す。



製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルトニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア図 (B-80701, B-80702, B-80703) 工程: 0163 (GB) (13/18)		

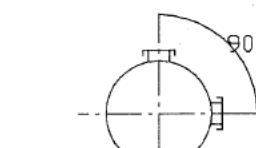


備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

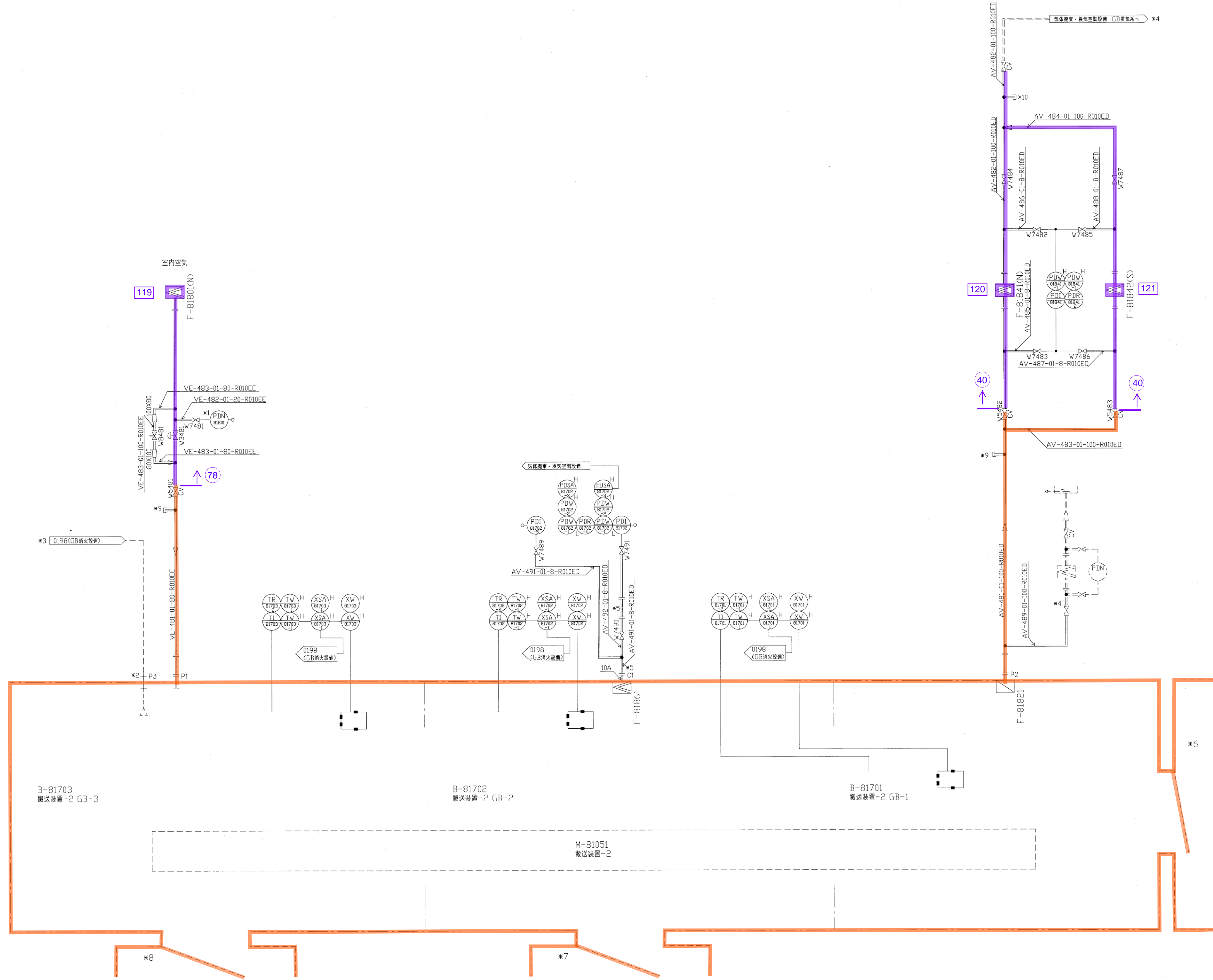
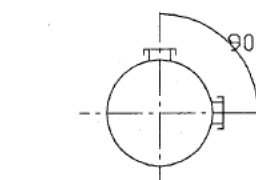
記号	名称
Ⅰ	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては、制御室にも表示する。  
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

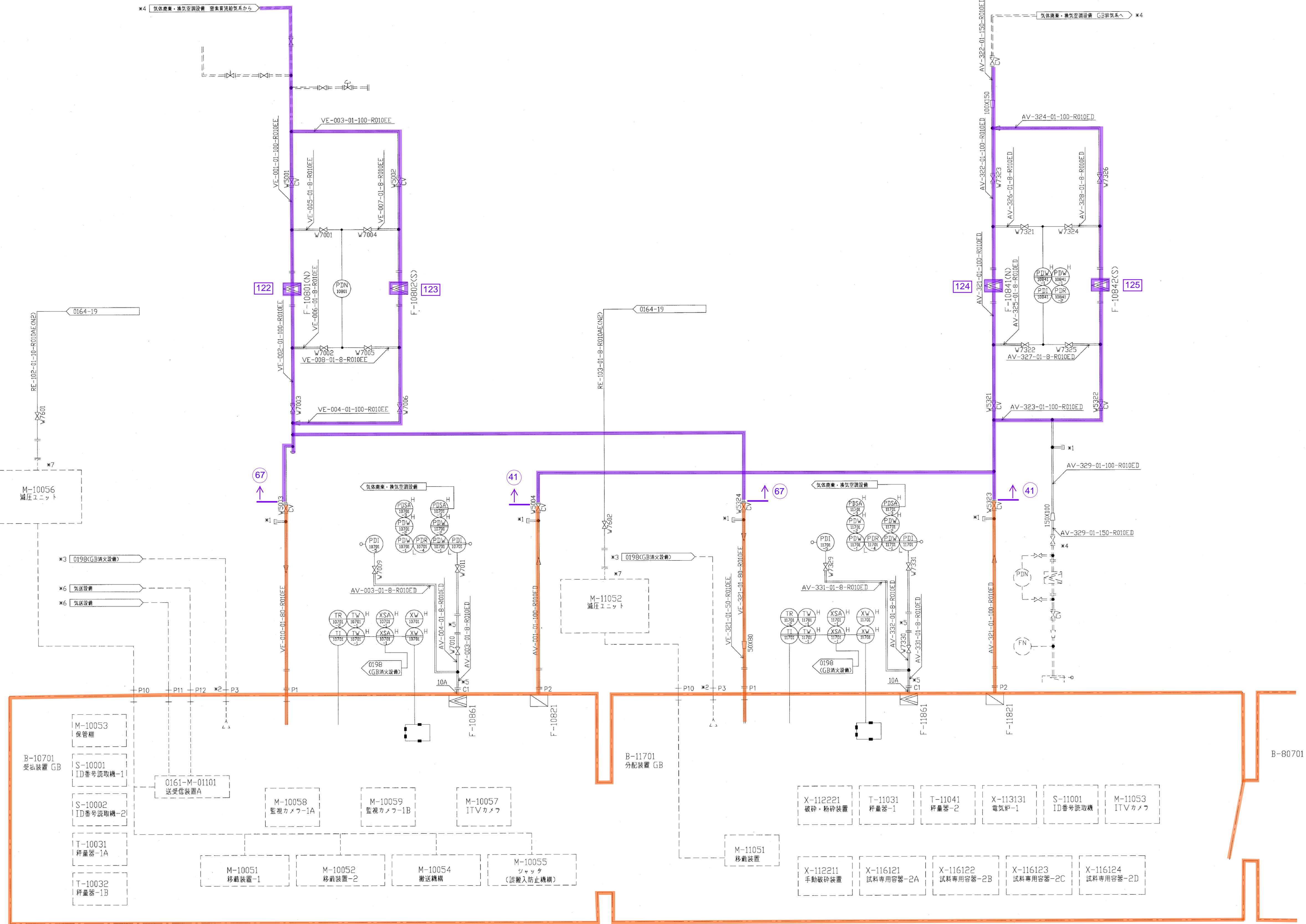
- \*1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防消火設備(GB消火設備) EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ(8AX10A)。
- \*6 B-81701と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-46701
- \*7 B-81702と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-26701, B-41701, B-42701
- \*8 B-81703と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-30701, B-43701, B-44701, B-45701
- \*9 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後密接キャップ止めとする)



- \*10 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。







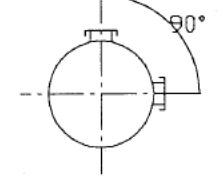
備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
⊥	普通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別御第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 補末部にねじ込みキャップ取付を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径ファンジ(BAX10A)参照。
  - \*6 受取設備EFD(PF-0161-4122-001)参照。
  - \*7 受取装置・分配装置及び搬送設備取扱説明書(PM-0164-4368-001)参照。

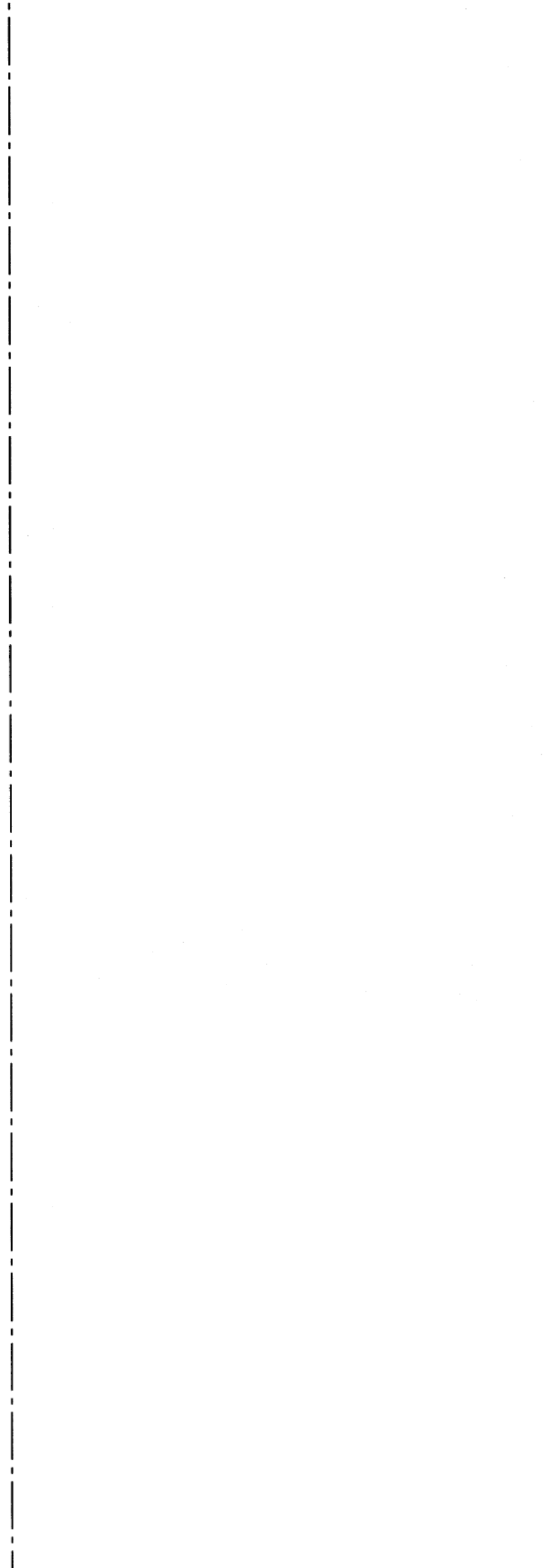
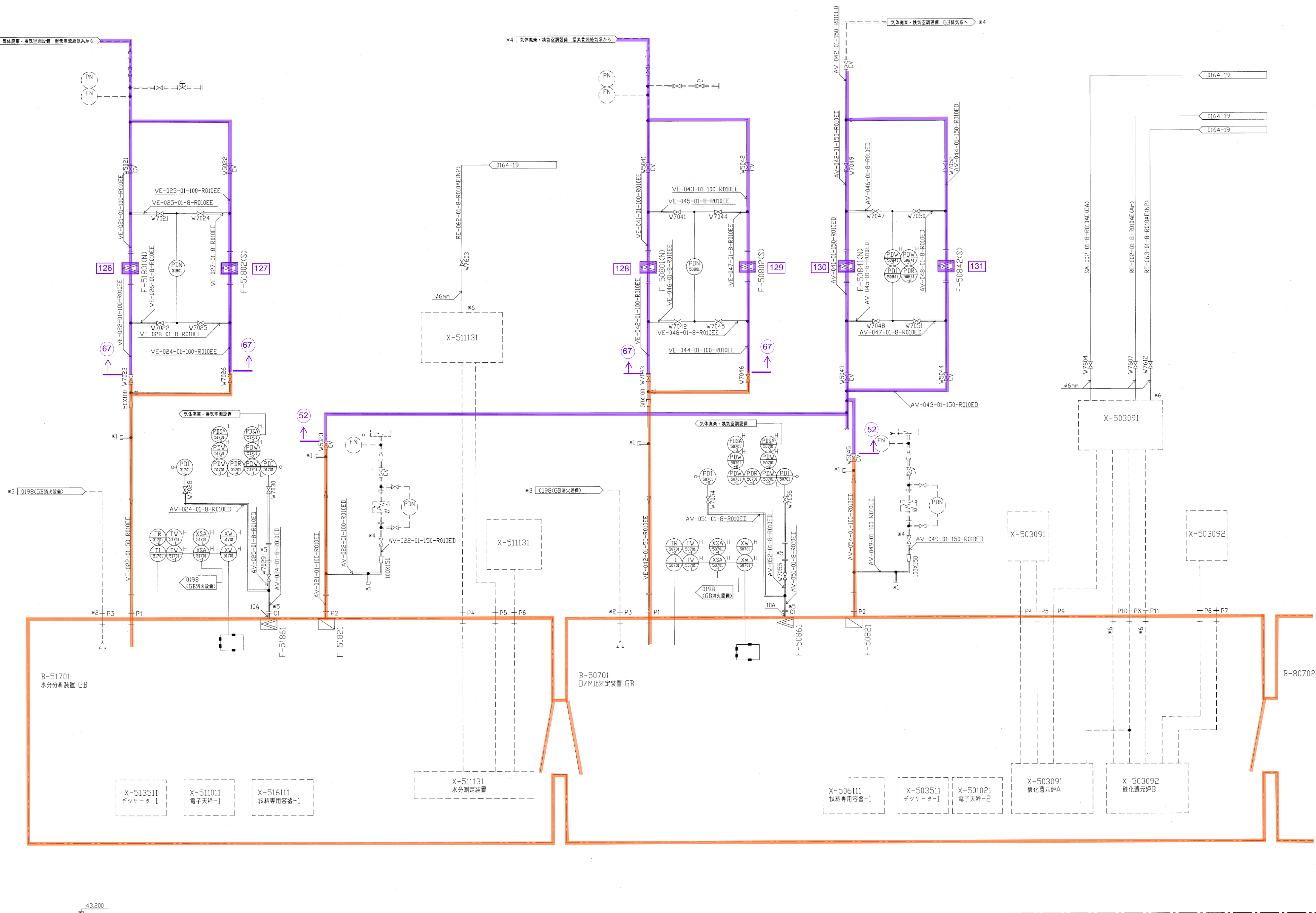


- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径ファンジ(BAX10A)参照。
- \*6 受取設備EFD(PF-0161-4122-001)参照。
- \*7 受取装置・分配装置及び搬送設備取扱説明書(PM-0164-4368-001)参照。

発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-10701,11701) 工程:0164(GB) (1/22)		



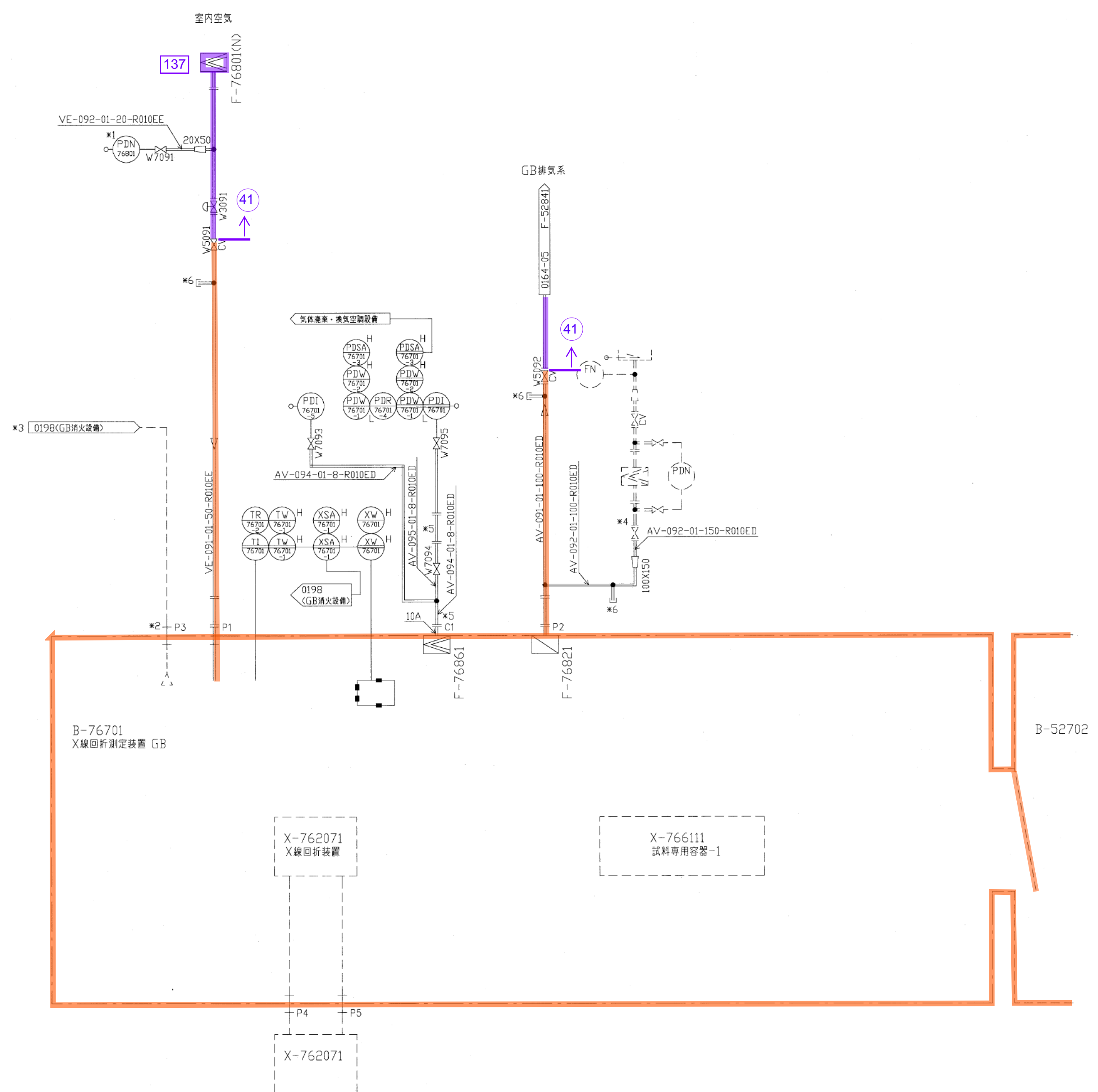
313分析室2室











備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

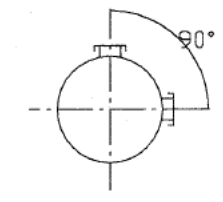
(凡例)

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御室2室にも表示する。

3. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計等取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備 (GB防火設備) EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ (BAX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用 10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

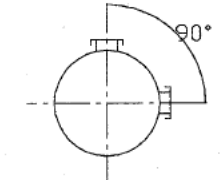
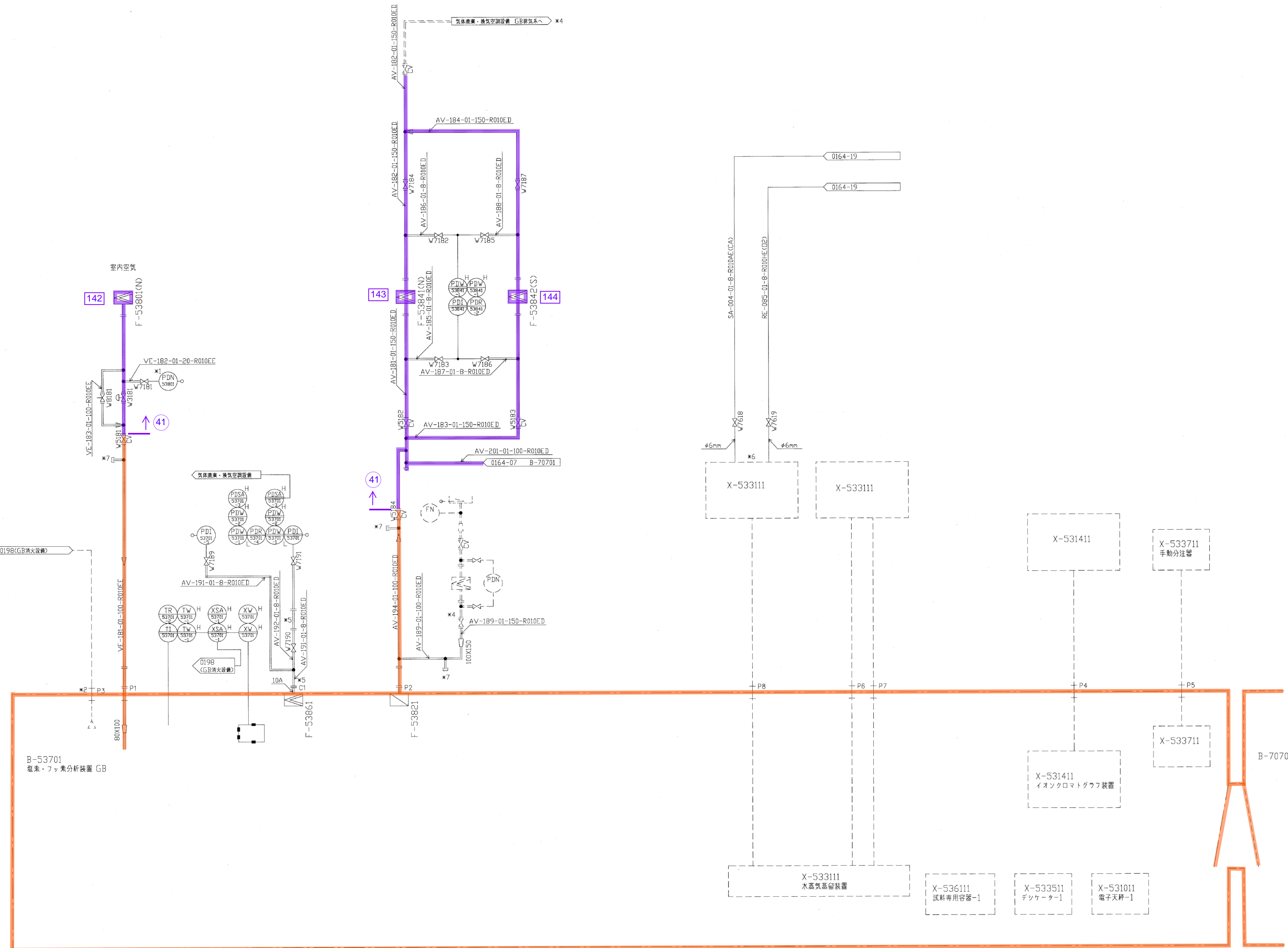


客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-76701) 工程: 0164 (GB) (4/22)		









発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-53701) 工程:0164(GB) (6/22)		







備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

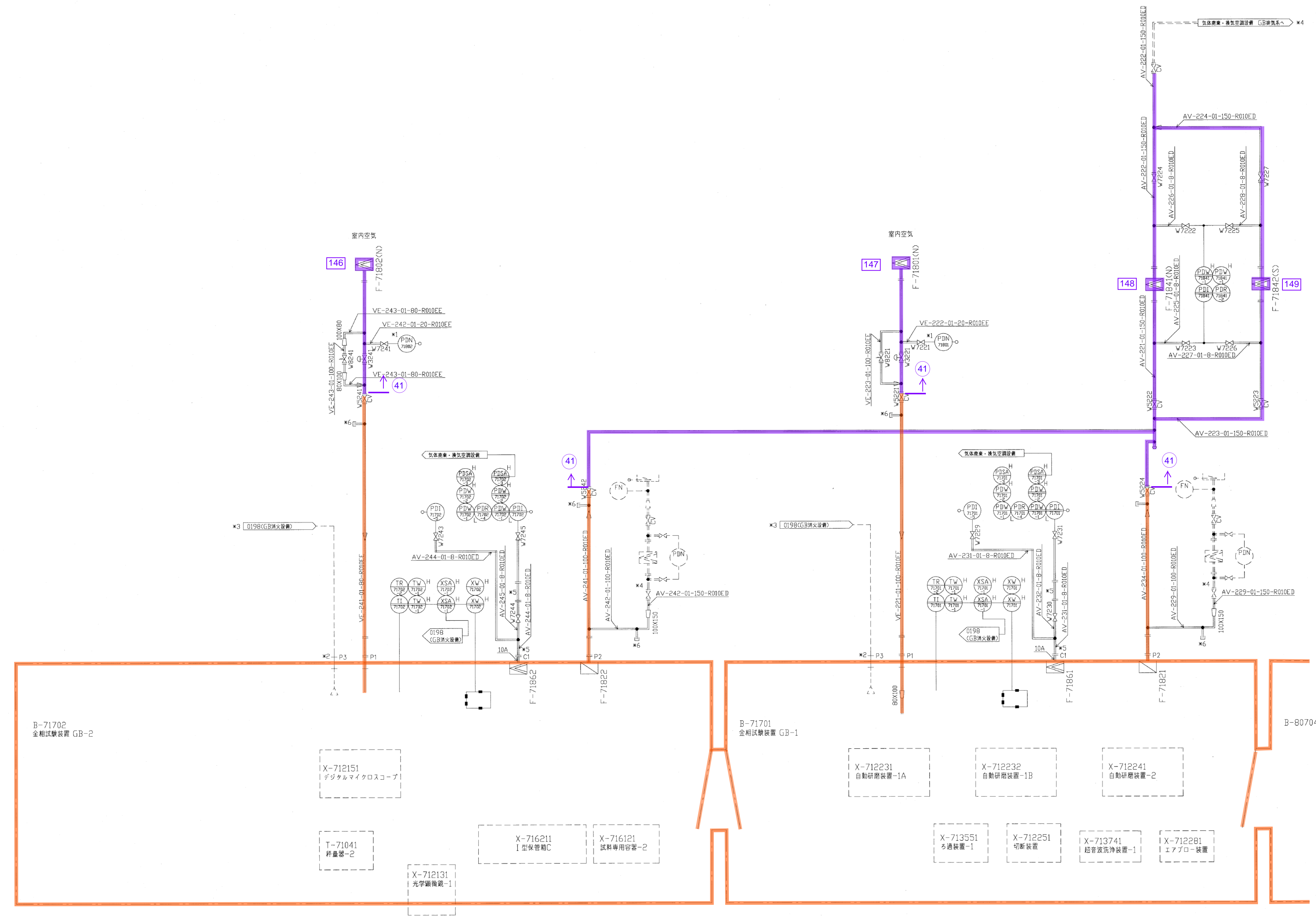
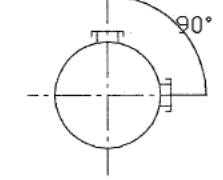
(凡例)

記号	名称
⋯⋯	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに同じでは別室第2室にも表示する。

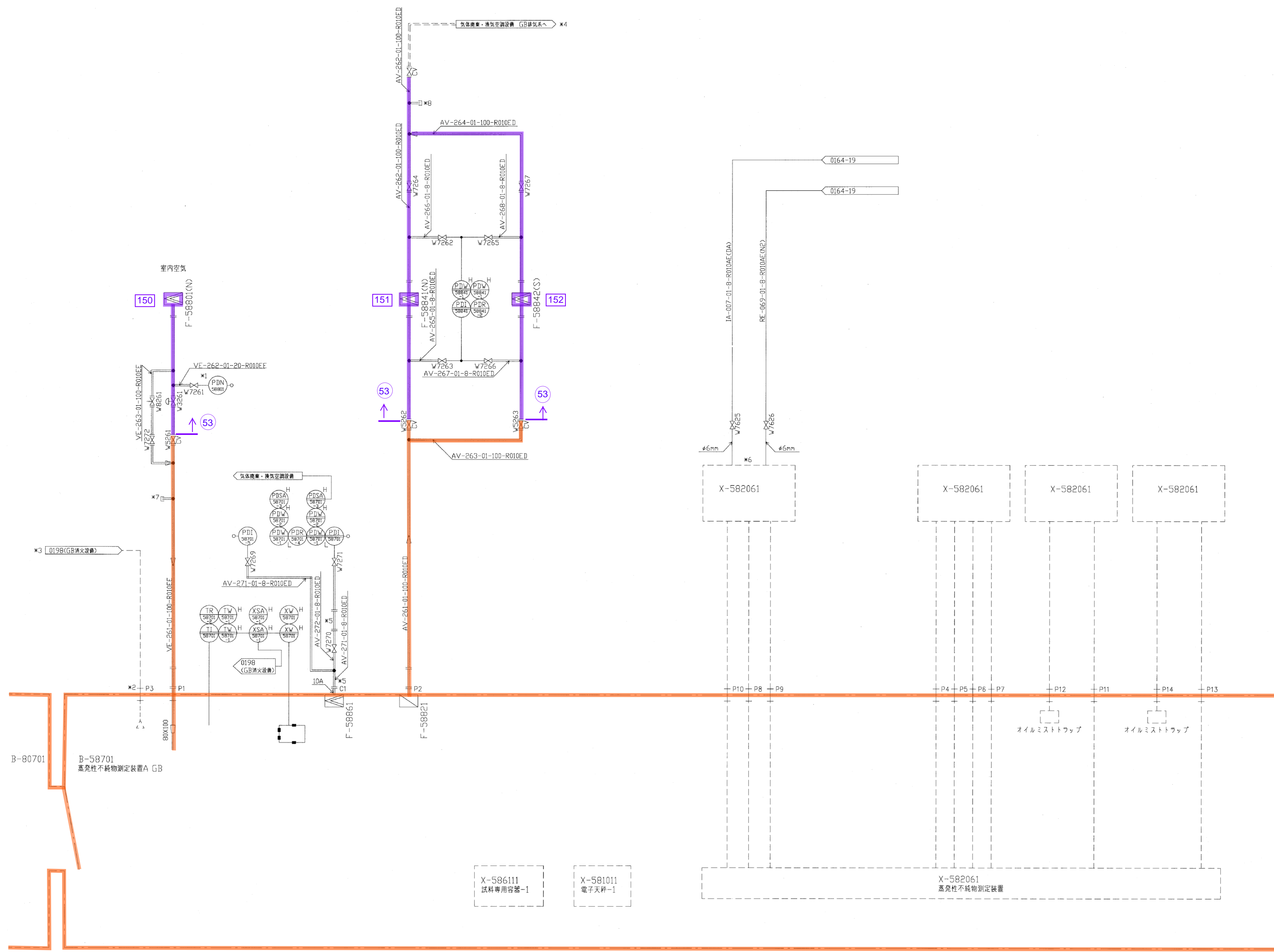
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ設置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- \*4 クローボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フワンジ(8AX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ設置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



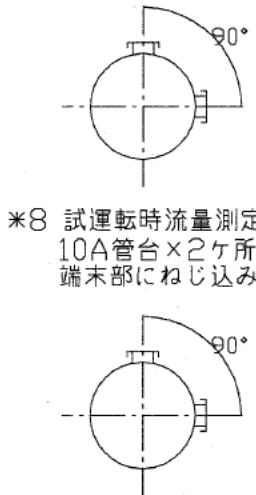
発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロアー図 (B-71701,71702) 工程:0164(GB) (8/22)		





- 備考
- 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  

記号	名称
	貫通口
  - 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室2室にも表示する。
  - 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
    - \*1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
    - \*2 給気口近傍に設置する。
    - \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
    - \*4 クロップボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
    - \*5 異径フランジ(BAX10A)。
    - \*6 分析機器配管線図(PM-0164-4141-001)参照。
    - \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)請末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
    - \*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)請末部にねじ込みキャップ処置を施す。



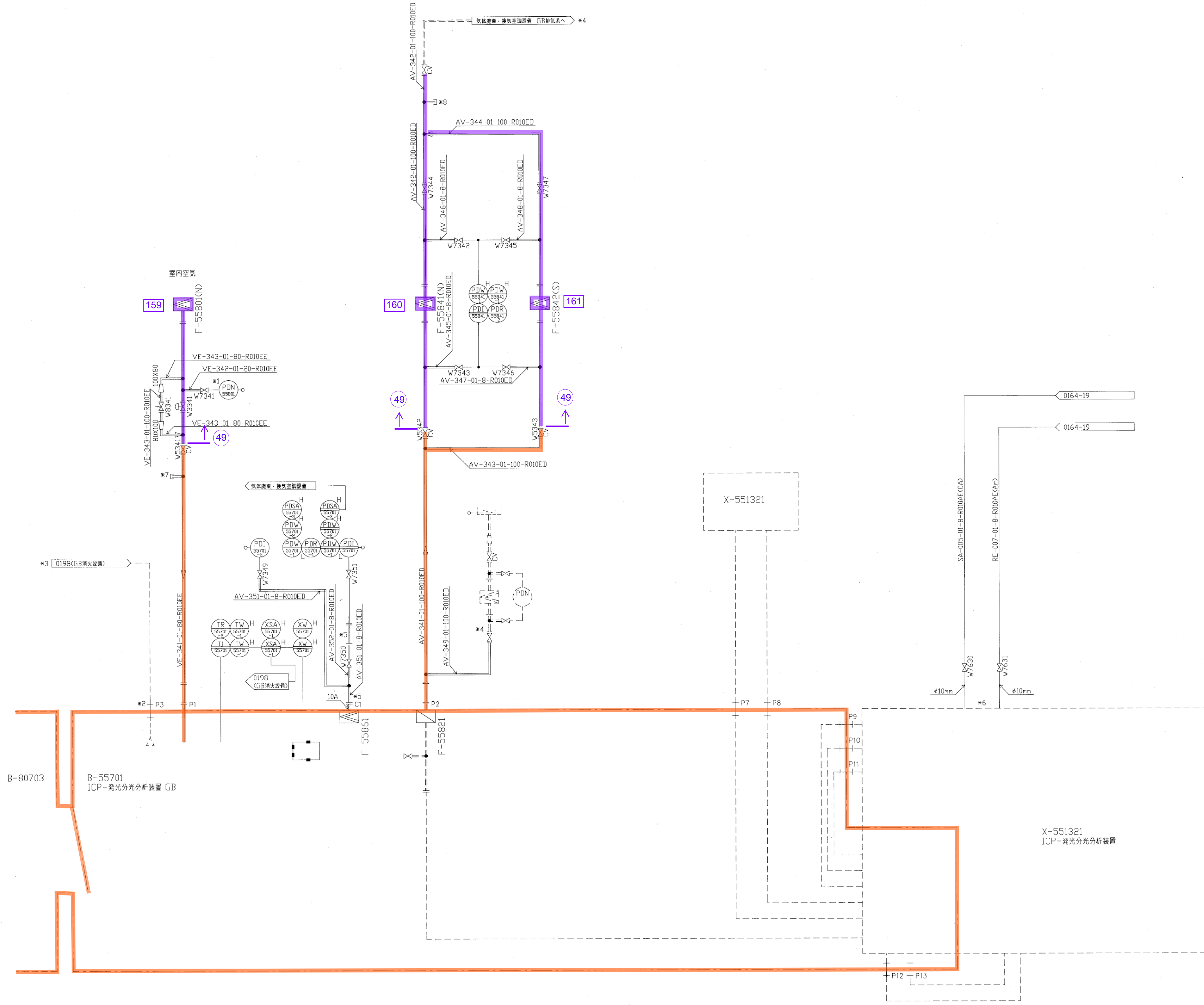
業先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-58701) 工程:0164 (GB) (9/22)		









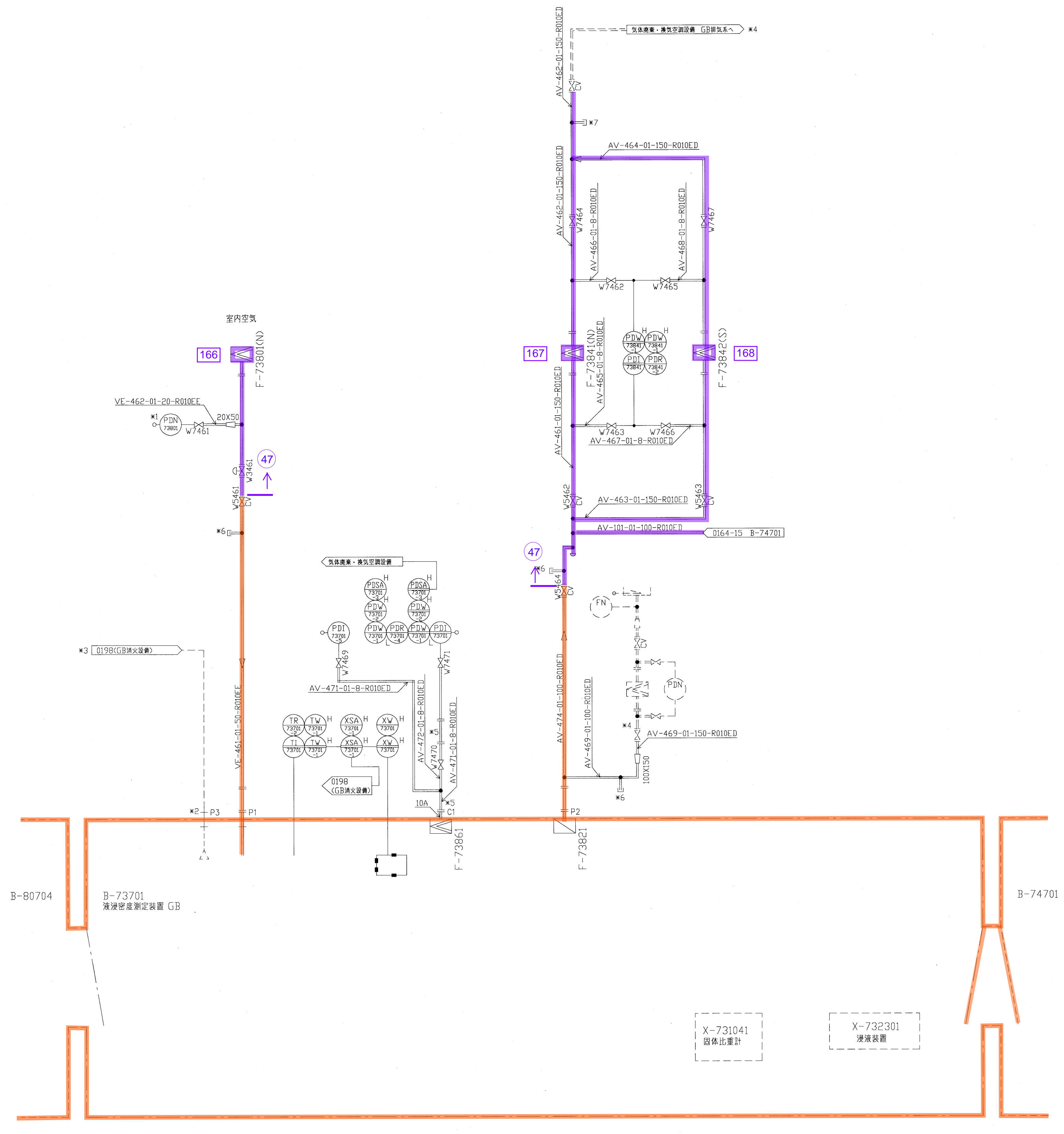


- 備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。
- (凡例)
- | 記号 | 名称  |
|----|-----|
| ⊥  | 貫通口 |
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別部室2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 消防火設備(GB消防設備)EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径フランジ(8AX10A)。
  - \*6 分析機器配管配線図(PM-0164-4141-001)参照。
  - \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
  - \*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ処置を施す。
- 

発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-55701) 工程:0164(GB) (12/22)		

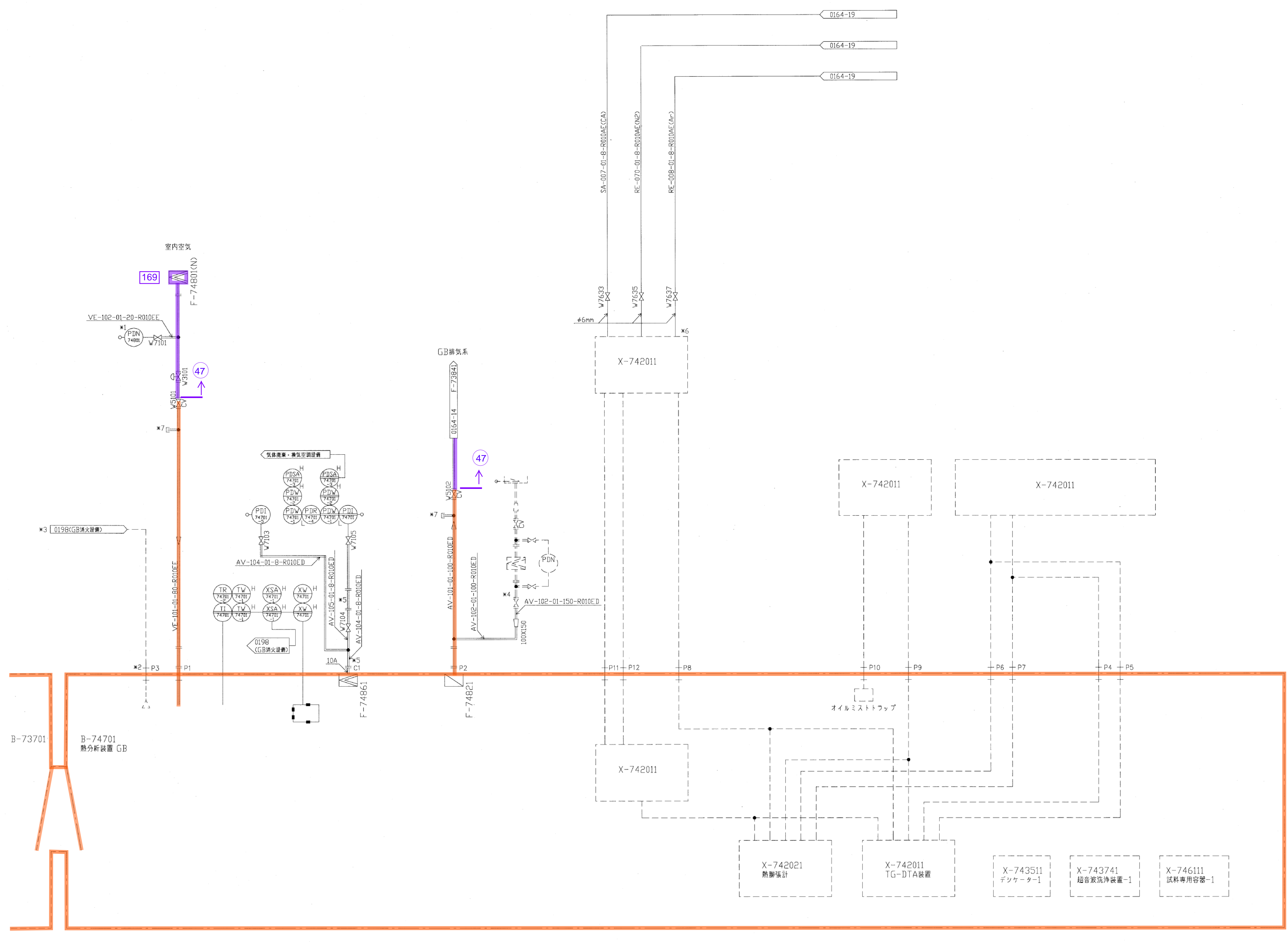






客先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-73701) 工程:0164 (GB) (14/22)		

313分析装置室



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

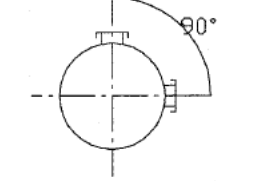
(凡例)

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別制御室にも表示する。

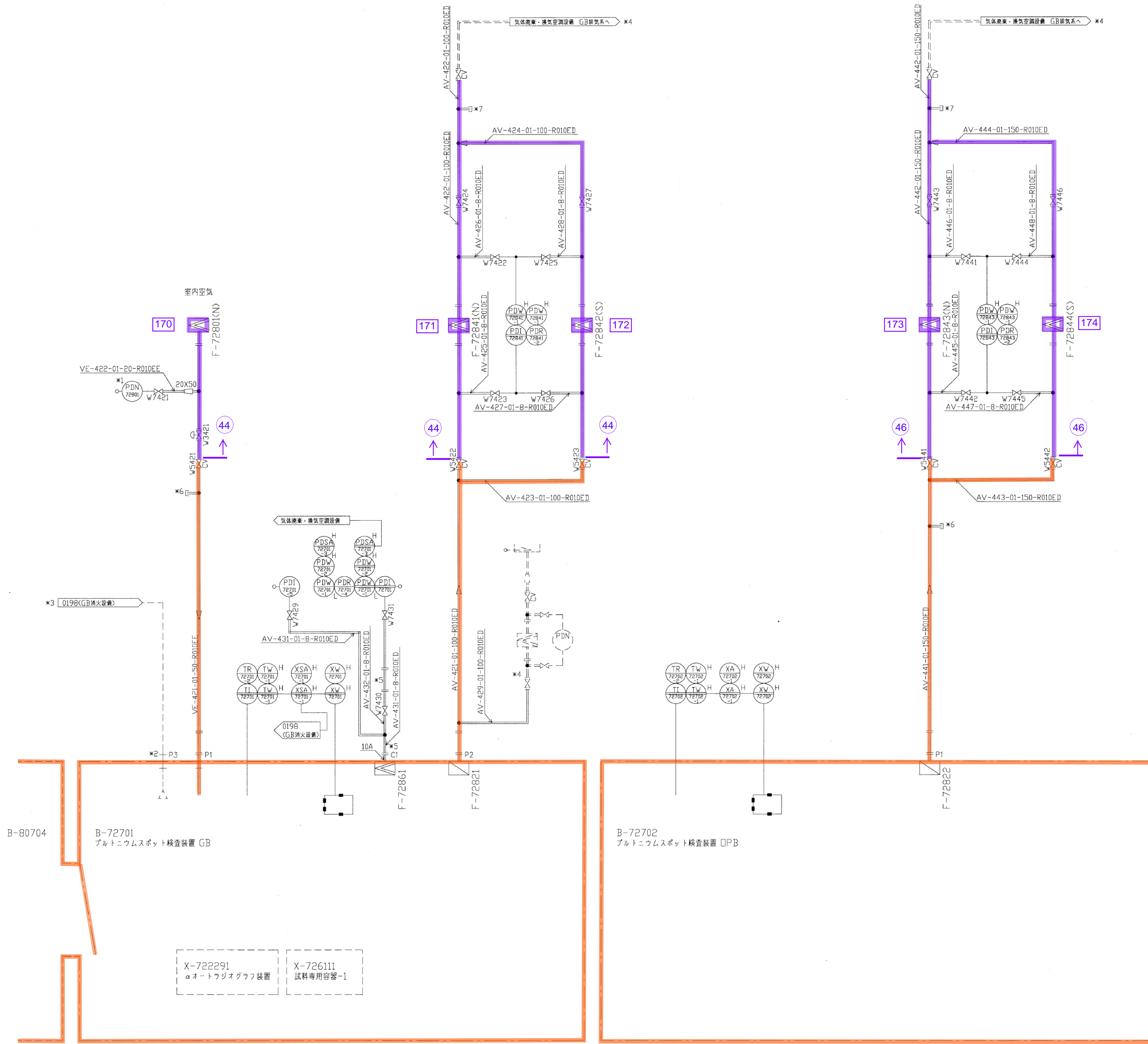
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB消火設備)EFD参照。
- \*4 クロップボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ(BAX10A)。
- \*6 分析機器配管線図(PM-0164-4141-001)参照。
- \*7 試運転時流量測定用10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)請末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



会社名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジェリアリンクフロー図 (B-74701) 工程:0164 (GB) (15/22)		





1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては、制御室2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

\*1 仮設計図取外し時、請未部にねじ込みキャップ処置を施す。

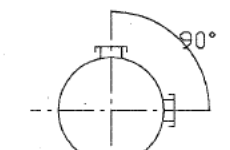
\*2 給気口近傍に設置する。

\*3 防火設備 (GB防火設備) EFD参照。

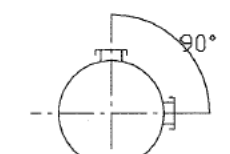
\*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。

\*5 異径フランジ (BAX10A)。

\*6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
請未部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

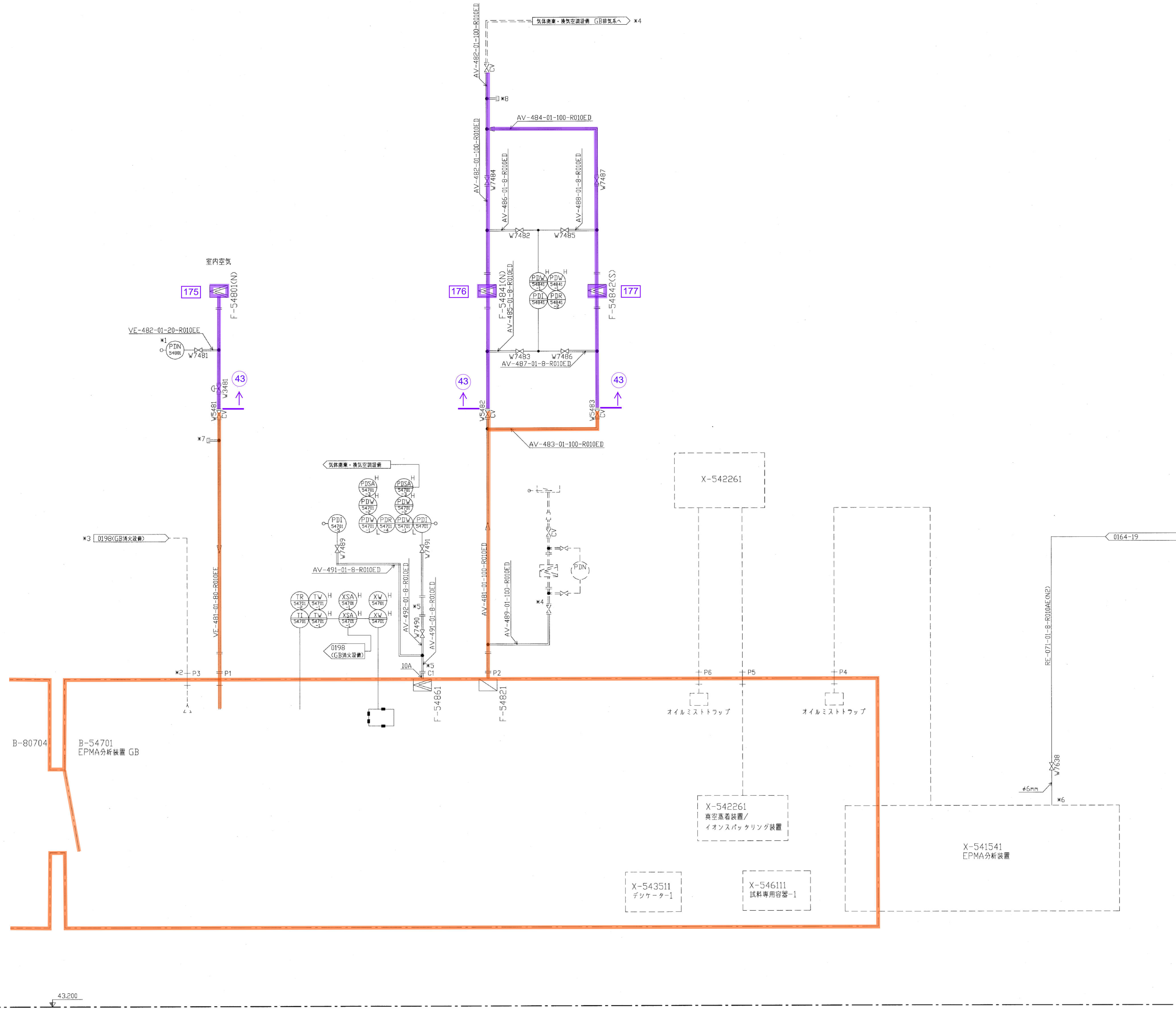


\*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
請未部にねじ込みキャップ処置を施す。



※先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-72701,72702) 工程:0164 (GB) (16/22)		

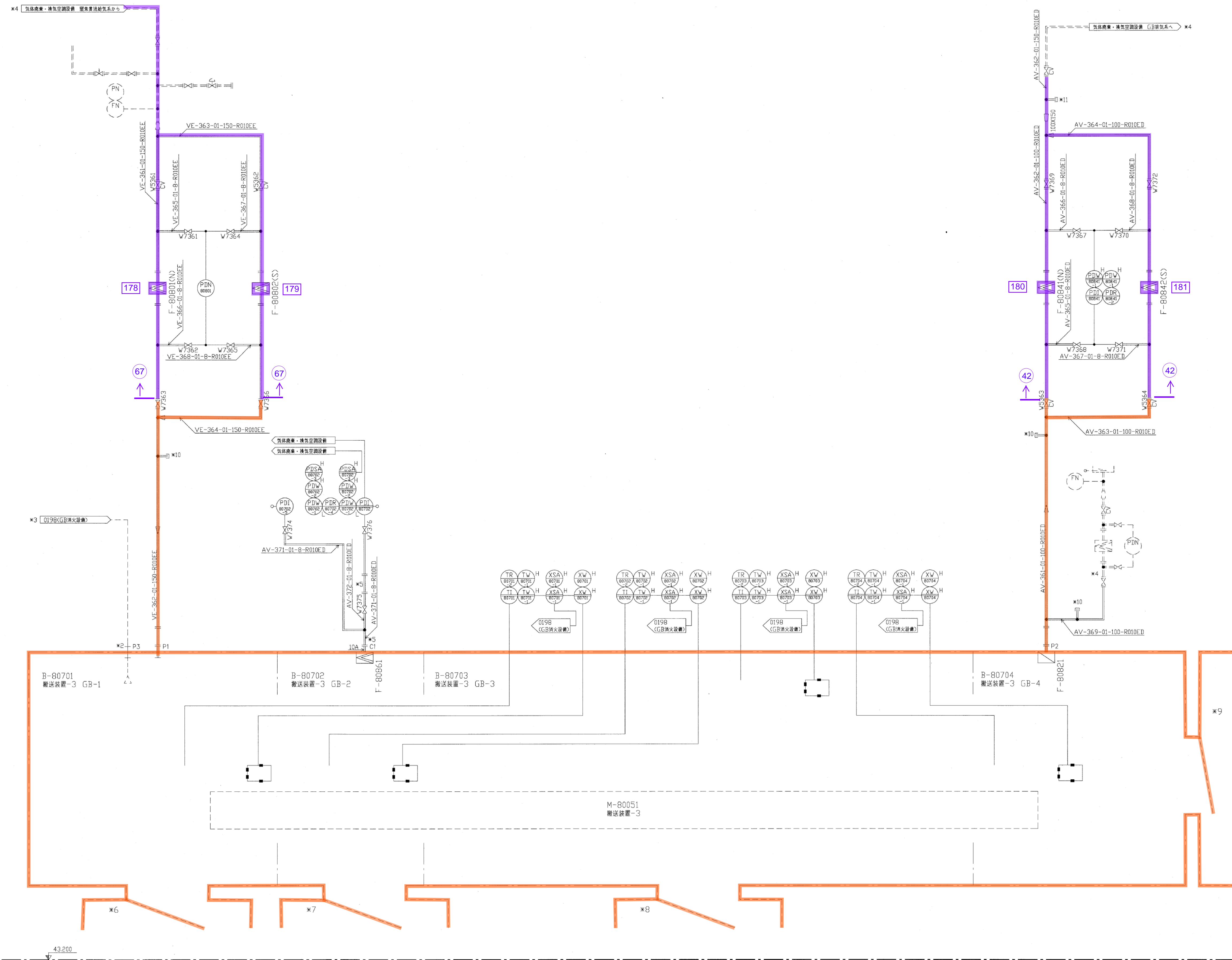
313分析第2室



- 備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。
- | 記号 | 名称  |
|----|-----|
|    | 貫通口 |
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別室第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、端未部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備 (GB防火設備) EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 美徑フレンジ (BAX10A)。
  - \*6 分析機器配管配線図 (PM-0164-4141-001)参照。
  - \*7 試運転時流量測定用 10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端未部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
  - \*8 試運転時流量測定用 10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端未部にねじ込みキャップ処置を施す。
- 

※先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-54701) 工程: 0164 (GB) (17/22)		





備考

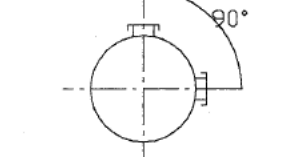
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  
(凡例)

記号	名称
⊕	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGについては別図にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備 (GB防火設備) EFD参照。
  - \*4 クローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径ファンジ (BAX10A)。
  - \*6 B-80701と隣接するクローブボックスは以下の通り。  
B-11701, B-58701, B-59701, B-90703
  - \*7 B-80702と隣接するクローブボックスは以下の通り。  
B-50701, B-56701, B-57701
  - \*8 B-80703と隣接するクローブボックスは以下の通り。  
B-20701, B-52701, B-55701  
B-75701, B-90705
  - \*9 B-80704と隣接するクローブボックスは以下の通り。  
B-54701, B-70701, B-71701, B-72701,  
B-73701, B-90701
  - \*10 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)  
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

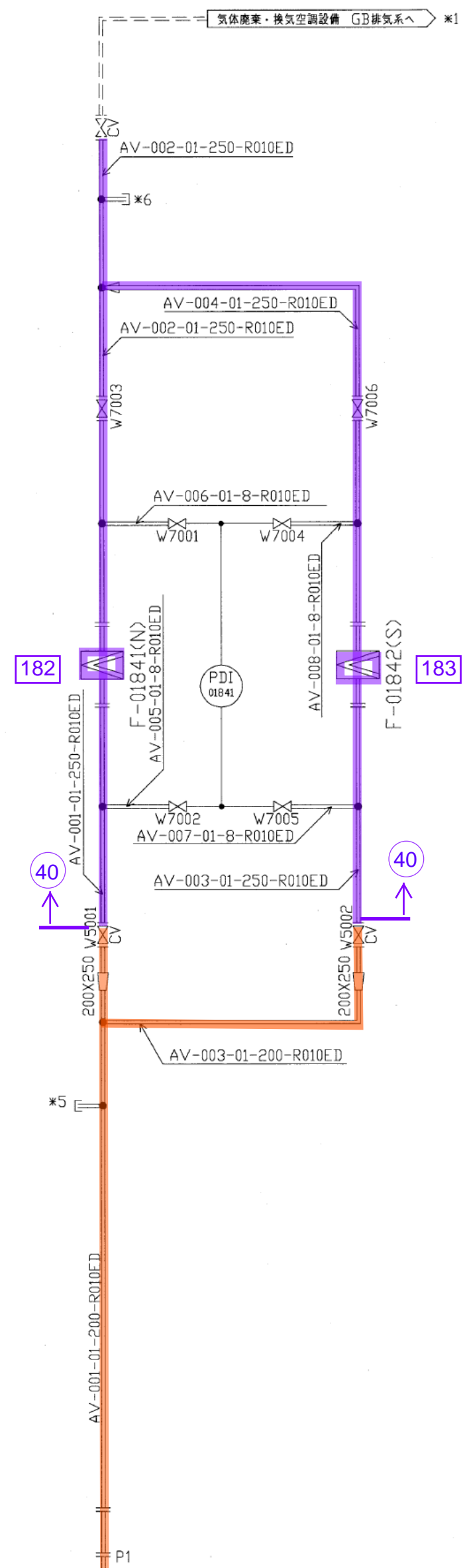


\*11 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)  
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。



※先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-80701) I程: 0164 (GB) (18/22)		

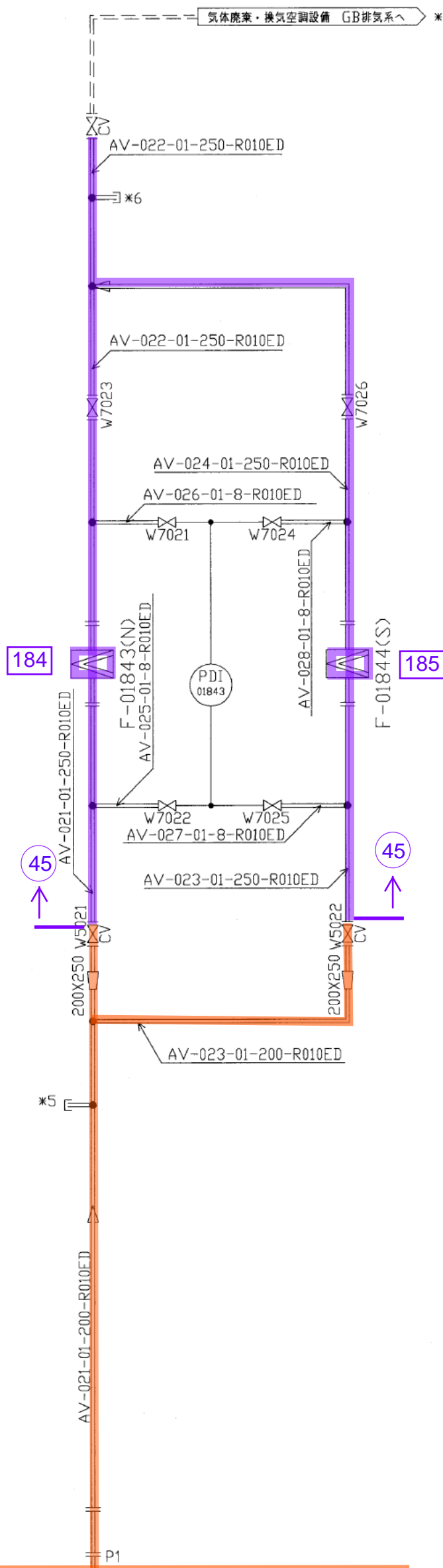
302分析第1室



B-01701  
7-FA

43,200

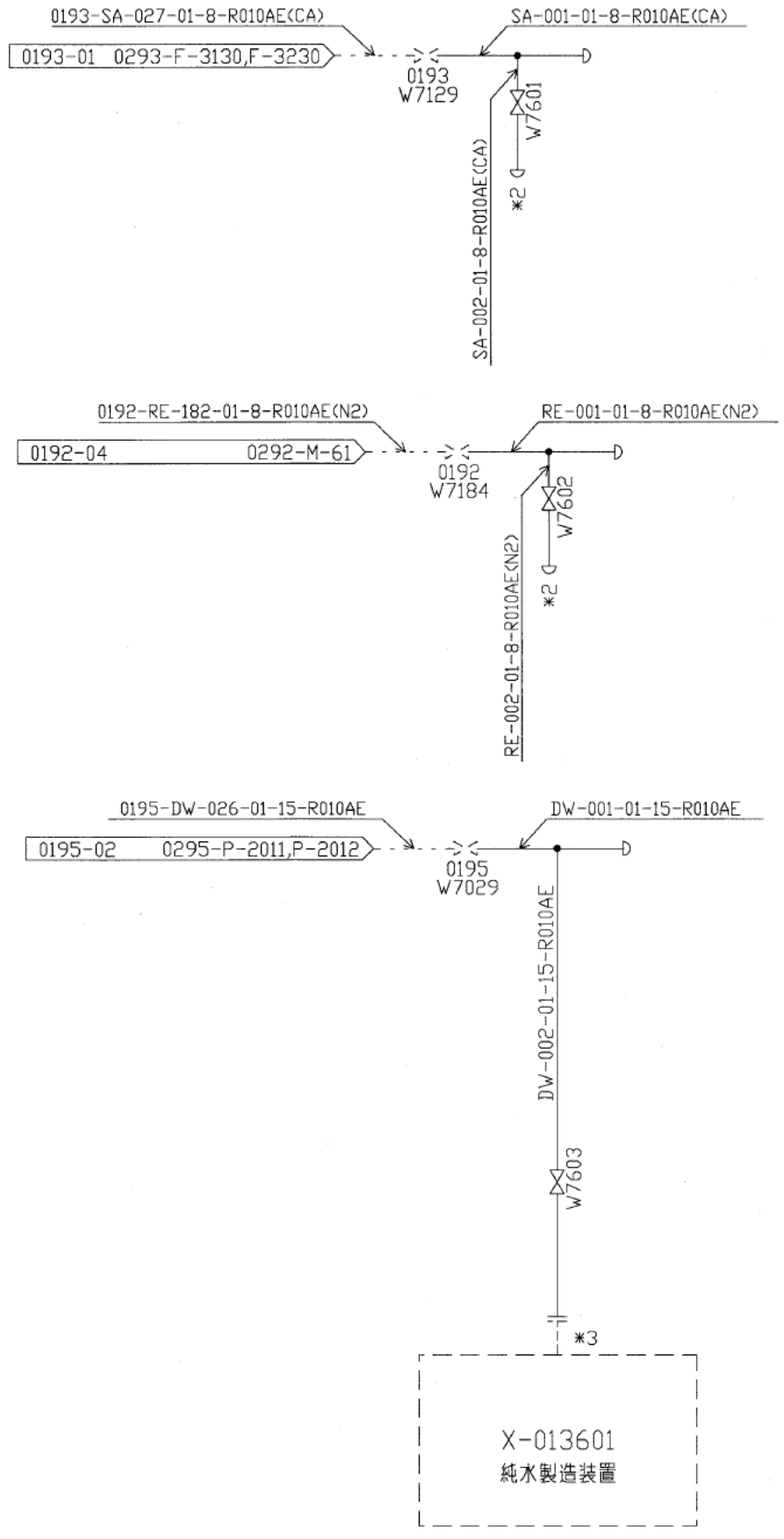
313分析第2室



B-01702  
7-FB

43,200

305試験準備室



X-016511  
フワトチャンバ

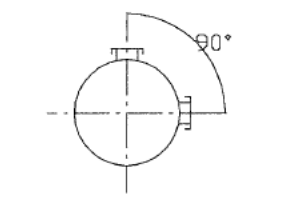
44,700

備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

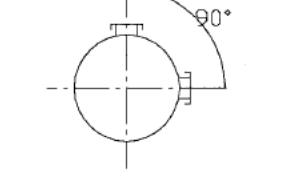
記号	名称
∩	貫通口

2. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- ※1 タローボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- ※2 将来設置。
- ※3 分析機器配管配線図 (PM-0165-4141-001)参照。
- ※4 換気系統図 (PM-0171-4422-001)参照。
- ※5 試験時流量測定用  
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端末部にねじ込みキャップ設置を施す。  
(試験終了後溶接スナップ止めとする)

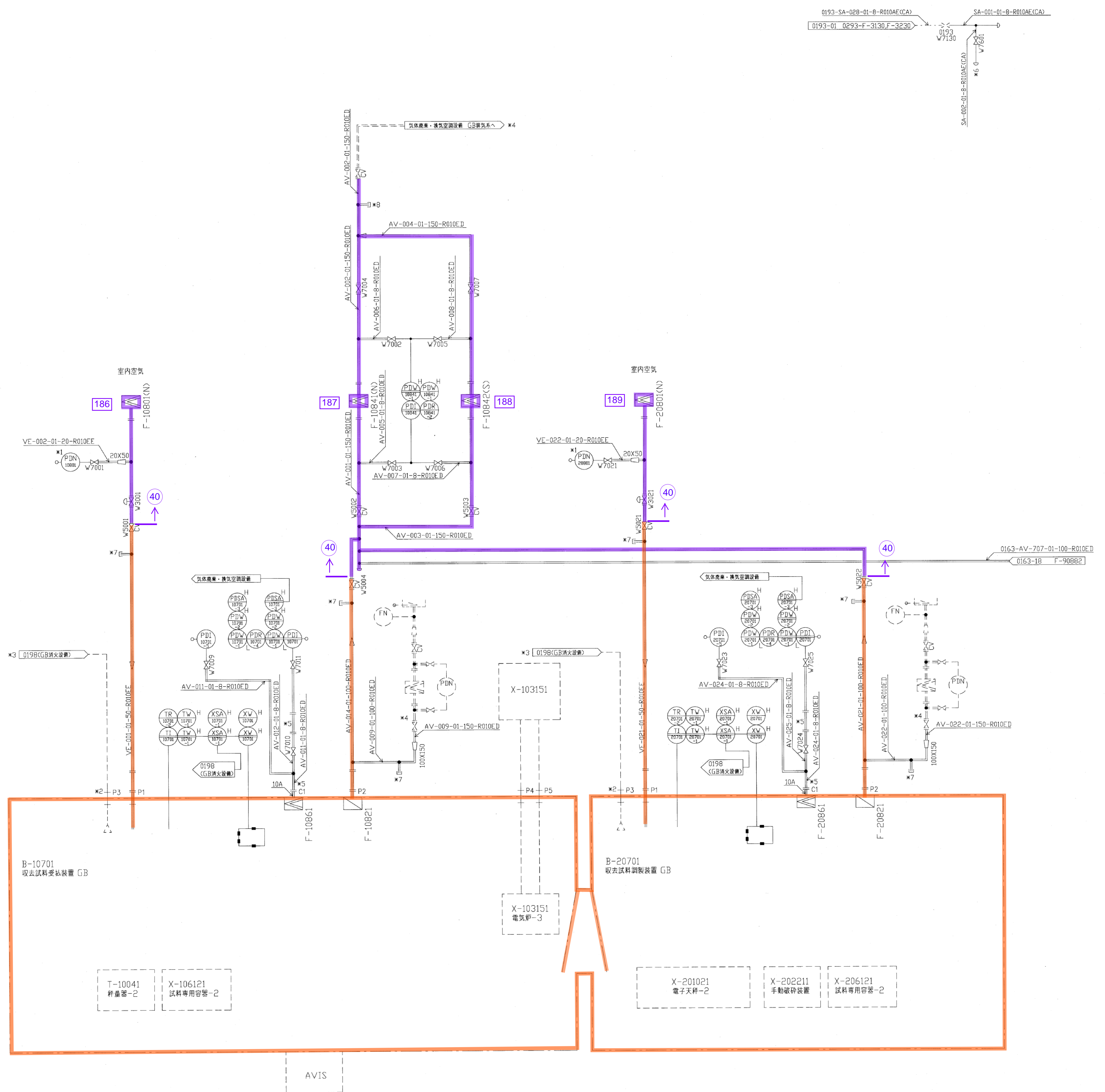


- ※6 試験時流量測定用  
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端末部にねじ込みキャップ設置を施す。



製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計種別	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 分析付属設備 エンゾニアリンクフロア図 (B-01701,01702,X-016511) 工程:0165 (GB) (1/1)		





備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

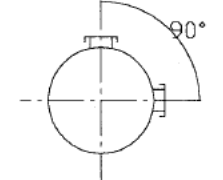
記号	名称
II - II	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別室第2室にも表示する。

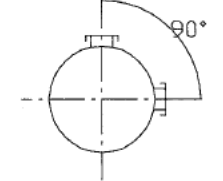
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防消火設備 (GB消火設備) EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径ファンジ (8AX10A)。
- \*6 将来設置。

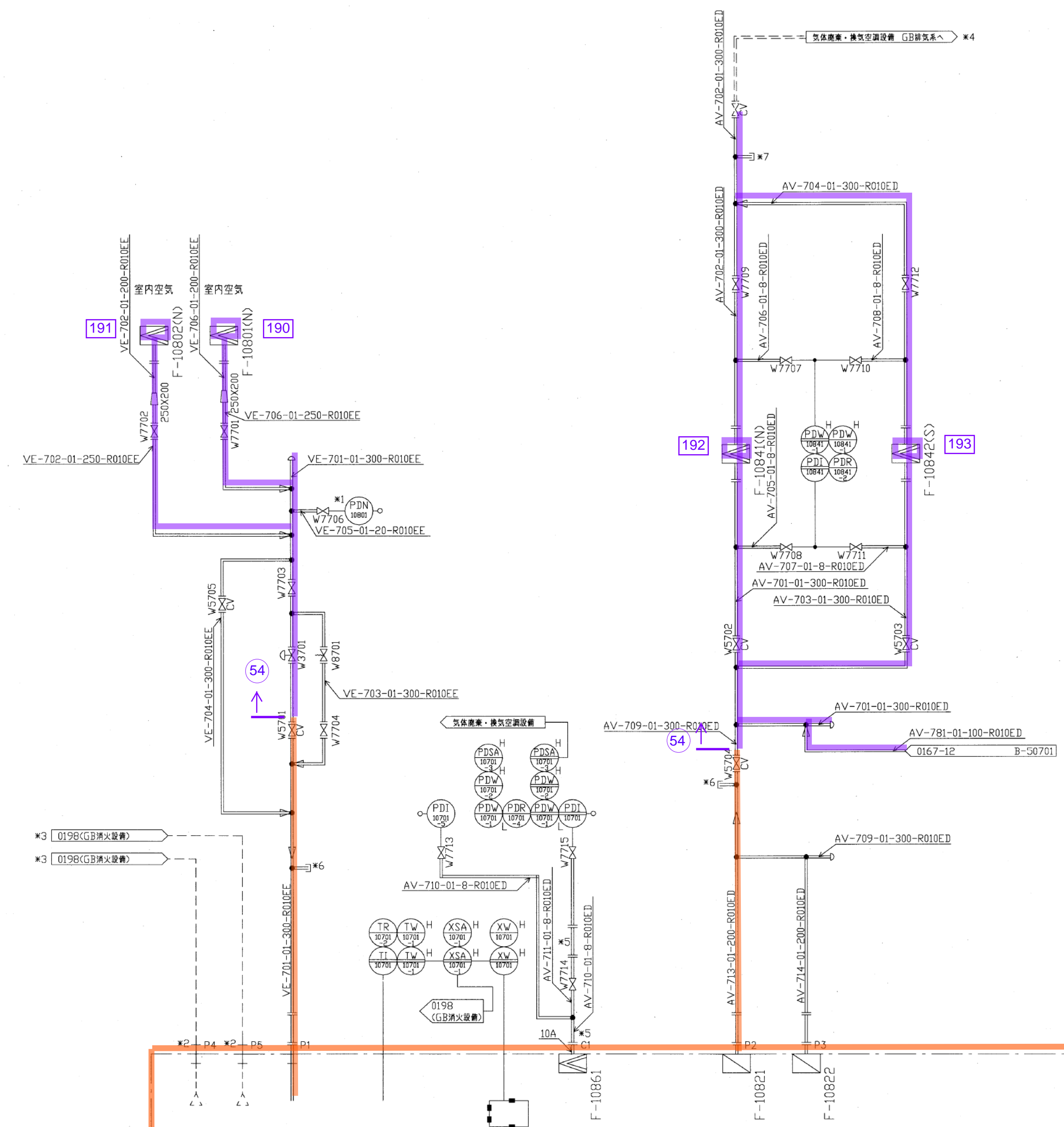
\*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)  
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



\*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)  
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 査察専用設備 エンジェリングフロア (B-10701, 20701) 工程: 0166 (GB) (1/1)		



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

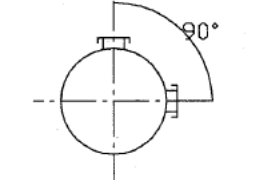
〈凡例〉

記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上昇検出器

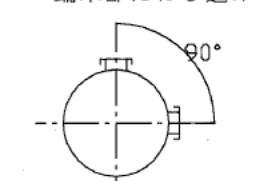
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 消火設備(GB消火設備) EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径ファンジ (8AX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用  
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

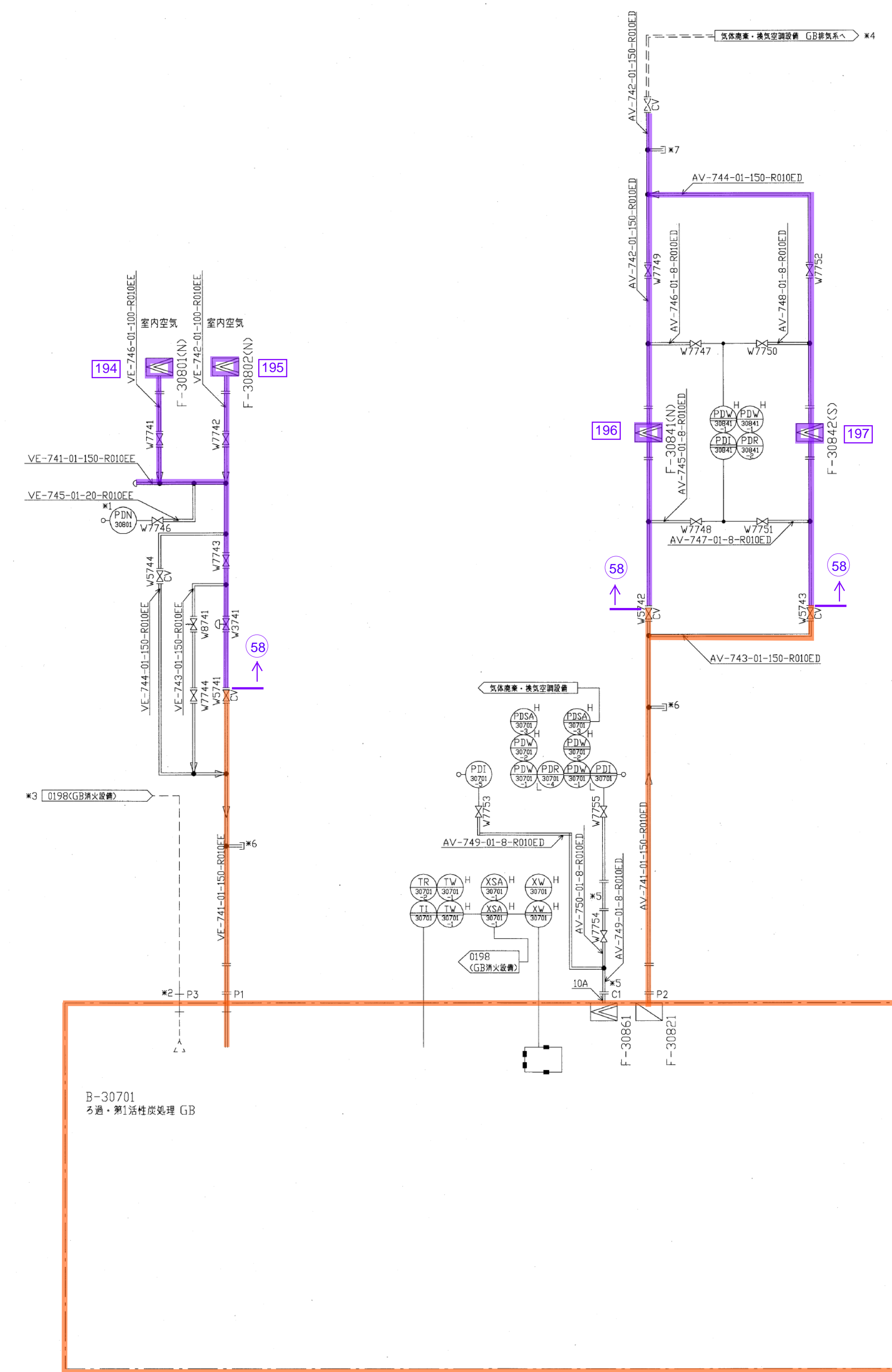


- \*7 試運転時流量測定用  
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



委託先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 分析済液処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-10701) 工程:0167 (9/14)		





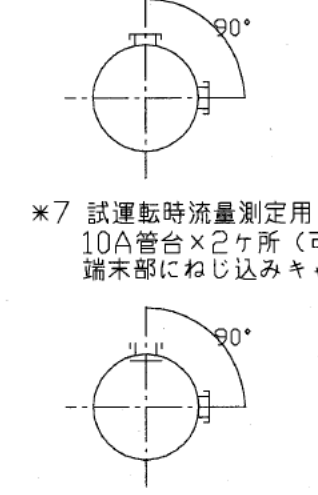
備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上限検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備(GB消防設備)EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径ファンジ(8AX10A)。
  - \*6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)端部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



- \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)端部にねじ込みキャップ処置を施す。

発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 分析済液処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-30701) 工程:0167 (10/14)		

備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上昇検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御第2室にも表示する。

3. 注記（本図中の注記は下記に示す通り）

\*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ  
処置を施す。

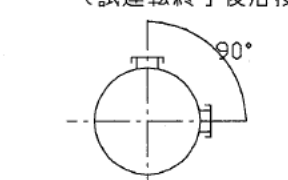
\*2 給気口近傍に設置する。

\*3 防火設備（GB防火設備）EFD参照。

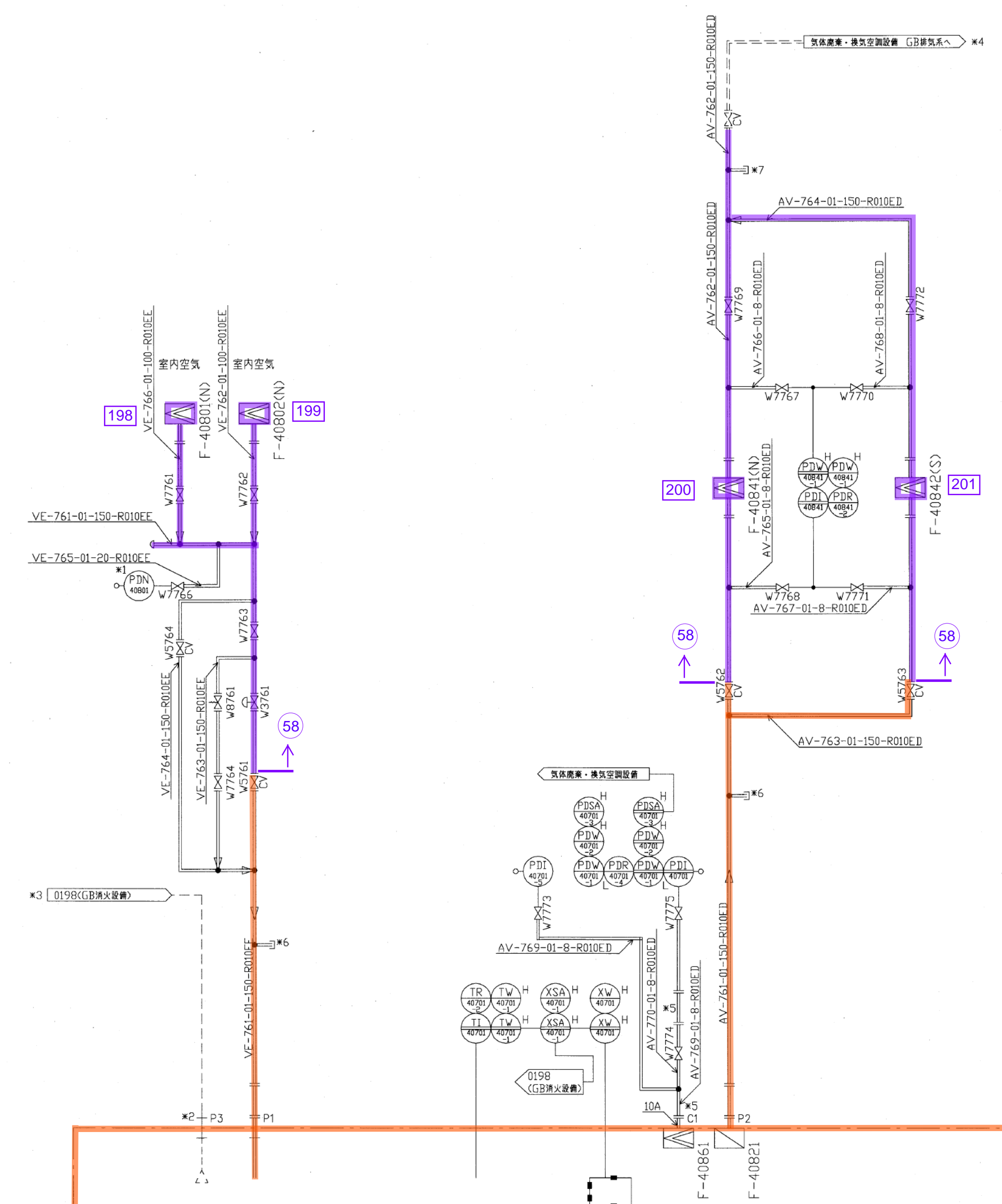
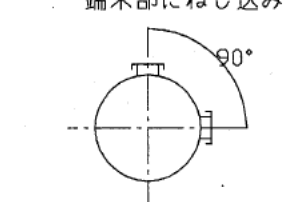
\*4 グローブボックス廻り換気系統図  
（PM-0171-4422-002）参照。

\*5 異径ファンジ（BAX10A）。

\*6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所（可能な範囲で短く）  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
（試運転終了後溶接キャップ止めとする）



\*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所（可能な範囲で短く）  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。

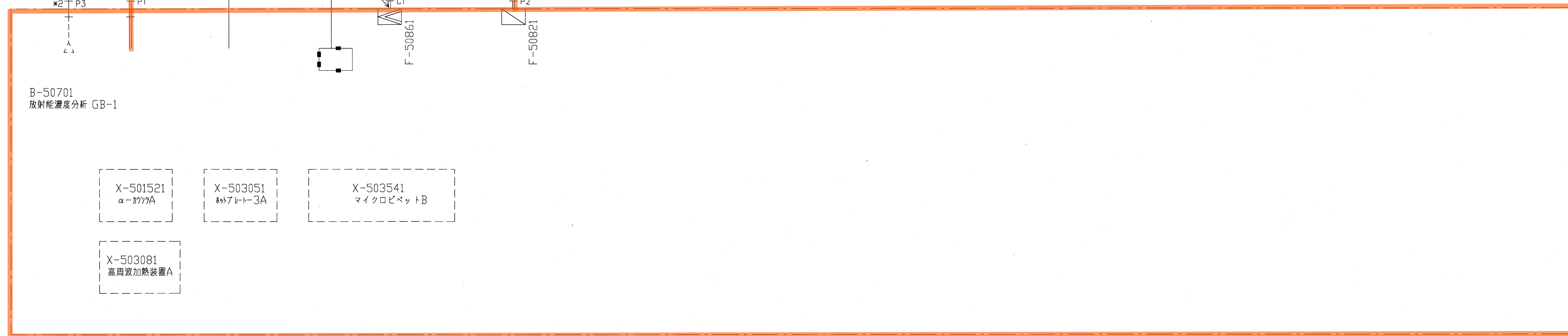
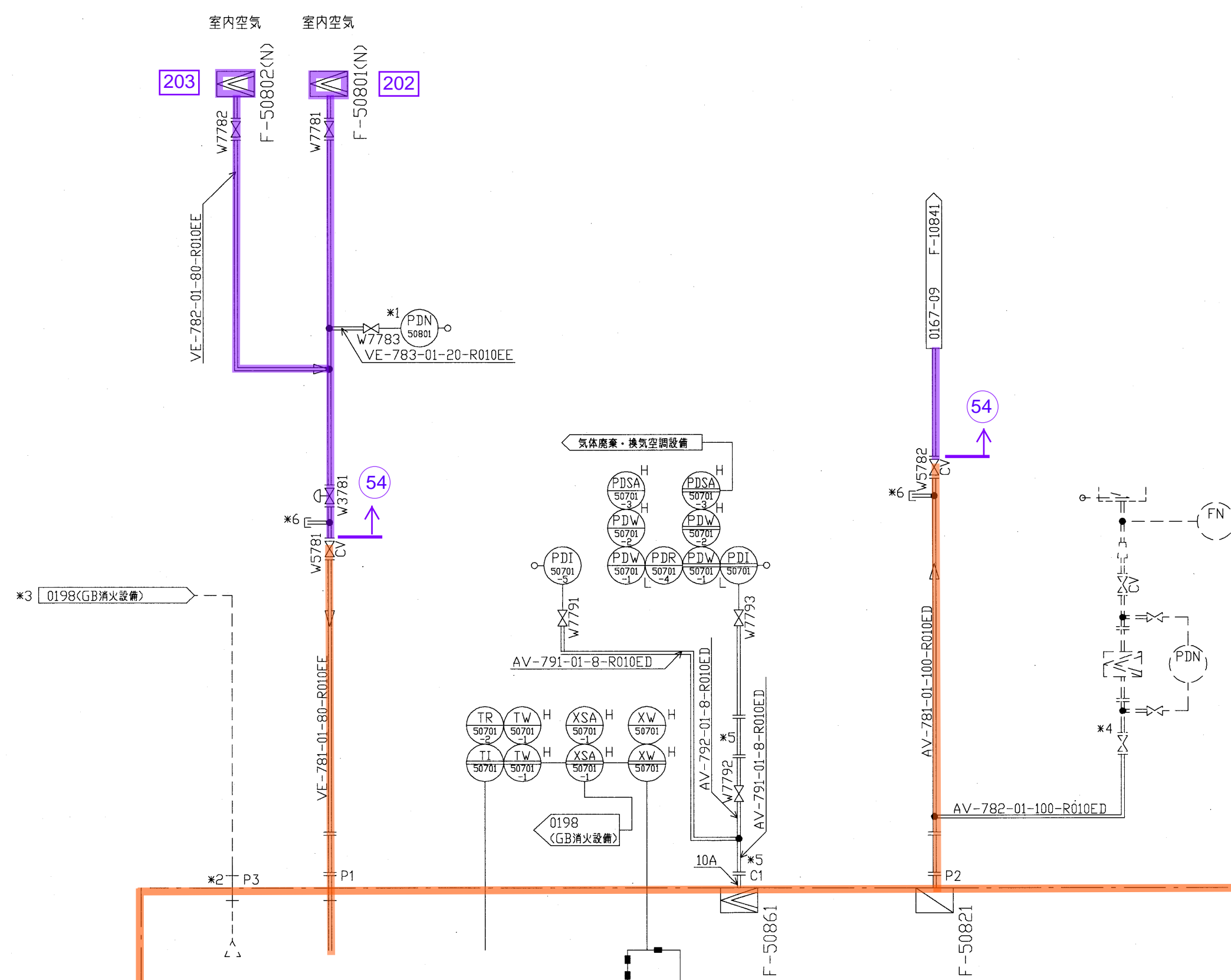


B-40701  
第2活性炭・吸着処理 GB

発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋（PA） 分析設備（G）分析済液処理設備 エンジニアリングフロー図（B-40701） 工程：0167（11/14）		



313分析第2室



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

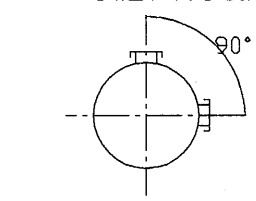
(凡例)

記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上昇検出器

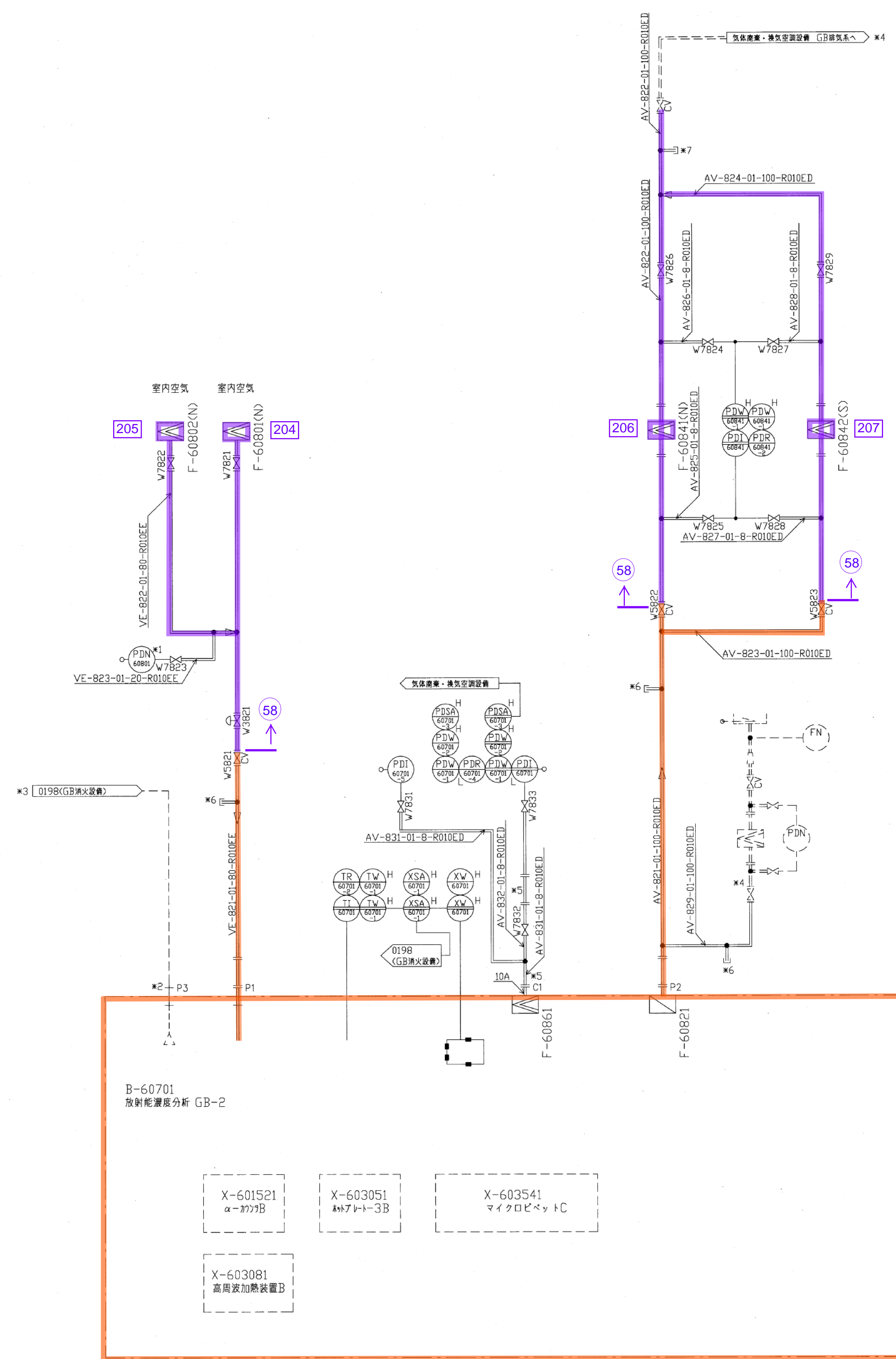
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ  
処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図  
(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径ファンジ(8AX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 分析済液処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-50701) 工程:0167 (12/14)		



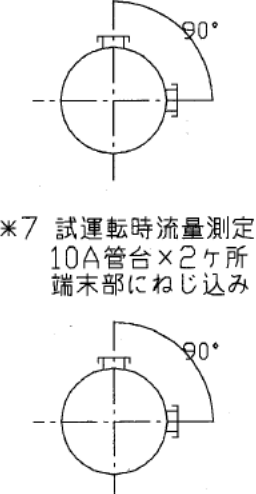
備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上昇検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- ※1 仮設計器取外し時、堵末部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - ※2 給気口近傍に設置する。
  - ※3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
  - ※4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
  - ※5 異径ファンジ(8AX10A)。
  - ※6 試運転時流量測定用  
10A管径×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
堵末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
  - ※7 試運転時流量測定用  
10A管径×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
堵末部にねじ込みキャップ処置を施す。



B-60701  
放射能濃度分析 GB-2

X-601521  
α-3777B

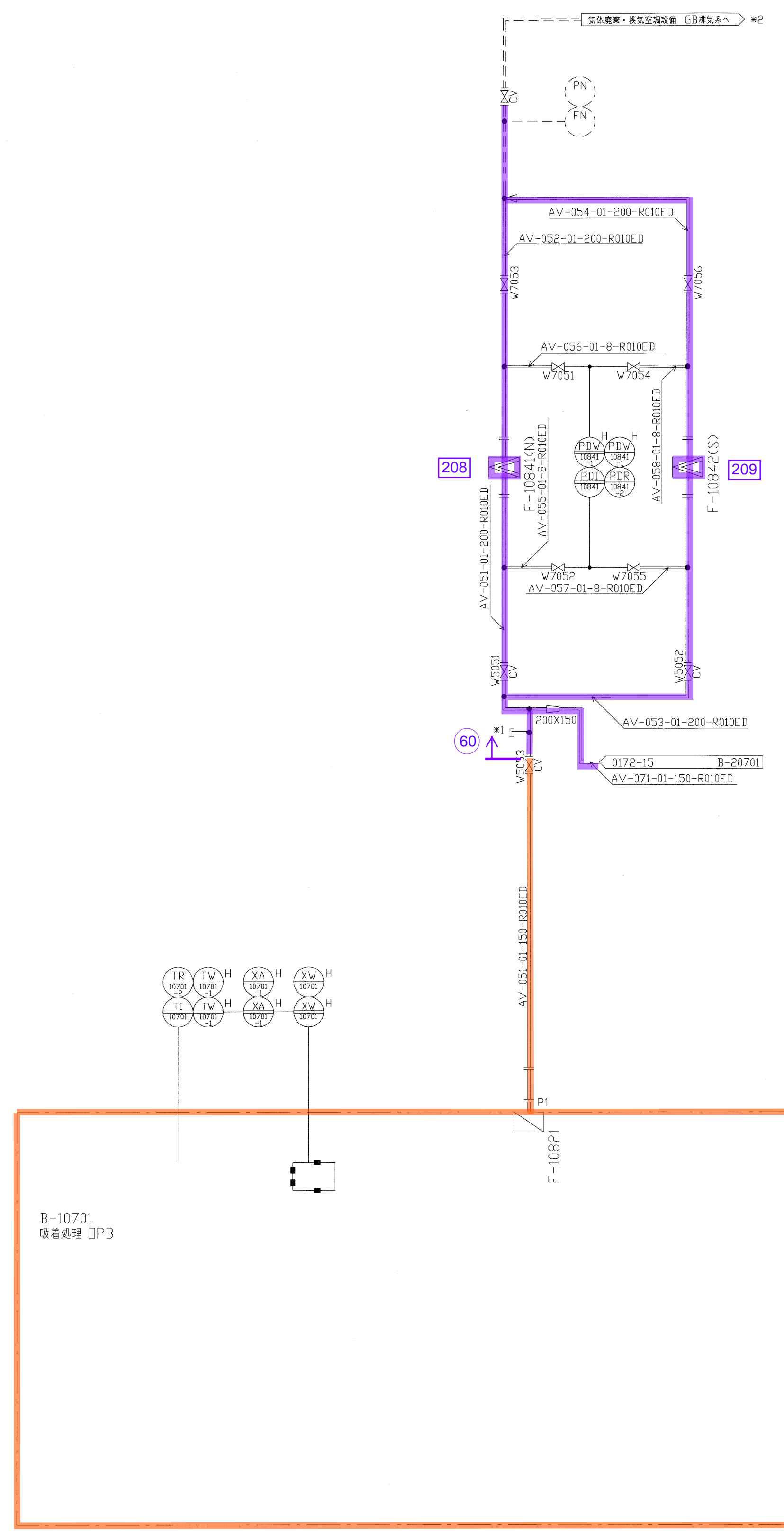
X-603051  
α-3777-3B

X-603541  
マイクロビクターC

X-603081  
高周波加熱装置D

客先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 分析濃度処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-60701) 工程:0167 (13/14)		





備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

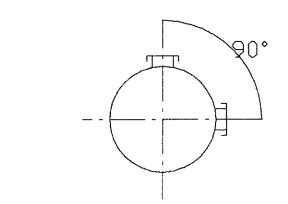
(凡例)

記号	名称
	普通口
	差動分布型温度上昇検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御室1室にも表示する。

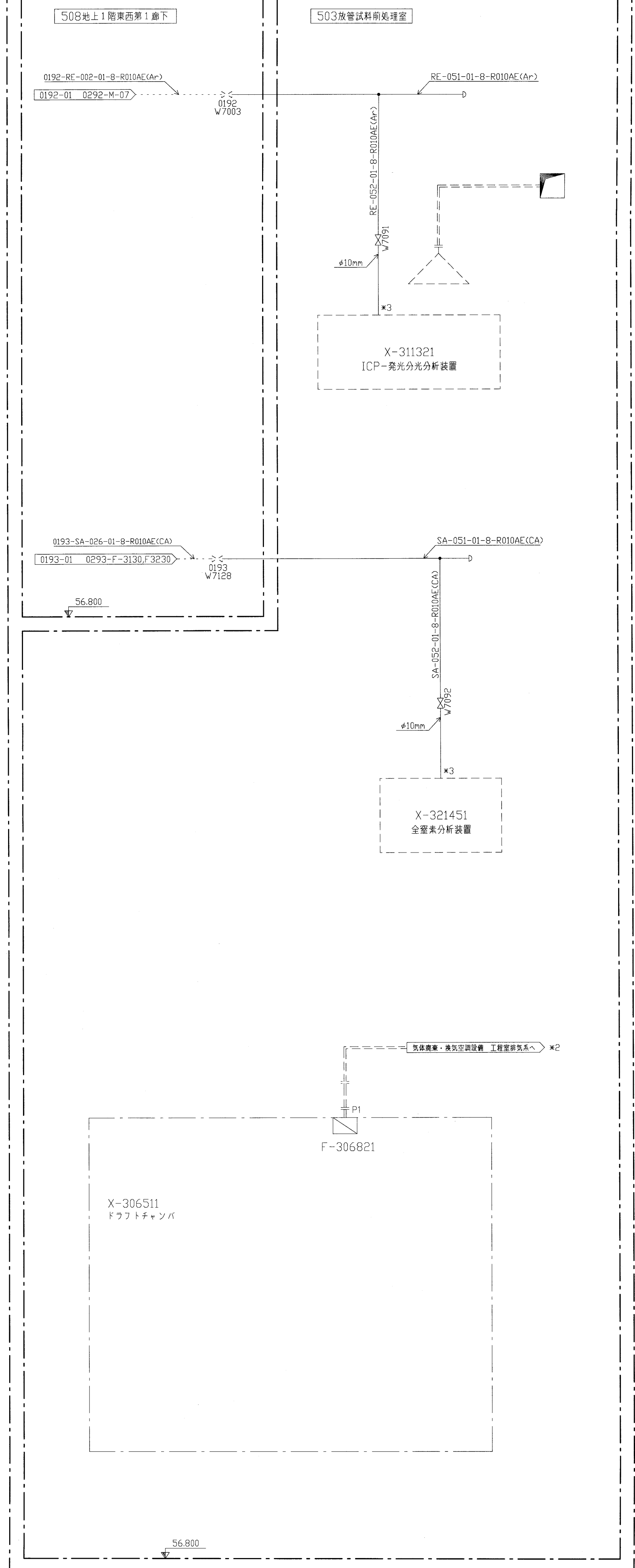
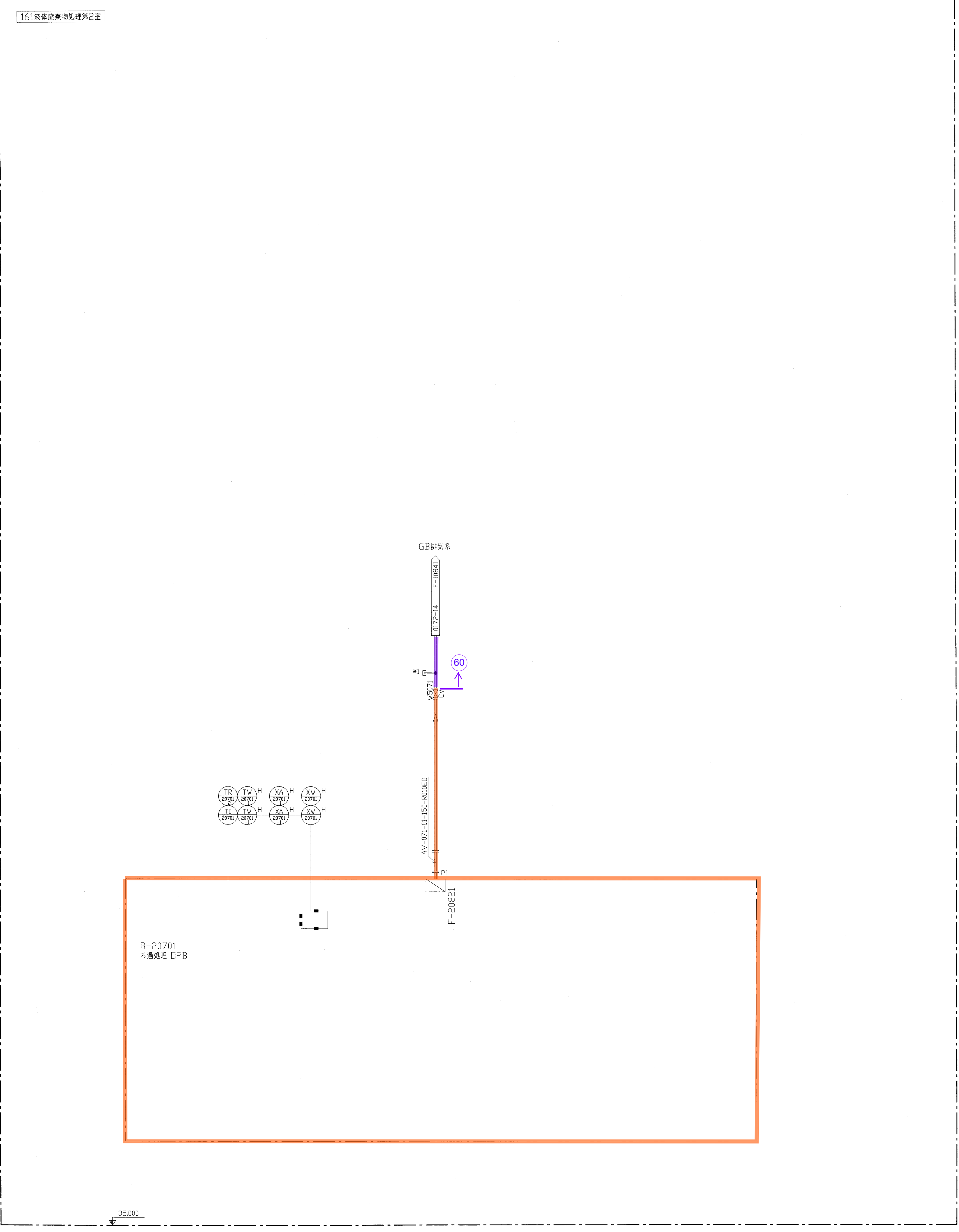
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

\*1 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ設置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



\*2 グローブボックス廻り換気系統図  
(PM-0171-4422-002)参照。

発注先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 液体廃棄物処理 (J) 液体廃棄物処理 エンジニアリングフロア図 (B-10701) 工程: 0172(14/15)		



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

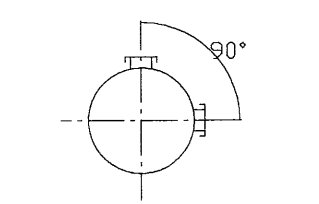
(凡例)

記号	名称
	貫通口
	活動分布型温度上限検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別図第1室にも表示する。

3. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)

\*1 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)  
端面部にねじ込みキャップ取付を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

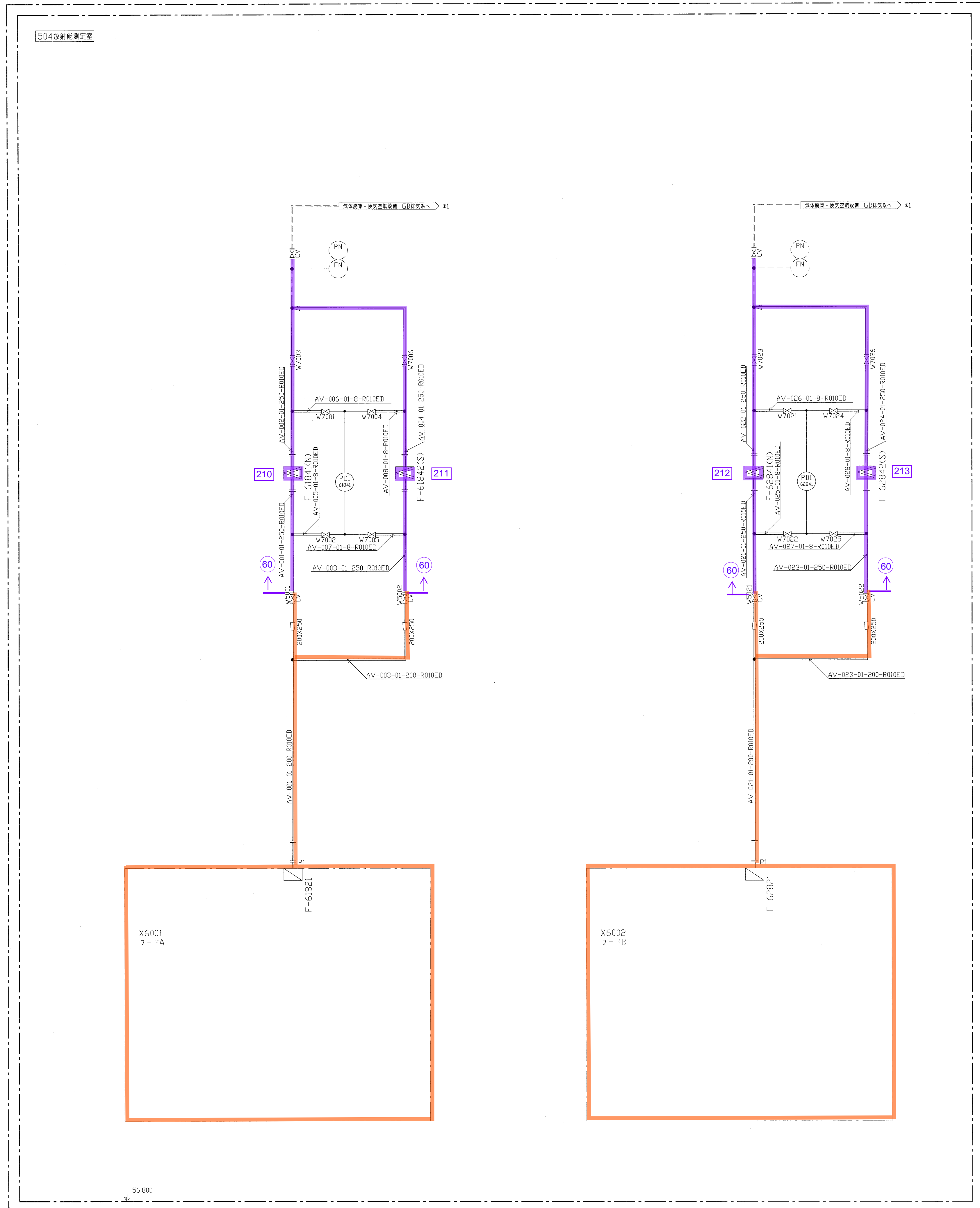


\*2 換気系統図  
(PM-0171-4422-001)参照。

\*3 分析機器配管図  
(PM-0172-4141-001)参照。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 液体廃棄設備 (J) 液体廃棄設備 エンジニアリングフロア内 (B-20701, X-306511) 工程: 0172(15/15)		





備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

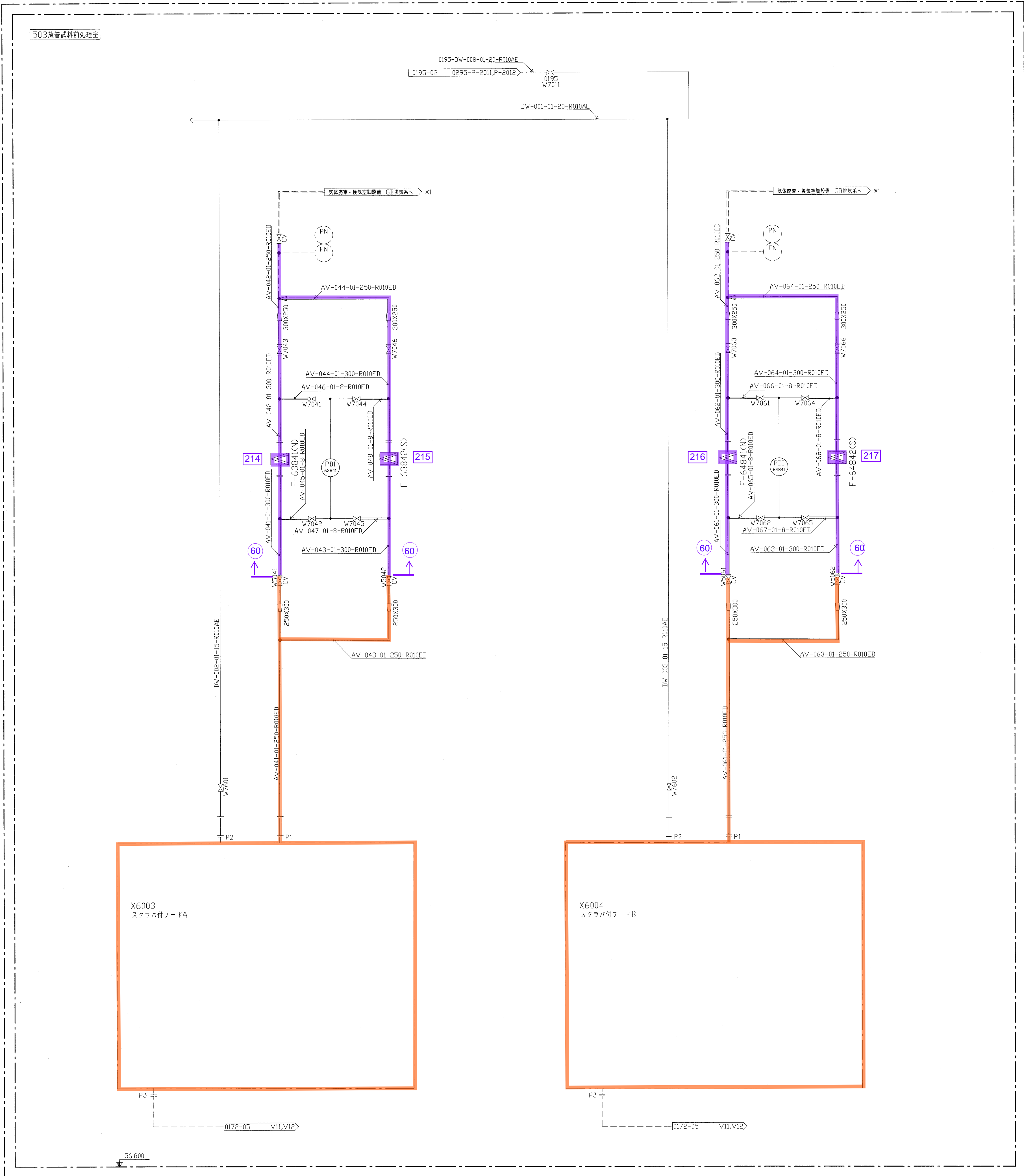
(凡例)

記号	名称
⊗	貫通口

2. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

\*1 タローボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 放射線管理設備 (L) 放射線管理設備 エンジニアリングフロー図 (X6001,6002) 工程: 0182 (GB) (1/2)		



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
⋮	貫通口

2. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

\*1 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。

発注者	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 放射線管理設備(L) 放射線管理設備 エンジニアリングフロー図 (X6003,6004) 工程:0182 (GB) (2/2)		



## 2. 4 申請対象設備抽出結果（窒素循環設備）

施 設	放射性廃棄物の廃棄施設
設 備	気体廃棄物の廃棄設備 設計基準対象の施設 窒素循環設備
機 器	窒素循環ダクト 等

	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	
【対象機器】	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ファン
	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環冷却機
【主たる機能】	放射性物質の閉じ込め機能 放射性物質の過度の放出防止機能							

【機器等の抽出】

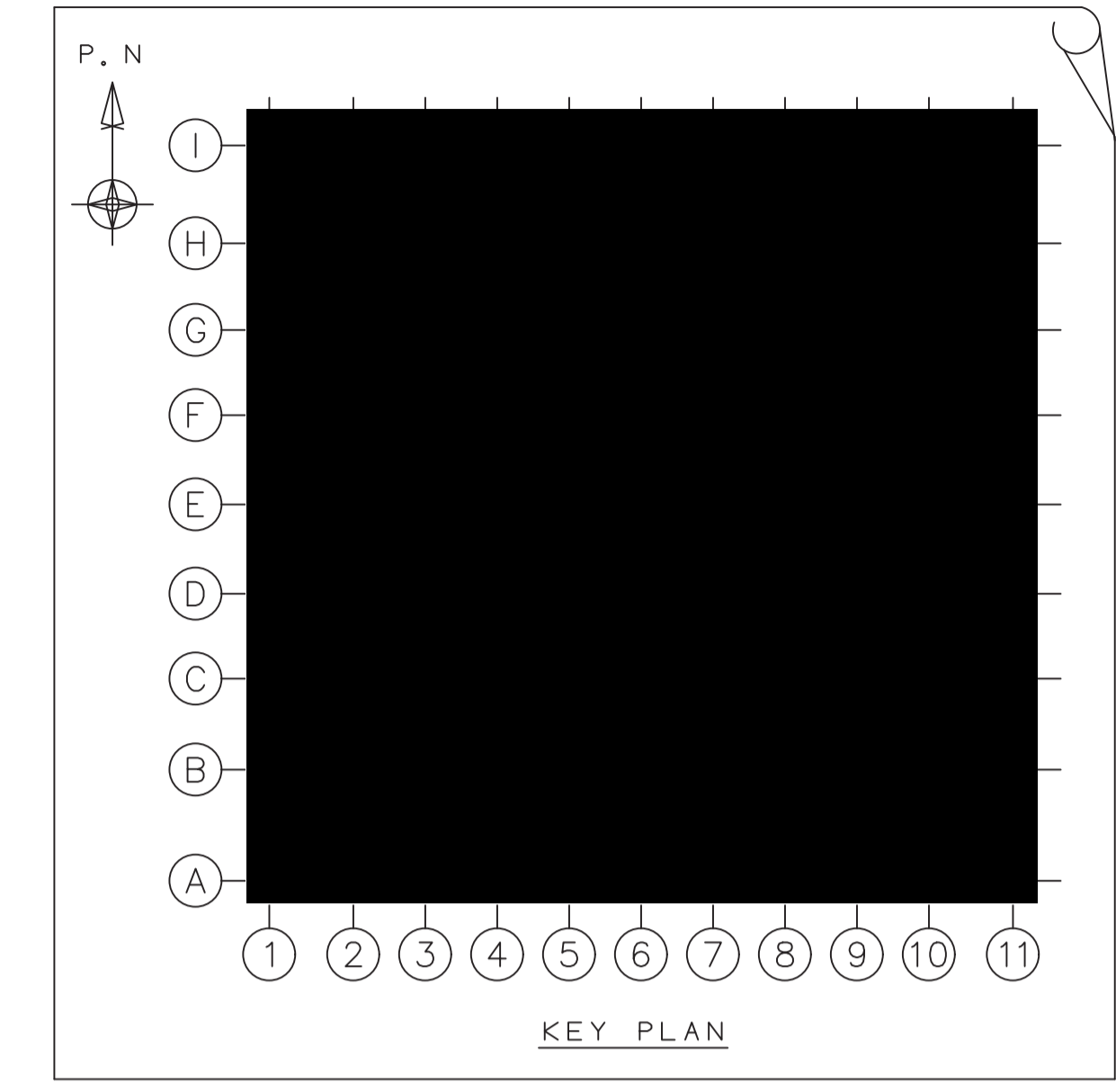
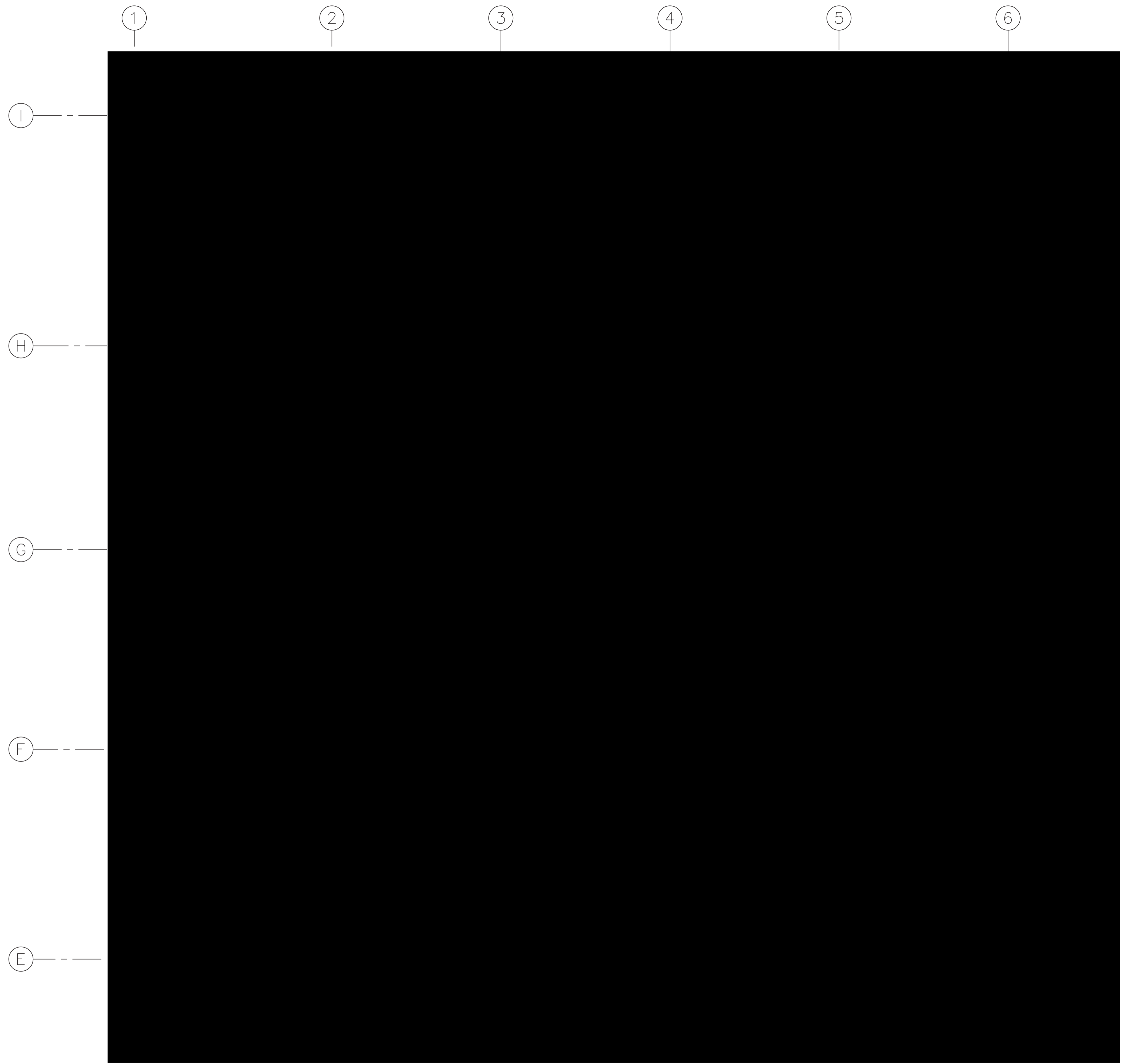
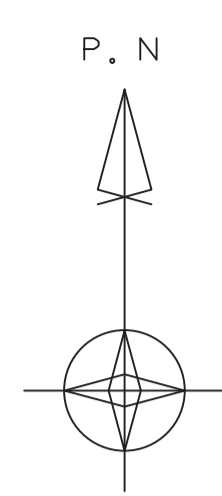
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ファン	ファン	0171-K-501	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	窒素循環ファンA
0171-K-502										窒素循環ファンB									
3	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環冷却機	機械装置	0171-C-551	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	窒素循環冷却機A
4										0171-C-552									



	施設区分	設備区分				機器名称(許可)		
【対象機器】	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ダクト
【主たる機能】	放射性物質の閉じ込め機能 放射性物質の過度の放出防止機能							

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考	
1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ダクト	延焼防止ダンパ(SPD W3109, W3107, W3126, W3111, W3113, W3142, W3115, W3117, W3118, W3146, W3148, W3144, W3184, W3182) ～ 窒素循環戻りダクト合流点1(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
2	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ダクト	延焼防止ダンパ(SPD W3197) ～ 窒素循環戻りダクト合流点1(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
3	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ダクト	窒素循環戻りダクト合流点1(B2F) ～ 窒素循環冷却機A, B ～ 窒素循環ファンA, B ～ 窒素循環給気ダクト分岐点1(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
4	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ダクト	窒素循環給気ダクト分岐点1(B2F) ～ 手動ダンパ(VD W8588)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
5	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ダクト	窒素循環給気ダクト分岐点1(B2F) ～ 窒素循環設備/グローブボックス排気設備取合ダンパ(VD W8504, W8505, W8498, W8495, W8501, W8502, W8494, W8493, W8483, W8484, W8492, W8486, W8496, W8490, W8488, W8489)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
6	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ダクト	手動ダンパVD W8579) ～ 窒素循環戻りダクト合流点2(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
7	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ダクト	窒素循環給気ダクト分岐点2(B2F) ～ 気密隔離ダンパ(ATID W5230)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—

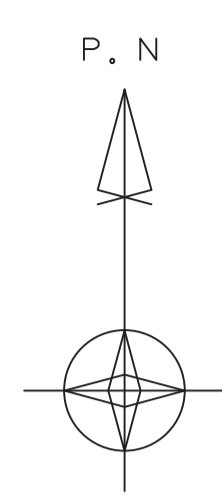


- 凡例
- E (GB)
  - E (GBN)
  - S (GBN)
  - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	数量	単位	重量	備考
日本原燃株式会社 殿				
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下3階 1ブロック (GB, GBN)				





⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

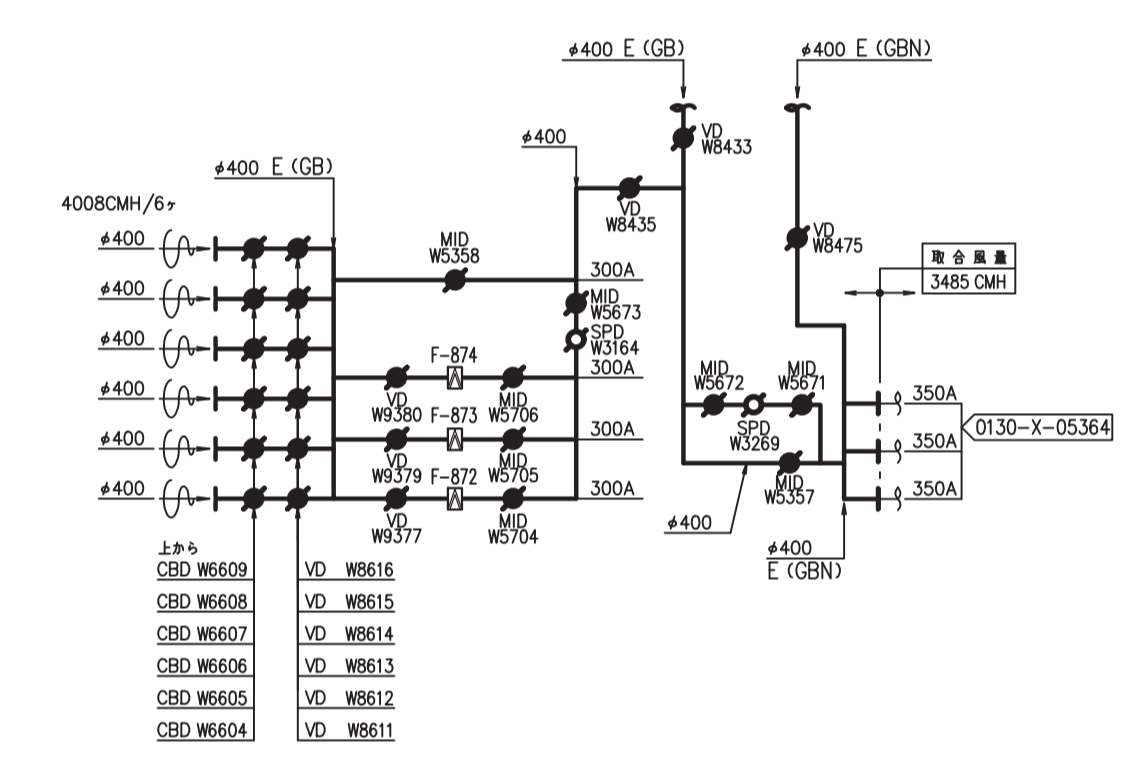
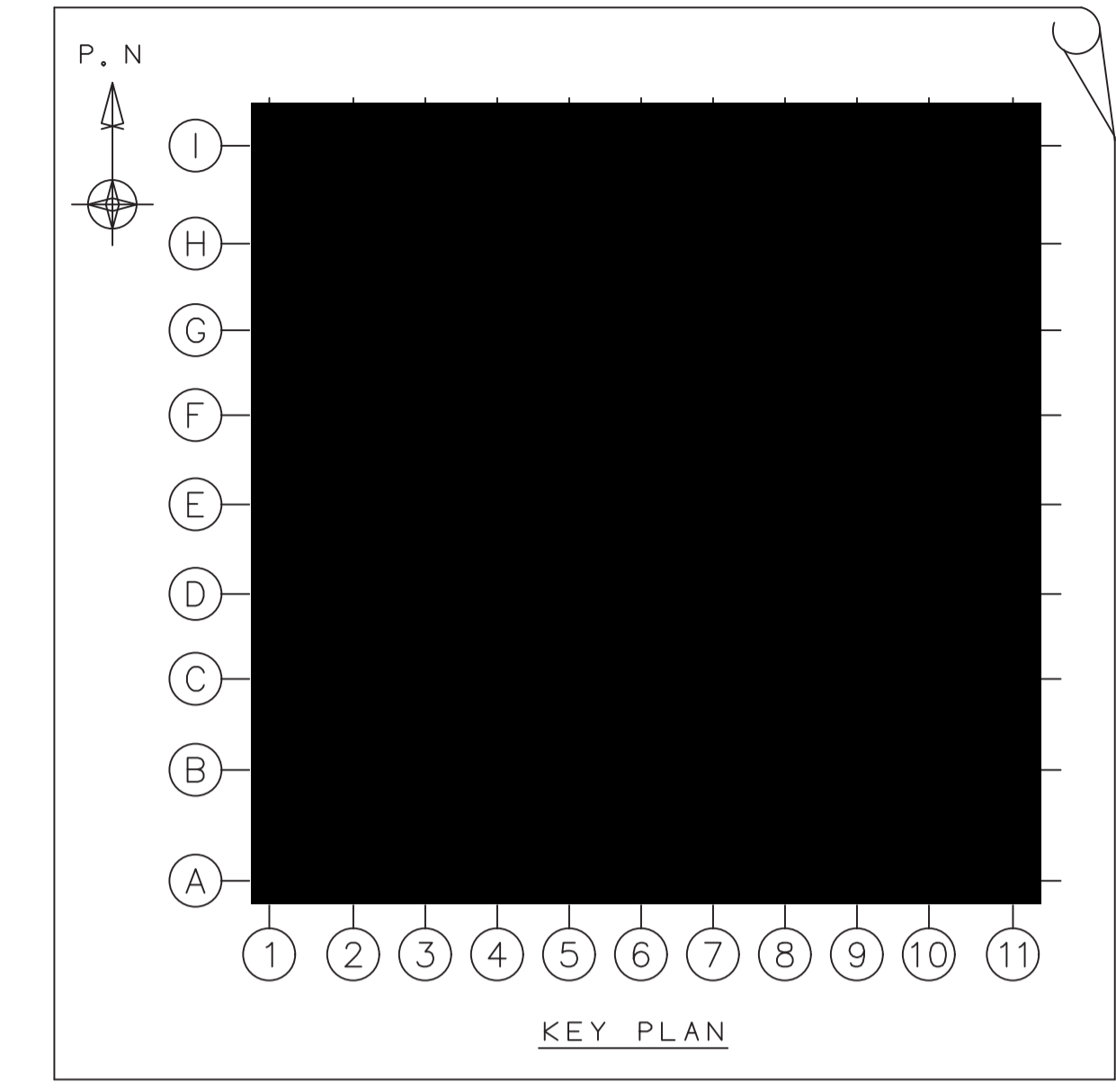
①

②

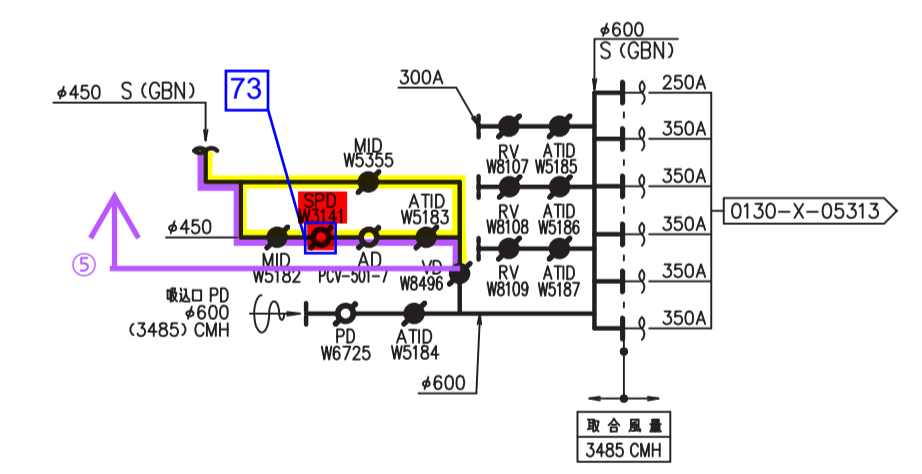
③

④

⑤



X-05364接続部詳細

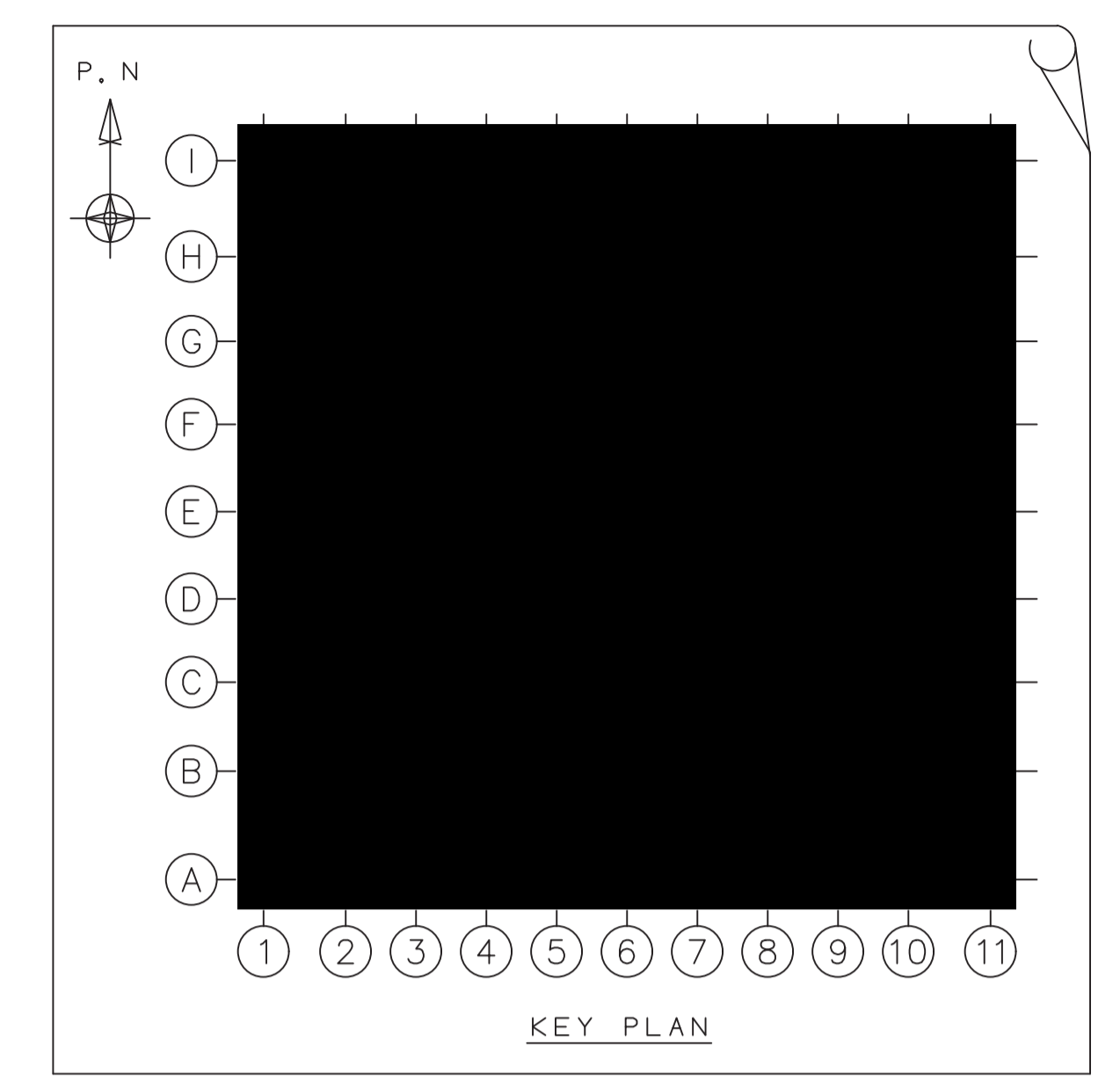
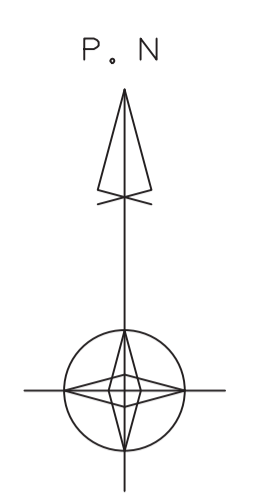


X-05313接続部詳細

- 凡例
- E (GB)
  - E (GBN)
  - S (GBN)
  - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	数	単位	重量	備考
日本原燃株式会社				
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下3階 2ブロック (GB, GBN)				

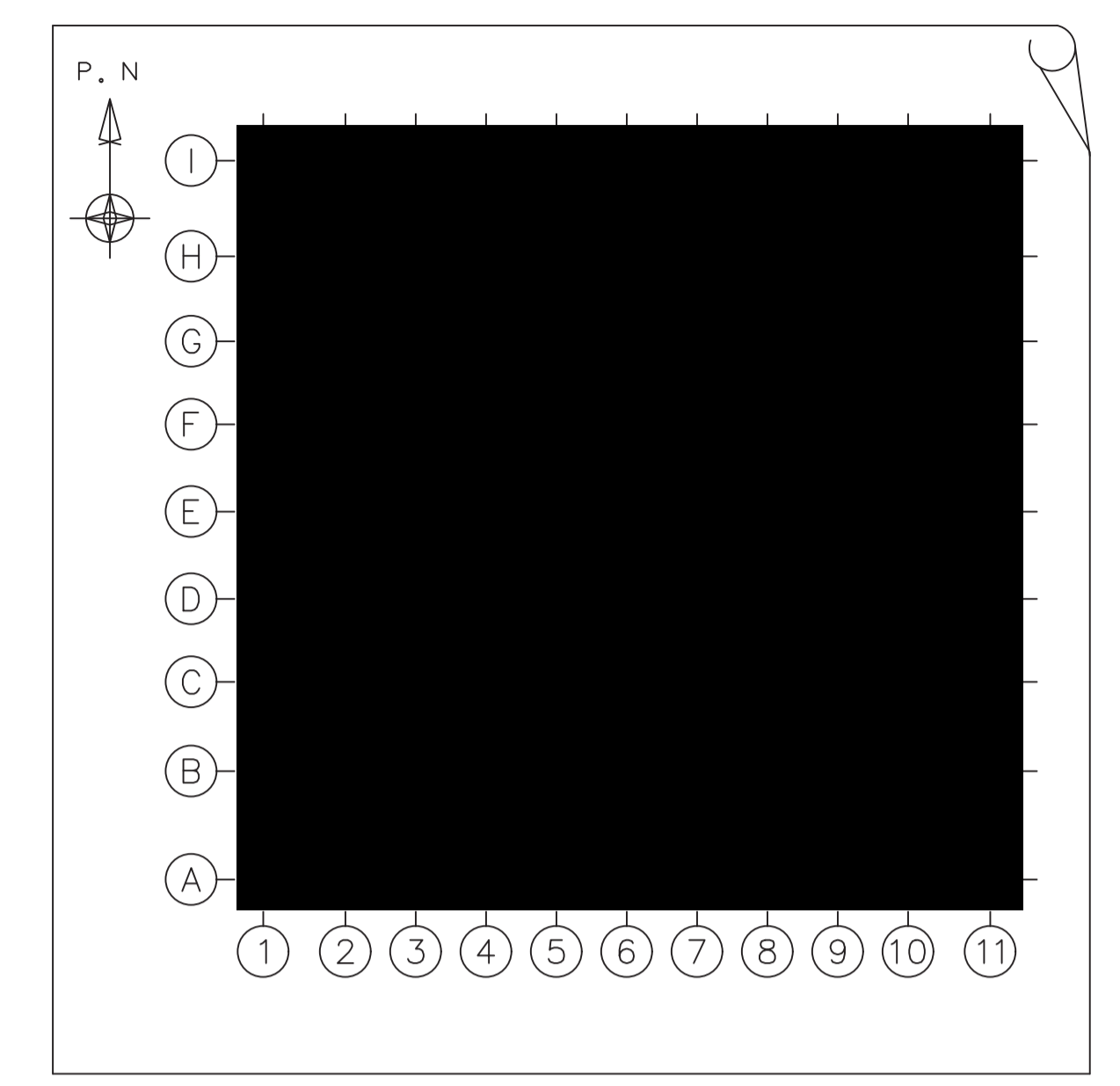
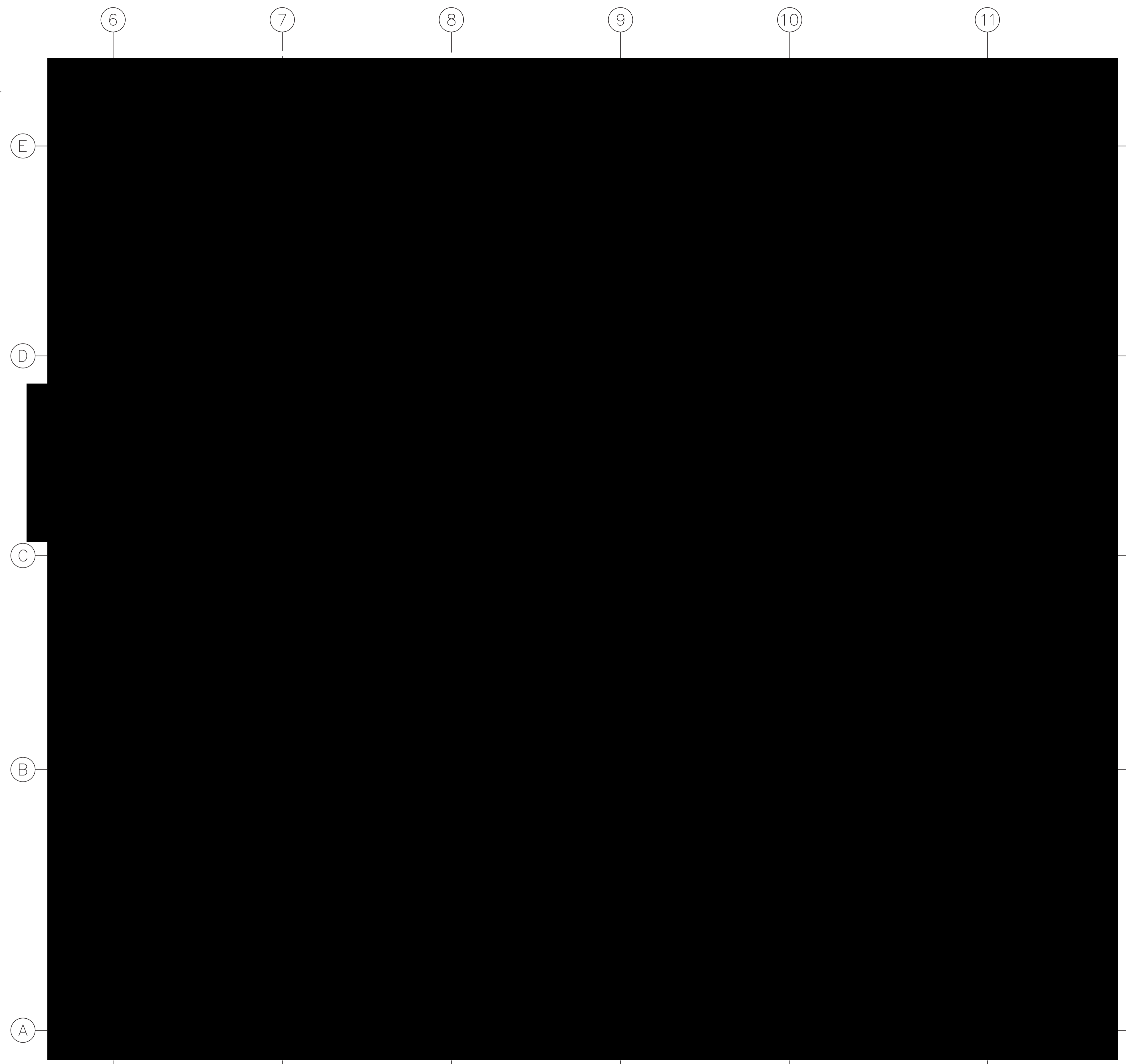
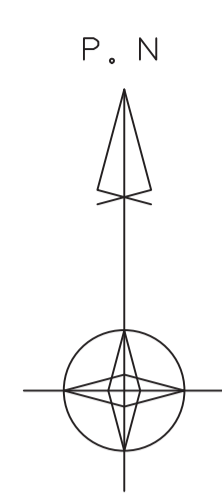


- 凡例
- E (GB)
  - E (GBN)
  - S (GBN)
  - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	数	容積	重量	単位	備考
日本原燃株式会社 殿					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下3階 3ブロック (GB, GBN)					

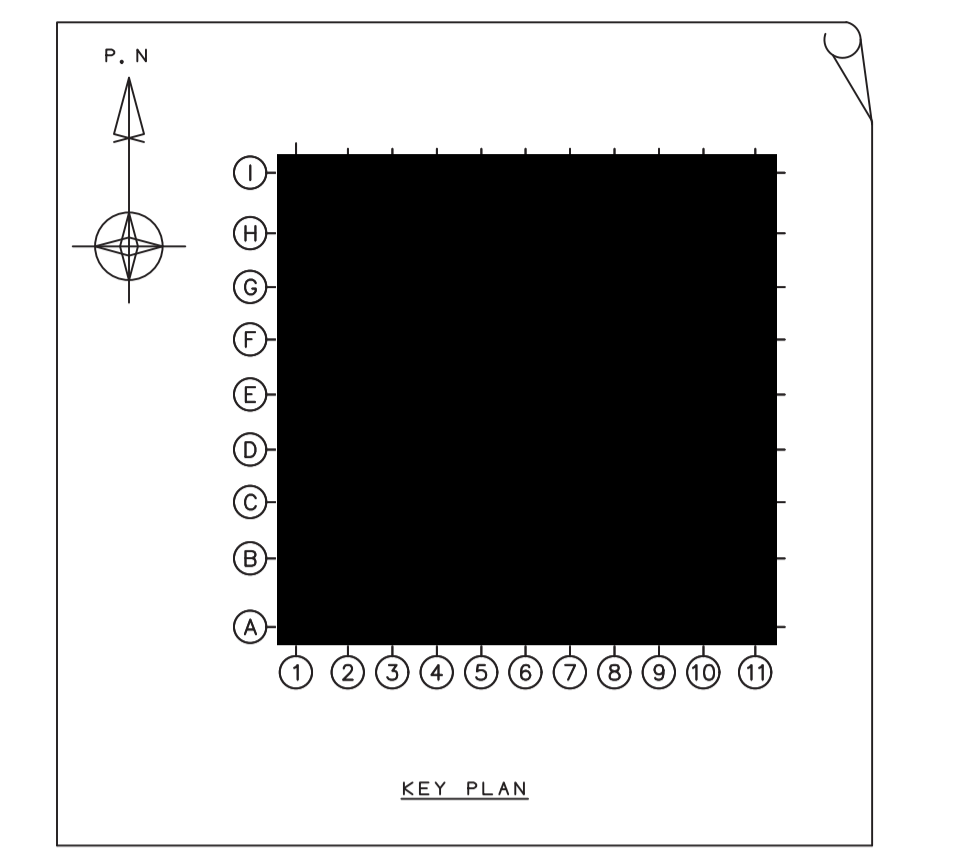
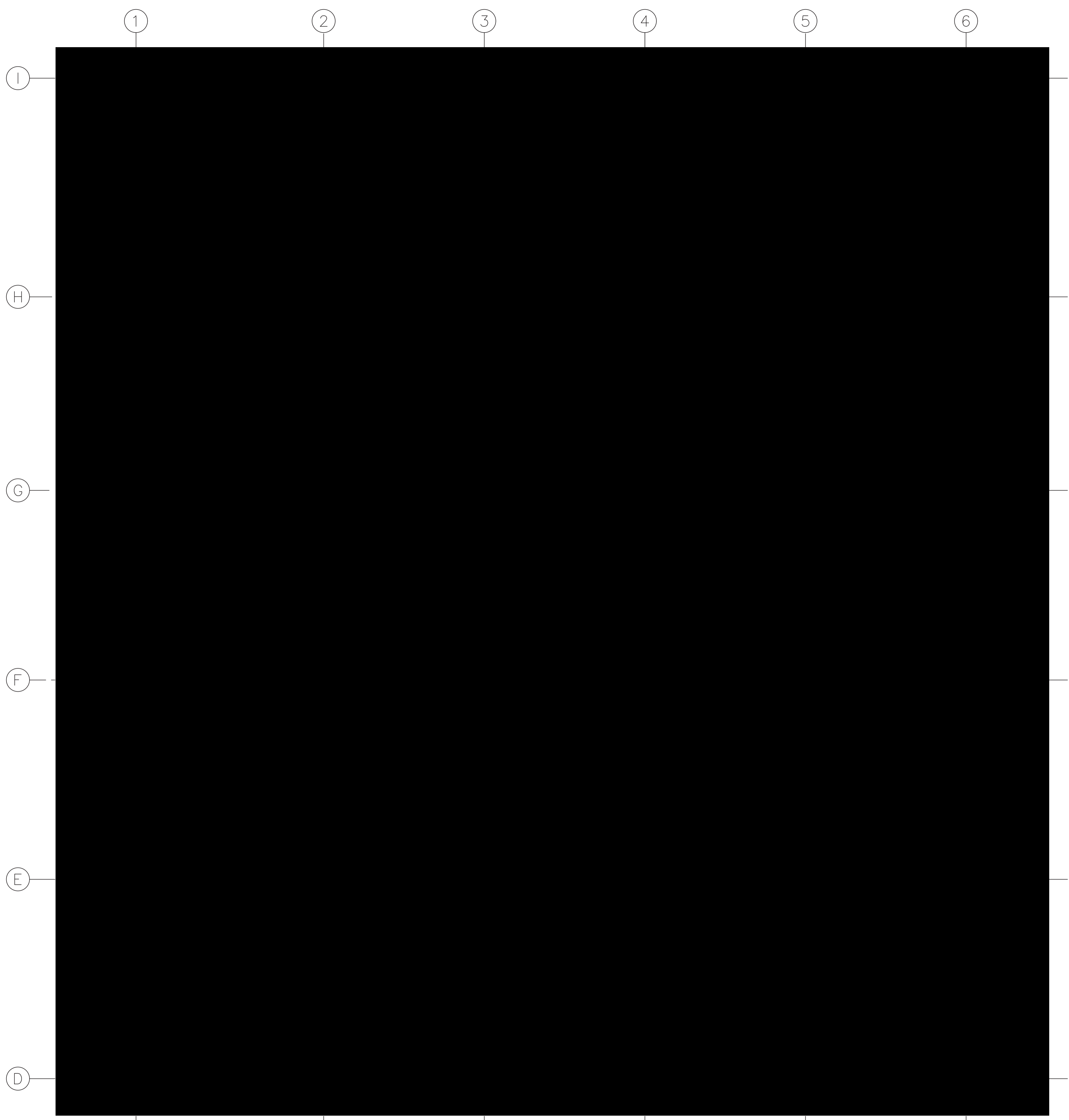
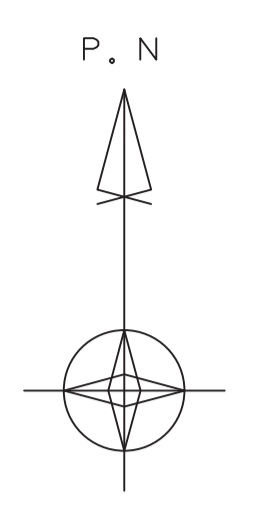




- 凡例
- E (GB)
  - E (GBN)
  - S (GBN)
  - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	核種	活度	単位	質量	備考
日本原燃株式会社殿					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下3階 4ブロック (GB, GBN)					

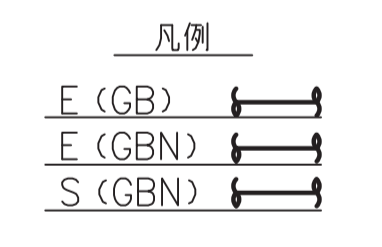
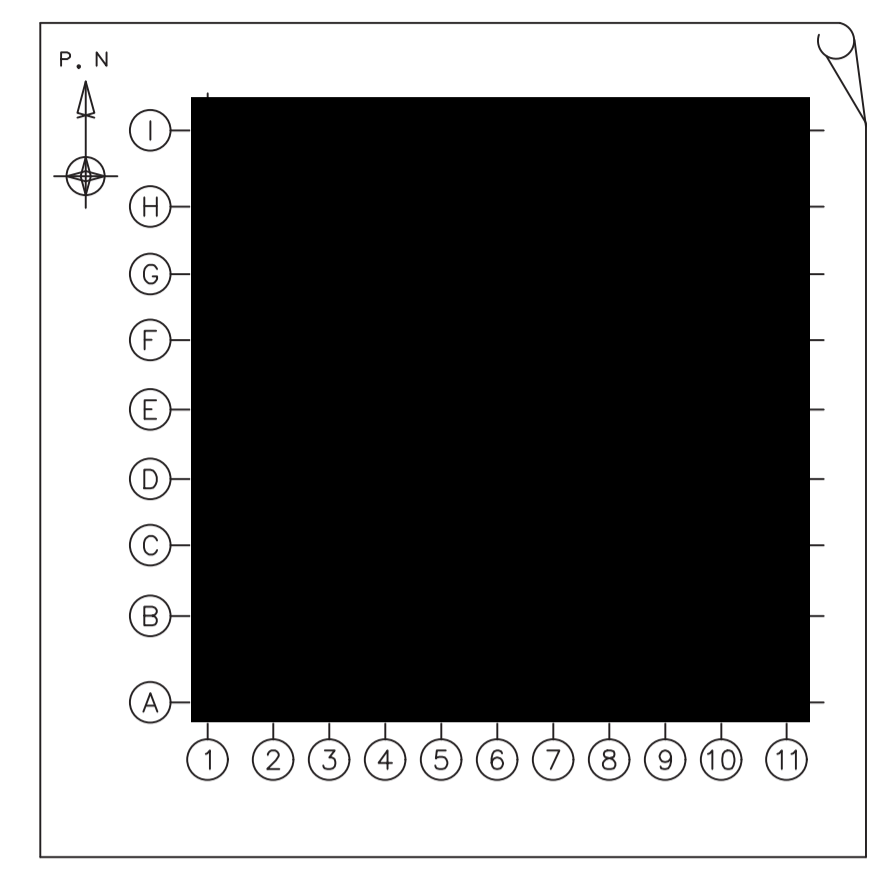
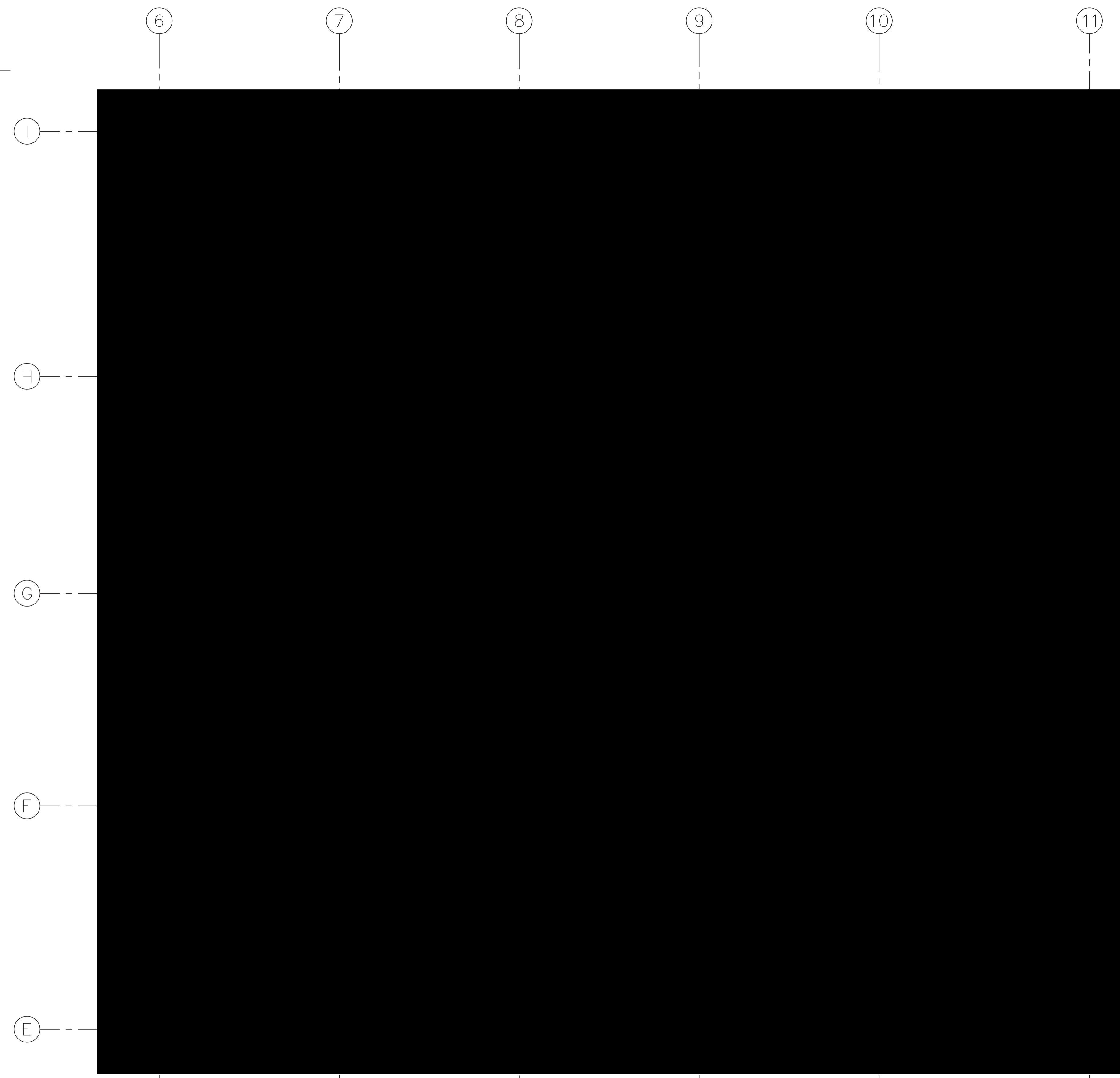
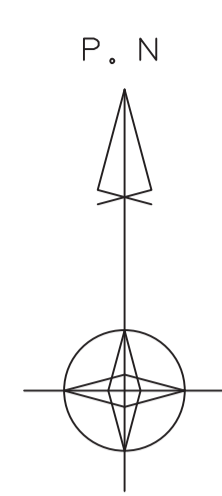


- 凡例
- E (GB)
  - E (GBN)
  - S (GBN)

■ については核不拡散の観点から公開できません。

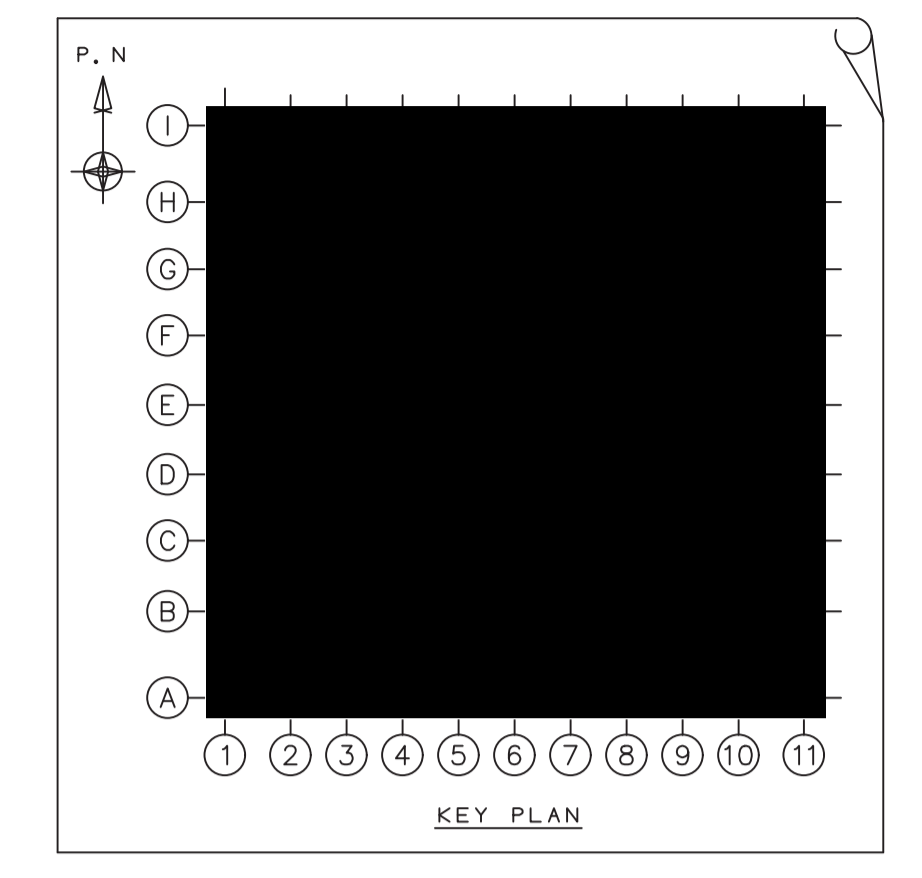
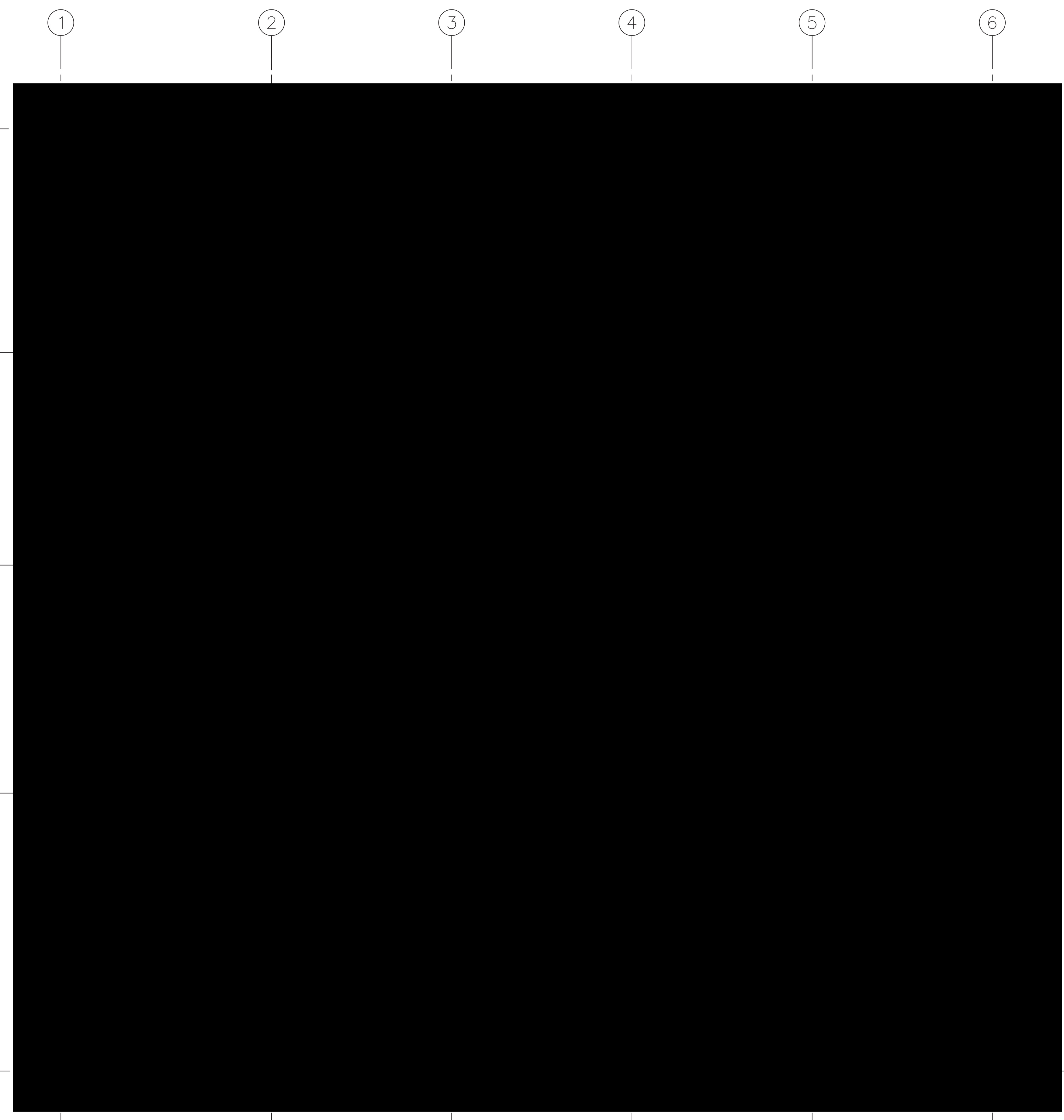
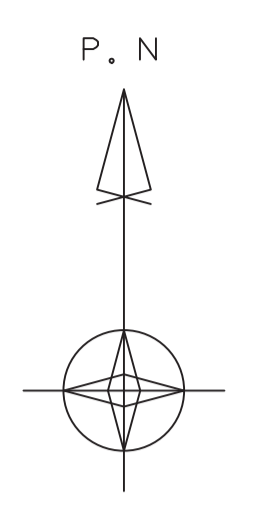
材料	数量	単位	重量	備考
日本原燃株式会社				
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下2階 1ブロック (GB, GBN)				





■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	種別	数量	単位	質量	備考
日本原燃株式会社殿					
MOX燃料工場	燃料加工建屋	(PA)			
気体廃棄	換気空調設備	(H)			
単線ダクト	ルート図				
地下2階	2ブロック	(GB, GBN)			

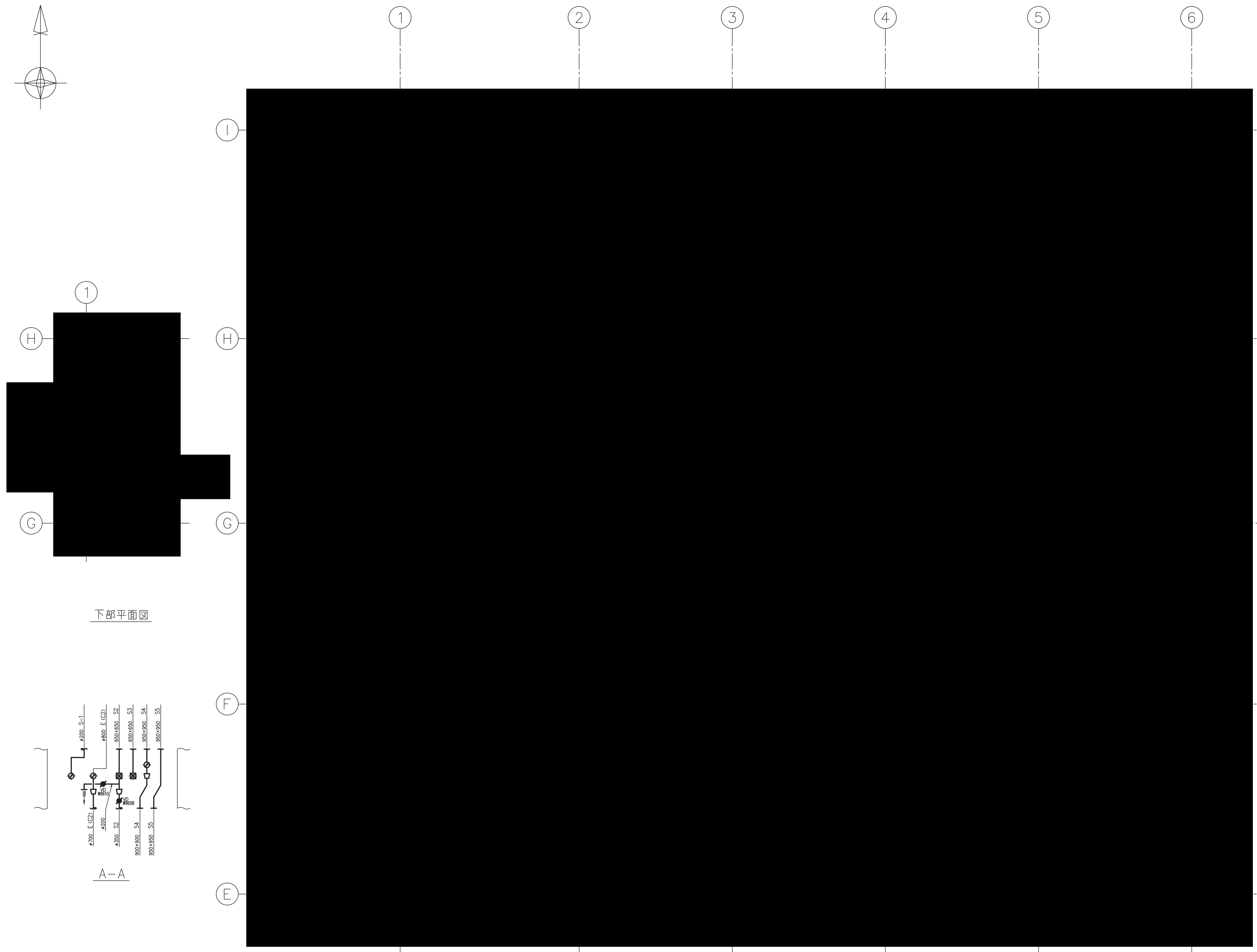
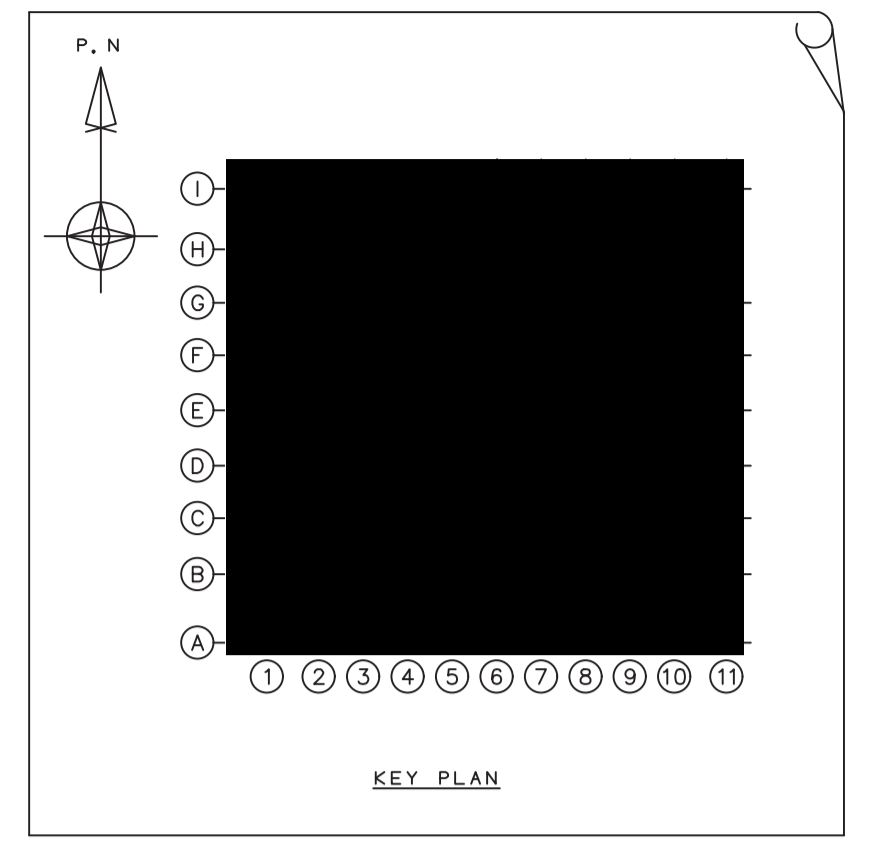
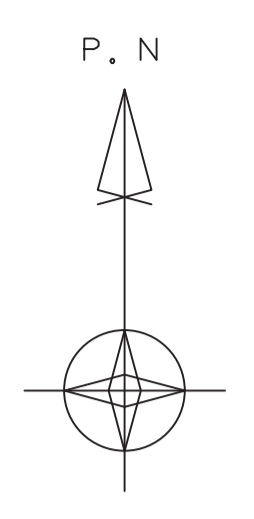


凡例  
 E (GB)   
 E (GBN)   
 S (GBN)

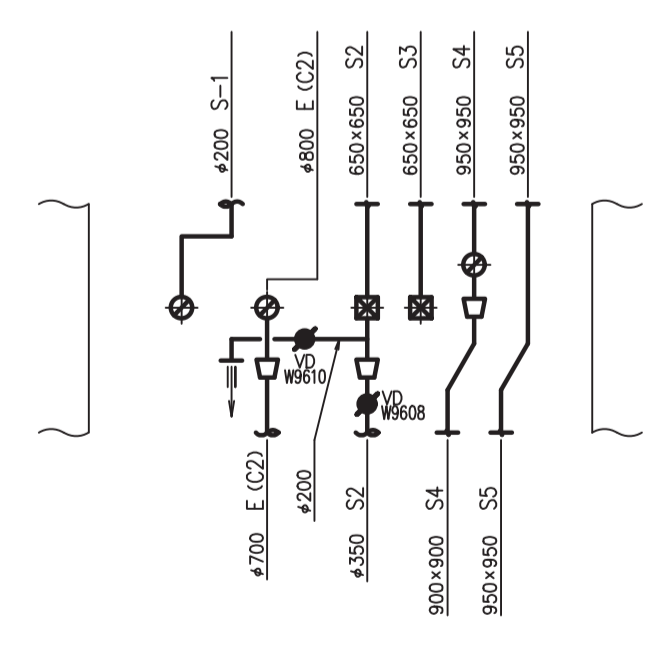
■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	核種	活度	単位	質量	備考
日本原燃株式会社 殿					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下2階 3ブロック (GB, GBN)					





下部平面図



A-A

- 凡例
- S1~5
  - E (C1)
  - E (C2)
  - E (C3)
  - S-1
  - E-1
  - R-1
  - E (GBN)
  - S (GBN)

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	数	単位	重量	備考
日本原燃株式会社 殿				
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下1階 1ブロック				

上部平面図

### 3. 関連する別紙2 (機能要求②抜粋)



3. 1 別紙2 機能要求②抜粋  
(10条：閉じ込めの機能)

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請			
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表	
6	グローブボックス等は、グローブボックス排気設備により負圧に維持し、工程室は工程室排気設備、燃料加工建屋は建屋排気設備により、グローブボックス等内の圧力を最も低くし、次いで工程室、燃料加工建屋の順に圧力を低くすることで、核燃料物質等の漏えいの拡大を防止する設計とする。	機能要求① 機能要求②	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローブボックス排気機</li> <li>工程室排気機</li> <li>建屋排気機</li> <li>窓室循環ファン</li> <li>ホダク</li> <li>主配管</li> <li>グローブボックス排気設備</li> <li>工程室排気設備</li> <li>建屋排気設備</li> <li>窓室循環設備</li> </ul>	設計方針(閉じ込め)	-	-	-	○	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローブボックス排気機</li> <li>工程室排気機</li> <li>建屋排気機</li> <li>窓室循環ファン</li> <li>ホダク</li> <li>主配管</li> </ul> <p>【機能要求②】 グローブボックス排気設備 工程室排気設備 建屋排気設備 窓室循環設備 ※基本設計方針、加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローブボックス排気機</li> <li>工程室排気機</li> <li>建屋排気機</li> <li>窓室循環ファン</li> <li>ホダク</li> <li>主配管</li> </ul>	-	-	-	-	-	-
7	グローブボックスは、給気口及び排気口を除き密閉できる設計とする。	機能要求②	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローブボックス</li> <li>焼結炉</li> <li>スタック乾燥装置</li> <li>小規模焼結処理装置</li> </ul>	設計方針(閉じ込め)	-	-	-	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>粉末一時保管装置GB</li> <li>ペレット一時保管装置GB</li> <li>スタック編成設備GB等</li> </ul> <p>※基本設計方針、加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタック乾燥装置</li> <li>分析装置GB等</li> <li>※加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>核物質等取扱ボックス</li> <li>漏れ率</li> <li>焼結・乾燥装置</li> <li>漏れ率</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>予備混合装置GB等</li> <li>※加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼結炉</li> <li>小規模焼結処理装置</li> <li>均一化混合装置GB等</li> <li>※加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>核物質等取扱ボックス</li> <li>漏れ率</li> <li>焼結・乾燥装置</li> <li>漏れ率</li> </ul>	-	-
8	また、グローブ1個が破損した場合でもグローブボートの開口部における空気流入風速を設定値以上に維持する設計とする。	機能要求① 機能要求②	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローブボックス排気機</li> <li>グローブボックス</li> </ul>	設計方針(閉じ込め)	-	-	-	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>粉末一時保管装置GB</li> <li>ペレット一時保管装置GB</li> <li>スタック編成設備GB等</li> </ul> <p>※基本設計方針、加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローブボックス排気機</li> <li>分析装置GB等</li> </ul> <p>【機能要求②】 加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>容量</li> <li>原動機</li> <li>核物質等取扱ボックス</li> <li>開口部風速</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>予備混合装置GB等</li> <li>※加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>均一化混合装置GB等</li> <li>※加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>核物質等取扱ボックス</li> <li>開口部風速</li> </ul>	-	-
10	液体廃棄物を内包する系統及び機器は、密接、フランジ又は継手で接続する構造により核燃料物質等が漏えいし難い設計とし、系統及び機器から漏液が漏えいした場合、漏えい検知器により検知できる設計とする。また、漏等により漏えいの拡大を防止できる設計とする。	機能要求① 機能要求② 評価要求	<ul style="list-style-type: none"> <li>低レベル廃液処理設備(漏えい液検知器)</li> <li>分析設備(漏えい液検知器)</li> <li>燃料加工建屋(棟)</li> </ul>	設計方針(漏えいの拡大防止) 評価(漏えいの拡大防止)	-	-	-	○	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>低レベル廃液処理設備等</li> <li>分析設備</li> <li>燃料加工建屋(棟)</li> </ul> <p>※基本設計方針、加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測装置</li> <li>検出器の種類</li> <li>計測範囲</li> <li>警報動作範囲</li> <li>施設外漏えい防止策</li> <li>主要寸法</li> <li>主要材料</li> </ul>	-	-	-	-	-	
11	また、放射性物質を含む液体を取り扱うグローブボックスは、放射性物質を含む液体が漏えいした場合においてもグローブボックス底部を漏えい液受皿構造とすることにより、グローブボックスに放射性物質を含む液体を閉じ込めることで、放射性物質を含む液体がグローブボックス外に漏えいし難い設計とする。	機能要求② 評価要求	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローブボックス(漏えい受皿)</li> <li>オープンポートボックス(漏えい受皿)</li> </ul>	設計方針(漏えいの拡大防止) 評価(漏えいの拡大防止)	-	-	-	○	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>低レベル廃液処理設備等</li> </ul> <p>※基本設計方針、加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>核物質等取扱ボックス(漏えい受け皿)</li> <li>主要寸法</li> <li>主要材料</li> </ul>	-	-	-	-	-	
12	オープンポートボックス及びフードは、グローブボックス排気設備により開口部からの空気流入風速を確保する設計とする。	機能要求① 機能要求②	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローブボックス排気機</li> <li>オープンポートボックス</li> <li>フード</li> </ul>	設計方針(閉じ込め)	-	-	-	○	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローブボックス排気機</li> <li>分析装置フード</li> <li>低レベル廃液処理設備GB等</li> </ul> <p>※基本設計方針、加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>容量</li> <li>原動機</li> <li>核物質等取扱ボックス</li> <li>開口部風速</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>外蓋着脱装置GB</li> <li>貯蔵容器受皿装置GB</li> <li>フード(放射線測定設備)等</li> </ul> <p>※加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>容量</li> <li>原動機</li> <li>核物質等取扱ボックス</li> <li>開口部風速</li> </ul>	-	-	

凡例  
 ・「説明対象」について  
 ○：当該申請回次で新規に記載する項目又は当該申請回次で記載を追記する項目  
 △：当該申請回次以前から記載しており、記載内容に変更がない項目  
 -：当該申請回次で記載しない項目



3. 2 別紙2 機能要求②抜粋

(11条 29条：火災等による損傷の防止)

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請				第3回申請				第4回申請			
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	申請対象設備 (1項新規①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	申請対象設備 (1項新規②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (1項新規③)	仕様表
6	火災及び爆発の影響軽減対策が必要な火災防護上重要な機器等を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁（耐火壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等）として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や耐火試験により3時間以上の耐火能力を有する耐火壁、天井及び床により隣接する他の火災区域と分離する。火災区域又は火災区域のファンネルには、他の火災区域又は火災区域からの煙の流入防止を目的として、煙等流入防止装置を設置する設計とする。	機能要求② 設置要求	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	設計方針（火災区域の設定） 設計方針（影響軽減）	○	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	<火災区域構造物> ・主要寸法 ・主要材料	○	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	火災影響軽減設備 延焼防止ダンパ 防火シャッター 等  【機能要求②】 火災区域構造物	<火災区域構造物> ・主要寸法 ・主要材料	○	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	火災影響軽減設備 防火シャッター	○	施設共通 基本設計方針（耐火シール等）等	-		
24	d. 燃料加工建屋内へ水素・アルゴン混合ガス受け入れ後も燃料加工建屋内で水素濃度を確認し、万一、水素濃度が0.0vol%を超える場合には、水素・アルゴン混合ガス濃度異常遮断弁により焼結炉等への水素・アルゴン混合ガスの供給を自動で停止する設計とする。	機能要求① 機能要求②	水素・アルゴン混合ガス設備	設計方針（発生防止）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	その他主要な事項 水素・アルゴン混合ガス設備  【機能要求②】 混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路 混合ガス濃度異常遮断弁（焼結炉系、小規模焼結処理系）	<インターロック> ・検出器の種類 ・計測範囲 ・警報動作範囲 ・検出器の種類 ・設定値 ・起動に要する信号の個数 ・起動信号を発生させない条件	<主要弁> 主要寸法	-	-	-
25	また、焼結炉等では、温度異常に伴う炉内への空気流入を防止するため、熱的制限値を設定し、温度制御機器により焼結時の温度を制御するとともに、炉内温度が熱的制限値を超えないよう過加熱防止回路により炉内の加熱を自動で停止する設計とする。	機能要求②	過加熱防止回路	設計方針（発生防止）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	焼結炉内部温度高による過加熱防止回路	<インターロック> ・検出器の種類 ・計測範囲 ・警報動作範囲 ・検出器の種類 ・設定値 ・起動に要する信号の個数 ・起動信号を発生させない条件	-	-	-	
97	a. 消火設備の消火剤の容量 消火設備は、想定される火災の性質に応じた十分な容量として、消防法施行規則及び試験結果に基づき算出した消火剤容量を配備する設計とする。	設置要求 機能要求②	消火設備	設計方針（火災の消火）	-	-	-	-	-	【機能要求②】 消火設備 GB消火装置 窒素消火装置 二酸化炭素消火装置	<容器> ・個数 ・容量  <主配管> 外径・厚さ	○	-	-	-	消火設備 消火用水槽 ろ過水貯槽	-		
98	ただし、グループボックス内の消火を行う不活性ガス消火装置（グループボックス消火装置）については、グループボックスの給気量を下回るように消火ガスを放出するとともに、消火ガス放出開始から所定の時間で放出を完了できる設計とする。 また、複数連結したグループボックスについては、消火ガスの放出単位を設定し、その放出単位の給気量の合計値を下回るように消火ガスを放出するとともに、消火ガス放出開始から所定の時間で放出を完了できる設計とし、消火剤容量は最も大きな放出単位を消火できる量以上を配備する。	設置要求 機能要求②	消火設備 GB消火装置 ピストンダンパ、延焼防止ダンパ	設計方針（火災の消火）	-	-	-	-	-	消火設備 GB消火装置 ピストンダンパ 延焼防止ダンパ	<容器> ・個数 ・容量  <主配管> 外径・厚さ  <主要弁> 主要寸法	○	-	-	-	-	-		
99	消火用水供給系の水源は、消防法施行令に基づくとともに、2時間の最大放水量に対し十分な容量を有する設計とする。 また、緊急時対策種類の消火用水供給系の水源は、消防法施行令に基づくとともに、2時間の最大放水量に対し十分な容量を有する設計とする。	設置要求	消火設備	設計方針（火災の消火）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	防火水槽	○	消火設備 消火用水槽 ろ過水貯槽	-		



項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請				第3回申請				第4回申請		
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	申請対象設備 (1項新規①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	申請対象設備 (1項新規②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (1項新規③)
100	b. 消火設備の系統構成 (a) 消火用水供給系の多重性又は多様性 消火用水供給系の水源として、ろ過水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))及び消火用水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を設置し、多重性を有する設計とする。 緊急時対策建屋の消火用水供給系の水源は、消火水槽、遠慮近傍に防火水槽を設置し、多重性を有する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	消火設備	設計方針(火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	消火設備 消火用水槽 ろ過水貯槽	-
101	消火用水系の消火ポンプは、電動機駆動消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))に加え、ディーゼル駆動消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を1台ずつ設置することで、多重性を有する設計とする。同時に、消火配管内を加圧状態に保持するため、機器の単一故障を想定し、圧力調整用消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を2基設ける設計とする。 また、緊急時対策建屋の消火ポンプは電動機駆動消火ポンプを2台設置することで、多重性を有する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	消火設備 圧力調整用消火ポンプ、ディーゼル駆動消火ポンプ、電動機駆動消火ポンプ	設計方針(火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	消火設備 圧力調整用消火ポンプ ディーゼル駆動消火ポンプ 電動機駆動消火ポンプ	-
128	(b) 水平距離6m以上の離隔距離の確保、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 互いに相違する系列の火災防護上の系統分離対策を講じる設備は、水平距離間には設置するものを含め可燃性物質が存在しないようにし、系列間を6m以上の離隔距離により分離する設計とし、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	基本方針、GB排風機、火災感知設備、消火設備(窒素消火装置)	基本方針 設計方針(影響軽減)	-	-	○	-	GB排風機 【機能要求②】 消火設備 窒素消火装置	<容器> ・個数 ・容量 <主配管> 外径・厚さ	○	-	-	-	-	-	火災感知設備 自動火災報知設備	-
129	(c) 1時間耐火隔壁による分離、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 互いに相違する系列の火災防護上の系統分離対策を講じる設備を1時間の耐火能力を有する隔壁で分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求② 評価要求	基本方針、非常用発電機(燃料移送ポンプ)、火災感知設備、消火設備(二酸化炭素消火装置)	基本方針 設計方針(影響軽減) 評価方法(影響軽減) 評価(影響軽減)	-	-	○	-	【機能要求②】 消火設備 二酸化炭素消火装置	<容器> ・個数 ・容量 <主配管> 外径・厚さ	○	-	-	-	-	-	燃料移送ポンプ 火災感知設備 自動火災報知設備	-
131	(b) 中央監視室床下の影響軽減対策 中央監視室の床下に関しては、「3時間以上の耐火能力を有する隔壁等で分離された設計」、「互いに相違する系列間の水平距離が6m以上あり、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」、又は「1時間の耐火能力を有する隔壁等で互いの系列間を分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	基本方針、GB排風機、非常用室内電源設備、火災感知設備、窒素消火装置	基本方針 設計方針(影響軽減)	-	-	○	-	GB排風機 【機能要求②】 窒素消火装置	<容器> ・個数 ・容量 <主配管> 外径・厚さ	○	-	-	-	-	-	非常用発電機の系統 火災感知設備 自動火災報知設備	-

凡例  
・「説明対象」について  
○：当該申請回次で新規に記載する項目又は当該申請回次で記載を追記する項目  
△：当該申請回次以前から記載しており、記載内容に変更がない項目  
-：当該申請回次で記載しない項目

3. 3 別紙2 機能要求②抜粋  
(15条 31条：材料及び構造)



項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請																					
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表																			
4	8.2.1.1 材料について (1) 機械的強度及び化学的成分 a. 安全機能を有する施設の容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する設計とする。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等）	-	-	-	-	-	グループボックス排気設備（安重範囲） 工程室排気設備（安重範囲） グループボックス消火装置 分析済液処理装置グループボックス（漏えい受皿） 分析済液処理装置	《容器》 ・主要材料 《核物質等取扱ボックス（漏えい受皿）》 ・主要材料 ・主配管 ・主要材料	○	-	-	-	非常用発電機 非常用ガスタービン発電機 燃料油貯蔵タンク 燃料油サービスタンク 起動用空気槽	《容器》 ・主要材料 《主配管》 ・主要材料	-	-	-															
5	b. 重大事故等対処設備の容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な材料を使用する設計とする。	機能要求②	重大事故等対処設備の容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等）	-	-	-	-	-	外部放出抑制設備 代替グループボックス排気設備	《主配管》 ・主要材料	○	-	-	-	遠隔消火装置	《容器》 ・主要材料 《主配管》 ・主要材料	-	-	第1軽油貯槽 第2軽油貯槽 第1貯水槽 第2貯水槽 緊急時対策建屋加圧ユニット 重油貯槽	《容器》 ・主要材料 《主配管》 ・主要材料														
6	c. 可搬型重大事故等対処設備の容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して日本産業規格等に適合した適切な材料を使用する設計とする。	機能要求②	可搬型重大事故等対処設備の容器、管	設計方針（評価方法等）	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	代替グループボックス排気設備 主ダクト（可搬）	《容器》 ・主要材料 《主配管》 ・主要材料	-	-	軽油用タンクローリ 大型移送ポンプ車 可搬型放水砲 可搬型建屋外ホース 可搬型環境モニタリング用発電機 可搬型排気モニタリング用発電機 可搬型気象観測用発電機 環境モニタリング用可搬型発電機 燃料油貯蔵タンク 燃料加工建屋可搬型発電機 情報連絡用可搬型発電機 制御建屋可搬型発電機 可搬型発電機 緊急時対策建屋用発電機 情報把握計装設備可搬型発電機	《容器》 ・主要材料 《主配管》 ・主要材料														
7	8.2.1.2 構造及び強度について (1) 延性破断の防止 a. 容器等は、最高使用圧力、最高使用温度及び機械的荷重が負荷されている状態（以下「設計上定める条件」という。）において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	-	-	-	-	-	グループボックス排気設備（安重範囲） 工程室排気設備（安重範囲） グループボックス消火装置（安重範囲） 分析済液処理装置グループボックス（漏えい受皿） 分析済液処理装置	《容器》 《核物質等取扱ボックス（漏えい受皿）》 ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・主要寸法 ・主要材料 《主配管》 ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・外径・厚さ ・主要材料	○	-	-	-	非常用発電機 非常用ガスタービン発電機 燃料油貯蔵タンク 燃料油サービスタンク 起動用空気槽	《容器》 ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・主要寸法 ・主要材料 《主配管》 ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・外径・厚さ ・主要材料	-	-	第1軽油貯槽 第2軽油貯槽 第1貯水槽 第2貯水槽 緊急時対策建屋加圧ユニット 重油貯槽	《容器》 ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・主要寸法 ・主要材料 《主配管》 ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・外径・厚さ ・主要材料														
																						可搬型重大事故等対処設備の容器、管	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	-	-	-	-	-	代替グループボックス排気設備	《容器》 ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・主要寸法 ・主要材料 《主配管》 ・最高使用圧力 ・外径・厚さ ・主要材料	○	-	-	軽油用タンクローリ 大型移送ポンプ車 可搬型放水砲 可搬型建屋外ホース 可搬型環境モニタリング用発電機 可搬型排気モニタリング用発電機 環境モニタリング用可搬型発電機 燃料加工建屋可搬型発電機 情報連絡用可搬型発電機 制御建屋可搬型発電機 可搬型発電機 緊急時対策建屋用発電機 情報把握計装設備可搬型発電機	《容器》 ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・主要寸法 ・主要材料 《主配管》 ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・外径・厚さ ・主要材料
																						安全機能を有する施設の管（ダクト）	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	-	-	-	-	-	グループボックス排気設備（安重範囲） 工程室排気設備（安重範囲）	《主配管》 ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・外径・厚さ ・主要材料	-	-	-	-	-
8	b. 容器等のうちダクトにあっては、設計上定める条件において、延性破断に至る塑性変形を生じない設計とする。	機能要求②	安全機能を有する施設の管（ダクト）	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	-	-	-	-	-	外部放出抑制設備 代替グループボックス排気設備	《主配管》 ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・外径・厚さ ・主要材料	-	-	-	-	-	-	-	-	-															
																					可搬型重大事故等対処設備の管（ダクト）	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請				
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表		
9	(2) 疲労破壊の防止 容器等に属する伸縮継手については、設計上定める条件で応力が繰り返し加わる場合において、疲労破壊が生じない設計とする。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器等に属する伸縮継手	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	-	-	-	-	-	-	○	-	基本方針	-	-	-	-	
		機能要求②	常設重大事故等対処設備の容器等に属する伸縮継手	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	-	-	-	-	-	-	-	○	-	遠隔消火装置	<容器> ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・主要寸法 ・主要材料 <主配管> ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・外径・厚さ ・主要材料	-	-	-
10	(3) 座屈による破壊の防止 容器等は、設計上定める条件において、座屈が生じない設計とする。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	-	-	-	○	-	-	-	○	-	非常用発電機 非常用ガスタービン発電機 燃料油貯蔵タンク 燃料油サービスタンク 起動用空気槽	<容器> ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・主要寸法 ・主要材料 <主配管> ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・外径・厚さ ・主要材料	-	-	-
		機能要求②	重大事故等対処設備に属する容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	遠隔消火装置	<容器> ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・主要寸法 ・主要材料 <主配管> ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・外径・厚さ ・主要材料	○	-

凡例  
 ・「説明対象」について  
 ○：当該申請回次で新規に記載する項目又は当該申請回次で記載を追記する項目  
 △：当該申請回次以前から記載しており、記載内容に変更がない項目  
 -：当該申請回次で記載しない項目

3. 4 別紙2 機能要求②抜粋  
(20条：廃棄施設)



項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請				
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表		
4	気体廃棄物の廃棄設備施設は、MOX燃料加工施設から周辺環境へ放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、管理区域からの排気は、高性能エアフィルタで放射性物質を除去する設計とする。	機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グロブボックス排気設備	設計方針（系統構成）	-	-	-	○	-	建屋排気フィルタユニット 工程室排気フィルタユニット グロブボックス排気フィルタユニット グロブボックス排気フィルタ	(フィルタ) ・容量 ・効率	-	-	-	-	-	-	
9	気体廃棄物の廃棄設備のうち、建屋排気設備、工程室排気設備及びグロブボックス排気設備の排気側には、核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物（以下、「核燃料物質等」という。）を除去するための設備・機器として、高性能エアフィルタを複数段設計し、核燃料物質等を除去する設計とする。	機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グロブボックス排気設備	評価	-	-	-	○	-	建屋排気フィルタユニット 工程室排気フィルタユニット グロブボックス排気フィルタユニット グロブボックス排気フィルタ	(フィルタ) ・効率	-	-	-	-	-	-	
11	核燃料物質等の形態及び取扱量に応じた段数の高性能エアフィルタを設ける設計とすることで、周辺環境に放出される核燃料物質等の量を合理的に達成できる限り少なくするとともに、設計基準事故時においても可能な限り負圧維持、漏えい防止及び逆流防止の機能が確保される設計とし、公衆に対して著しい放射線被ばくのリスクを与えないよう、事故に起因して環境に放出される核燃料物質等の放出量を低減する設計とする。	機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グロブボックス排気設備	設計方針（系統構成）	-	-	-	○	-	建屋排気フィルタユニット 工程室排気フィルタユニット グロブボックス排気フィルタユニット グロブボックス給気フィルタ グロブボックス排気フィルタ	(フィルタ) ・効率	-	-	-	-	-	-	
20	5.2.2.1 低レベル廃液処理設備 低レベル廃液処理設備は、分析設備の分析済液処理装置から発生する廃液、試薬調整器具の洗浄水等及び放出管理分析設備から発生する廃液並びに管理区域内で発生する空調機器ドレン水等を区分して、それぞれ低レベル廃液処理設備の検査槽に受け入れ、廃液中に含まれて放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、必要に応じて、希釈、ろ過又は吸着の処理を行い、廃液貯槽に送液する設計とする。 廃液貯槽で受け入れた廃液は、必要に応じて、希釈、ろ過又は吸着の処理を行い、廃液中の放射性物質の濃度が検量器に定められた周辺監視区域外の水中の濃度限度以下であることを確認した後、排水口から排出する設計とする。	機能要求① 機能要求②	低レベル廃液処理設備	設計方針（系統構成）	-	-	-	○	-	低レベル廃液処理設備 吸着処理オープンポートボックス ろ過処理オープンポートボックス 【機能要求②】 低レベル廃液処理設備 イオン系廃液検査槽 イオン系廃液検査槽ポンプ 固体系廃液検査槽 固体系廃液検査槽ポンプ 吸着処理前槽 吸着処理前槽ポンプ 吸着処理後槽 吸着処理後槽ポンプ ろ過処理前槽 ろ過処理前槽ポンプ 第1ろ過処理装置 第2ろ過処理装置 精密ろ過装置 限外ろ過装置 ろ過処理後槽 ろ過処理後槽ポンプ 廃液貯槽 廃液貯槽ポンプ 主配管(耐酸クラス)	(容器) ・容量 (ろ過装置) ・容量 (ポンプ) ・容量 ・吐出圧力 ・原動機 (主配管) ・外径・厚さ	-	-	-	-	-	-	
21	5.2.2.2 廃油保管室の廃油保管エリア 廃油保管室の廃油保管エリアは、管理区域内において、機器の点検並びに交換及び装置の稼働に伴って発生する機油又は分作業者に付いた発生する機油（以下「油類」という。）のうち、燃料加工建屋の管理区域内で発生する再利用しない油類は、ドラム缶又は金属製容器に封入し油類廃棄物として保管廃棄するために必要な容量を確保する設計とする。	機能要求②	廃油保管室の廃油保管エリア	設計方針（系統構成）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	廃油保管室の廃油保管エリア (保管・廃棄エリア) ・容量 ・主要寸法
22	5.2.2.3 海洋放出管理系 海洋放出管理系は、MOX燃料加工施設の排水口から排出した排水を再処理施設の前1放出貯槽及び第1海洋放出ポンプを経由して海洋放出管の海洋放出口から海洋へ放出する設計とする。	機能要求②	海洋放出管理系	設計方針（系統構成）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	海洋放出管理系 第1放出貯槽 第1海洋放出ポンプ 海洋放出管 (容器) ・容量 (ポンプ) ・容量 ・吐出圧力 ・原動機 (主配管) ・外径・厚さ
25	MOX燃料加工施設で発生する放射性固体廃棄物は、可燃性、難燃性及び不燃性の難燃性であり、分別等を行った後、ドラム缶又は金属製角型容器に封入し、廃棄物保管第1室及び廃棄物保管第2室の廃棄物保管エリアで保管廃棄するか、再処理施設の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系で保管廃棄する。 保管廃棄施設（安全機能を有する施設に限る。）は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。 液体状の放射性廃棄物のうち油類廃棄物については、吸着剤により固化処理し、ドラム缶又は金属製角型容器に封入後、放射性固体廃棄物として保管廃棄する。 再処理施設において、難燃性を有する容器に封入するときは、ドラム缶又は金属製角型容器は、次に掲げる基準に適合する設計とする。 (1) ドラム缶又は金属製角型容器は、水が浸透しにくく、腐食に耐え、及び放射性廃棄物が漏れにくい構造とする設計とする。 (2) ドラム缶又は金属製角型容器は、亀裂又は破損が生じるおそれがない構造とする設計とする。 (3) ドラム缶又は金属製角型容器の蓋が容易に外れないように固定可能な設計とする。	機能要求②	廃棄物保管設備 (廃棄物保管第1室及び廃棄物保管第2室の廃棄物保管エリア) 再処理施設の第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系	基本方針 (保管廃棄施設の容量、設置場所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	廃棄物保管設備 (廃棄物保管第1室及び廃棄物保管第2室の廃棄物保管エリア) 再処理施設の第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系 (保管・廃棄エリア) ・容量 ・主要寸法

凡例  
・「説明対象」について  
○：当該申請回次で新規に記載する項目又は当該申請回次で記載を追記する項目  
△：当該申請回次以前から記載しており、記載内容に変更がない項目  
-：当該申請回次で記載しない項目

3. 5 別紙 2 機能要求②抜粋  
(23 条：換気設備)

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請				第3回申請				第4回申請			
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	申請対象設備 (1項新規①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	申請対象設備 (1項新規②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (1項新規③)	仕様表
5	各排気設備は、放射性物質を閉じ込めるため、グローブボックス又はグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する集結炉、スタック乾燥装置及び小規模集結処理装置（以下、「グローブボックス等」という。）並びに管理区域を換気し、負圧を維持する設計とする。	機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備 室素循環設備	設計方針（系統構成）	-	-	○	-	-	建屋排気フィルタユニット 建屋排気機 工程室排気フィルタユニット 工程室排気機 グローブボックス排気フィルタ グローブボックス排気フィルタユニット グローブボックス排気機 室素循環ファン 室素循環冷却機 主配管	(ファン) ・容量 ・原動機  (フィルタ) ・効率  (主配管) ・外径・厚さ (機械・検査装置) ・主要寸法	-	-	-	-	-	-	-	-
9	核燃料物質等の形態及び取扱量に応じた段数の高性能エアフィルタを設けることで、周辺環境に放出される核燃料物質等の量を合理的に達成できる限り少なくする設計とする。	機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備	設計方針（系統構成）	-	-	○	-	-	グローブボックス排気フィルタ 建屋排気フィルタユニット 工程室排気フィルタユニット グローブボックス排気フィルタユニット	(フィルタ) ・効率	-	-	-	-	-	-	-	-
18	グローブボックスの給気口には、高性能エアフィルタを設置し、グローブボックス内の核燃料物質等が室内に漏えいしにくい設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	グローブボックス排気設備	設計方針（系統構成）	-	-	○	-	-	グローブボックス給気フィルタ	(フィルタ) ・効率	-	-	-	-	-	-	-	-

凡例  
 ・「説明対象」について  
 ○：当該申請回次で新規に記載する項目又は当該申請回次で記載を追記する項目  
 △：当該申請回次以前から記載しており、記載内容に変更がない項目  
 -：当該申請回次で記載しない項目



3. 6 別紙2 機能要求②抜粋  
(33条：閉じ込める機能の喪失に  
対処するための設備)



項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請			
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表	
68	工程室放射線計測設備のアルファ・ベータ線用サーベイメータは、工程室内の放射線物質濃度の測定に必要な計測範囲を有するとともに、十分な容量の充電電池又は乾電池を有する設計とする。また、保有数は、必要数並びに予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。	機能要求① 機能要求② 設置要求	アルファ・ベータ線用サーベイメータ	設計方針（個数及び容量）	-	-	-	-	-	-	○	-	アルファ・ベータ線用サーベイメータ	<計測装置> ・検出器の種類 ・計測範囲 台数	-	-	-
87	代替火災感知設備の火災状況確認用温度計は、重大事故の発生を仮定するグループボックス内における火災源近傍の温度を確認するため、重大事故時に想定される変動範囲を監視可能な計測範囲を有する設計とする。また、重大事故の発生を仮定するグループボックス内の火災源となる9箇所に対してそれぞれの火災源近傍の温度を計測できる設計とする。	機能要求② 設置要求	火災状況確認用温度計	設計方針（個数及び容量）	-	-	-	-	-	-	○	-	火災状況確認用温度計	<計測装置> ・検出器の種類 ・計測範囲 台数	-	-	-
115	代替消火設備の遠隔消火装置は、重大事故の発生を仮定するグループボックス内における火災を消火するため、検証試験によって消火性能が確認された消火剤を使用するとともに、全滅放出方式の場合は消防法施行規則第20条に基づき算出する消火剤量又は局所放出方式の場合は検証試験結果を基に火災源となる潤滑油に対して設置したオイルパンの燃焼面積に対して必要な消火剤量に余裕を考慮した消火剤量を有する設計とする。また、重大事故の発生を仮定するグループボックス内の火災源となる9箇所に対してそれぞれ消火できる設計とする。	機能要求② 設置要求	遠隔消火装置	設計方針（個数及び容量）	-	-	-	-	-	-	○	-	遠隔消火装置	<容器> ・容量 消火剤量 系統数 <主配管> ・外径・厚さ	-	-	-

凡例  
 ・「説明対象」について  
 ○：当該申請回次で新たに記載する項目又は当該申請回次で変更する項目  
 △：当該申請回次で記載し、記載内容に  
 -：当該申請回次で記載しない項目



## 別紙 2－5

申請対象設備の抽出作業結果 (MOX)

18条：警報設備

1. 申請対象設備リスト

2. 申請対象設備抽出結果

2. 1 申請対象設備抽出結果（液体廃棄物の廃棄設備 分析済液処理装置（漏えい検知））

2. 2 申請対象設備抽出結果（分析設備 低レベル廃液処理設備（漏えい検知））※

3. 関連する別紙2（機能要求②抜粋）

3. 1 別紙2 機能要求②抜粋（11条29条：火災等による損傷の防止）

3. 2 別紙2 機能要求②抜粋（18条：警報設備）

※ 分析設備の低レベル廃液処理設備は、グローブボックス内で液体状のプルトニウム等をグローブボックス内で取扱うことから、グローブボックス底部の漏えい受け皿に漏えいしたことを感知する観点から、設備選定の対象とする。

## 1. 申請対象設備リスト



申請対象設備リスト

「番号」については、他条文等の整理を踏まえ、申請対象設備リスト完本時に通し番号を設定することとする。

番号	施設区分		設備区分				機器	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)
	加工施設 本体	成形施設	ベレット加 工工程	焼結設備	—	—	—	焼結炉内部温度高による過加熱防止回路	計装/放管設備 (インターロック) 計装/放管設備 (計測装置)	11条/29条-25 18条-4	今後実施 (設計中)	燃料加工建屋	1式	3	新設	安重	—	—
	放射性廃棄 物の廃棄施 設	—	液体廃棄物 の廃棄設備	低レベル廃 液処理設備	—	—	—	液体廃棄物処理第3室サンプル液位	計装/放管設備 (計測装置)	18条-3	計装_低レベル廃液処理設備 (漏えい検知)_機器_1 計装_低レベル廃液処理設備 (漏えい検知)_機器_2 計装_低レベル廃液処理設備 (漏えい検知)_機器_3	燃料加工建屋	3	2	新設	非安重	—	—
	放射性廃棄 物の廃棄施 設	—	液体廃棄物 の廃棄設備	低レベル廃 液処理設備	—	—	—	液体廃棄物処理第1室サンプル液位	計装/放管設備 (計測装置)	18条-3	計装_低レベル廃液処理設備 (漏えい検知)_機器_4	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—
	放射性廃棄 物の廃棄施 設	—	液体廃棄物 の廃棄設備	低レベル廃 液処理設備	—	—	—	床ドレン回収槽第2室サンプル液位	計装/放管設備 (計測装置)	18条-3	計装_低レベル廃液処理設備 (漏えい検知)_機器_5	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—
	放射性廃棄 物の廃棄施 設	—	液体廃棄物 の廃棄設備	低レベル廃 液処理設備	—	—	—	床ドレン回収槽第1室サンプル液位	計装/放管設備 (計測装置)	18条-3	計装_低レベル廃液処理設備 (漏えい検知)_機器_6	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—
	放射性廃棄 物の廃棄施 設	—	液体廃棄物 の廃棄設備	低レベル廃 液処理設備	—	—	—	吸着処理オープンポートボックス漏えい液 受血液位	計装/放管設備 (計測装置)	18条-3	計装_低レベル廃液処理設備 (漏えい検知)_機器_7	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—
	放射性廃棄 物の廃棄施 設	—	液体廃棄物 の廃棄設備	低レベル廃 液処理設備	—	—	—	ろ過処理オープンポートボックス漏えい液 受血液位	計装/放管設備 (計測装置)	18条-3	計装_低レベル廃液処理設備 (漏えい検知)_機器_8	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—
	放射線管理 施設	—	設計基準対 象の施設	放射線監視 設備	屋外モニタ リング設備	排気モニタ リング設備	—	排気モニタ	計装/放管設備 (計測装置)	18条-2	今後実施 (設計中)	燃料加工建屋	2	4	新設	非安重	常設	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	火災感知設 備	—	—	グローブボックス温度監視装置 熱感知器	計装/放管設備 (計測装置)	18条-1	今後実施 (設計中)	燃料加工建屋	1式	3	新設	安重	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	—	分析済液中和固液分離グローブボックス漏 えい受血液位	計装/放管設備 (計測装置)	10条-10 (18条関連)	計装_分析済液処理装置(漏 えい検知)_機器_5 計装_分析済液処理装置(漏 えい検知)_機器_6 計装_分析済液処理装置(漏 えい検知)_機器_7 計装_分析済液処理装置(漏 えい検知)_機器_8 計装_分析済液処理装置(漏 えい検知)_機器_9	燃料加工建屋	5	2	新設	非安重	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	—	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス漏え い液受血液位	計装/放管設備 (計測装置)	10条-10 (18条関連)	計装_分析済液処理装置(漏 えい検知)_機器_1 計装_分析済液処理装置(漏 えい検知)_機器_2	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	—	第2活性炭・吸着処理グローブボックス漏え い液受血液位	計装/放管設備 (計測装置)	10条-10 (18条関連)	計装_分析済液処理装置(漏 えい検知)_機器_3 計装_分析済液処理装置(漏 えい検知)_機器_4	燃料加工建屋	4	2	新設	非安重	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	—	払出前希釈槽下部堰内漏えい液位	計装/放管設備 (計測装置)	10条-10 (18条関連)	計装_分析済液処理装置(漏 えい検知)_機器_10	燃料加工建屋	4	2	新設	非安重	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	実験設備	小規模試験 設備	—	—	—	小規模焼結処理装置内部温度高による過加 熱防止回路	計装/放管設備 (インターロック) 計装/放管設備 (計測装置)	11条29条-25 18条-4	今後実施 (設計中)	燃料加工建屋	1式	3	新設	安重	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	実験設備	小規模試験 設備	—	—	—	混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停 止回路	計装/放管設備 (インターロック) 計装/放管設備 (計測装置)	18条-4	今後実施 (設計中)	燃料加工建屋	1式	3	新設	安重	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	その他の主 要な事項	水素・アル ゴン混合ガ ス設備	—	—	—	混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停 止回路及び混合ガス濃度異常遮断弁	計装/放管設備 (インターロック) 計装/放管設備 (計測装置)	11条-24 18条-4	今後実施 (設計中)	燃料加工建屋	1式	3	新設	安重	—	—

## 2. 1 申請対象設備抽出結果

(低レベル廃液処理設備 (漏えい検知))

施 設	放射性廃棄物の廃棄施設
設 備	液体廃棄物の廃棄設備 低レベル廃液処理設備 (漏えい 検知)

	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	
【対象機器】	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	—	低レベル廃液処理設備
【主たる機能】	低レベル廃液処理設備 漏えい検知							

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分	設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	低レベル廃液処理設備	計装/放管設備(計測装置)	PA0172-LE-101	燃料加工建屋	3	2	新設	非安重	—	—	—	電極式液位検出器
PA0172-LE-102									電極式液位検出器									
PA0172-LE-103									電極式液位検出器									
4	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	低レベル廃液処理設備	計装/放管設備(計測装置)	PA0172-LE-110	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	—	電極式液位検出器
5	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	低レベル廃液処理設備	計装/放管設備(計測装置)	PA0172-LE-200	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	—	電極式液位検出器
6	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	低レベル廃液処理設備	計装/放管設備(計測装置)	PA0172-LE-300	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	—	電極式液位検出器
7	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	低レベル廃液処理設備	計装/放管設備(計測装置)	PA0172-LE-10701	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	—	電極式漏えい検出器
8	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	低レベル廃液処理設備	計装/放管設備(計測装置)	PA0172-LE-20701	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	—	電極式漏えい検出器



設計区分

P

客先  
図書番号

PM-0172-4522-001

改訂

4

# 日本原燃株式会社殿

MOX燃料工場

燃料加工建屋(PA)

計測制御設備(J)

計装ループブロック図

# 目 次

工程	TAG No.	計測点名称	SHEET No.	Rev.	
液体廃棄設備					
PA0172	A-11	イオン系廃液検査槽ApH	001	5	
PA0172	L-11	イオン系廃液検査槽A液位	002	8	
PA0172	A-12	イオン系廃液検査槽BpH	003	5	
PA0172	L-12	イオン系廃液検査槽B液位	004	8	
PA0172	A-20	吸着処理前槽pH	005	5	
PA0172	L-20	吸着処理前槽液位	006	8	
PA0172	A-30	吸着処理後槽pH	010	5	
PA0172	L-30	吸着処理後槽液位	011	8	
PA0172	L-41	床ドレン回収槽液位	012	7	
PA0172	A-61	固体系廃液検査槽ApH	013	5	
PA0172	L-61	固体系廃液検査槽A液位	014	8	
PA0172	A-62	固体系廃液検査槽BpH	015	5	
PA0172	L-62	固体系廃液検査槽B液位	016	8	
PA0172	A-70	ろ過処理前槽pH	017	5	
PA0172	L-70	ろ過処理前槽液位	018	8	
PA0172	A-80	ろ過処理後槽pH	023	5	
PA0172	L-80	ろ過処理後槽液位	024	8	
PA0172	A-91	廃液貯槽ApH	024-1	2	
PA0172	L-91	廃液貯槽A液位	025	7	
PA0172	A-92	廃液貯槽BpH	025-1	2	
PA0172	L-92	廃液貯槽B液位	026	7	
PA0172	A-93	廃液貯槽CpH	026-1	2	
PA0172	L-93	廃液貯槽C液位	027	7	
1	PA0172	L-101	液体廃棄物処理第3室サンプルA液位	028	7
2	PA0172	L-102	液体廃棄物処理第3室サンプルB液位	028-1	4
3	PA0172	L-103	液体廃棄物処理第3室サンプルC液位	028-2	4
4	PA0172	L-110	液体廃棄物処理第1室サンプル液位	028-3	4
5	PA0172	L-200	床ドレン回収槽第2室サンプル液位	029	7
6	PA0172	L-300	床ドレン回収槽第1室サンプル液位	030	7
	PA0172	L-400	貯蔵容器搬送用洞道ピット液位	031	7
	PA0172	L-411	床ドレン回収槽A液位	031-1	4
	PA0172	X-500	廃液移送配管漏えい	032	5
	PA0172	X-501-1	地下1階北第1配管室二重配管入口側漏えい	033	7
	PA0172	X-502-1	ユーティリティ用洞道二重配管入口側漏えい	035	6
	PA0172	X-502-2	ユーティリティ用洞道二重配管出口側漏えい	036	6
	PA0172	X-503-1	マンホールN-3二重配管入口側漏えい	037	6
	PA0172	X-503-2	マンホールN-3二重配管出口側漏えい	038	6
	PA0172	X-504-1	マンホールN-2二重配管入口側漏えい	039	5
	PA0172	X-504-2	マンホールN-2二重配管出口側漏えい	040	6
	PA0172	X-505-1	マンホールN-1二重配管入口側漏えい	047	6
	PA0172	X-505-2	マンホールN-1二重配管出口側漏えい	047-1	3

## 目 次

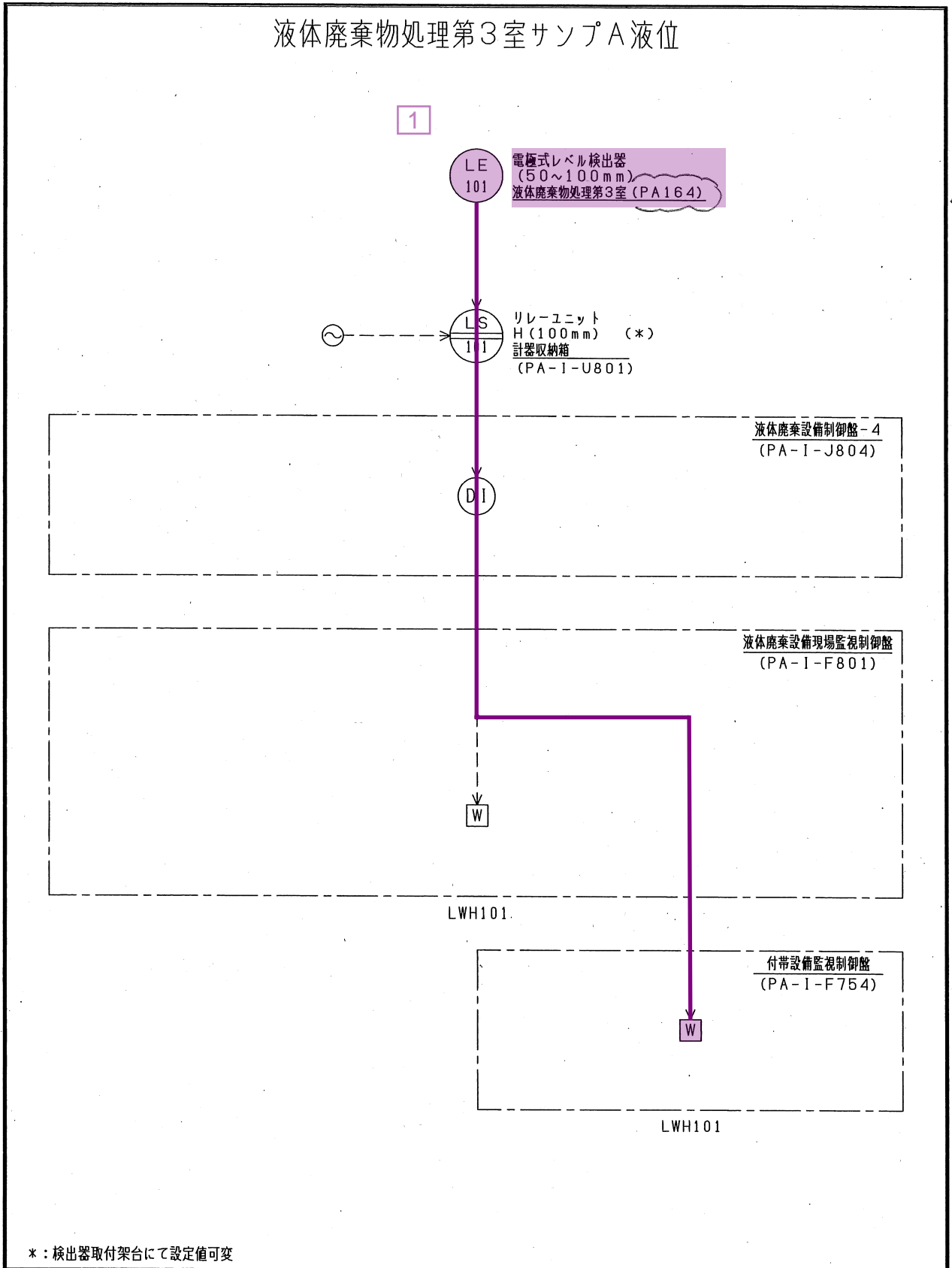
工程	TAG No.	計測点名称	SHEET No.	Rev.	
PA0172	A-1150	試薬準備室用廃液回収槽pH	048	5	
PA0172	L-1150	試薬準備室用廃液回収槽液位	049	8	
PA0172	A-1160	顕微鏡室用廃液回収槽pH	052	5	
PA0172	L-1160	顕微鏡室用廃液回収槽液位	053	8	
PA0172	A-1171	放管試料前処理室用廃液回収槽ApH	054	5	
PA0172	L-1171	放管試料前処理室用廃液回収槽A液位	055	8	
PA0172	A-1172	放管試料前処理室用廃液回収槽BpH	056	5	
PA0172	L-1172	放管試料前処理室用廃液回収槽B液位	057	8	
PA0172	A-1175	放管試料前処理室用廃液回収槽CpH	058	5	
PA0172	L-1175	放管試料前処理室用廃液回収槽C液位	059	8	
PA0172	A-1176	放管試料前処理室用廃液回収槽DpH	060	5	
PA0172	L-1176	放管試料前処理室用廃液回収槽D液位	061	8	
PA0172	PD-4113	床ドレン用フィルタ差圧	064	5	
PA0172	L-6140	粉末調整室前室用手洗水回収槽液位	065	9	
PA0172	L-6144	ペレット加工室前室用手洗水回収槽液位	066	9	
PA0172	L-6160	手洗水・シャワー水受槽液位	068	7	
PA0172	PD-6162	手洗水・シャワー水用フィルタ差圧	069	5	
PA0172	L-6170	金相試験室用廃液回収槽液位	070	9	
PA0172	L-6180	輸送容器保管室用空調機器ドレン回収槽液位	071	8	
PA0172	F-9111	液体廃液移送流量	074	7	
液体廃棄設備(グローブボックス廻り)					
7	PA0172	L-10701	吸着処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位	075	8
8	PA0172	L-20701	ろ過処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位	076	8
	PA0172	T-10701	吸着処理オープンポートボックス温度	101	3
	PA0172	X-10701	吸着処理オープンポートボックス温度上昇率	102	5
	PA0172	-	吸着処理オープンポートボックス火災	103	4
	PA0172	PD-10841	吸着処理オープンポートボックス排気フィルタ差圧	104	3
	PA0172	T-20701	ろ過処理オープンポートボックス温度	105	4
	PA0172	X-20701	ろ過処理オープンポートボックス温度上昇率	106	5
	PA0172	-	ろ過処理オープンポートボックス火災	107	4
液体廃棄設備(内部溢水対策漏水検知)					
	PA0172	X120-1	ペレット加工第3室堰内漏水	108	0
	PA0172	X120-2	ペレット加工第3室漏水	109	0
	PA0172	X120-3	ペレット加工第3室漏水	110	0
	PA0172	X127-1	ペレット加工第2室漏水	111	0
	PA0172	X127-2	ペレット加工第2室漏水	112	0
	PA0172	X130-1	地下3階廊下北西側漏水	113	0
	PA0172	X130-2	地下3階廊下北東側漏水	114	0
	PA0172	X130-3	地下3階廊下南西側漏水	115	0
	PA0172	X130-4	地下3階廊下南東側漏水	116	0
	PA0172	X133	ダンプ駆動用ポンベ第2室漏水	117	0
	PA0172	X156	ダンプ駆動用ポンベ第1室漏水	118	0



燃料加工建屋 液体廃棄設備 (J)

液体廃棄設備 (PA0172)

液体廃棄物処理第3室サンプA液位



\* : 検出器取付架台にて設定値可変

SHEET NO. 028-1

TAG NO. L-102

DATE

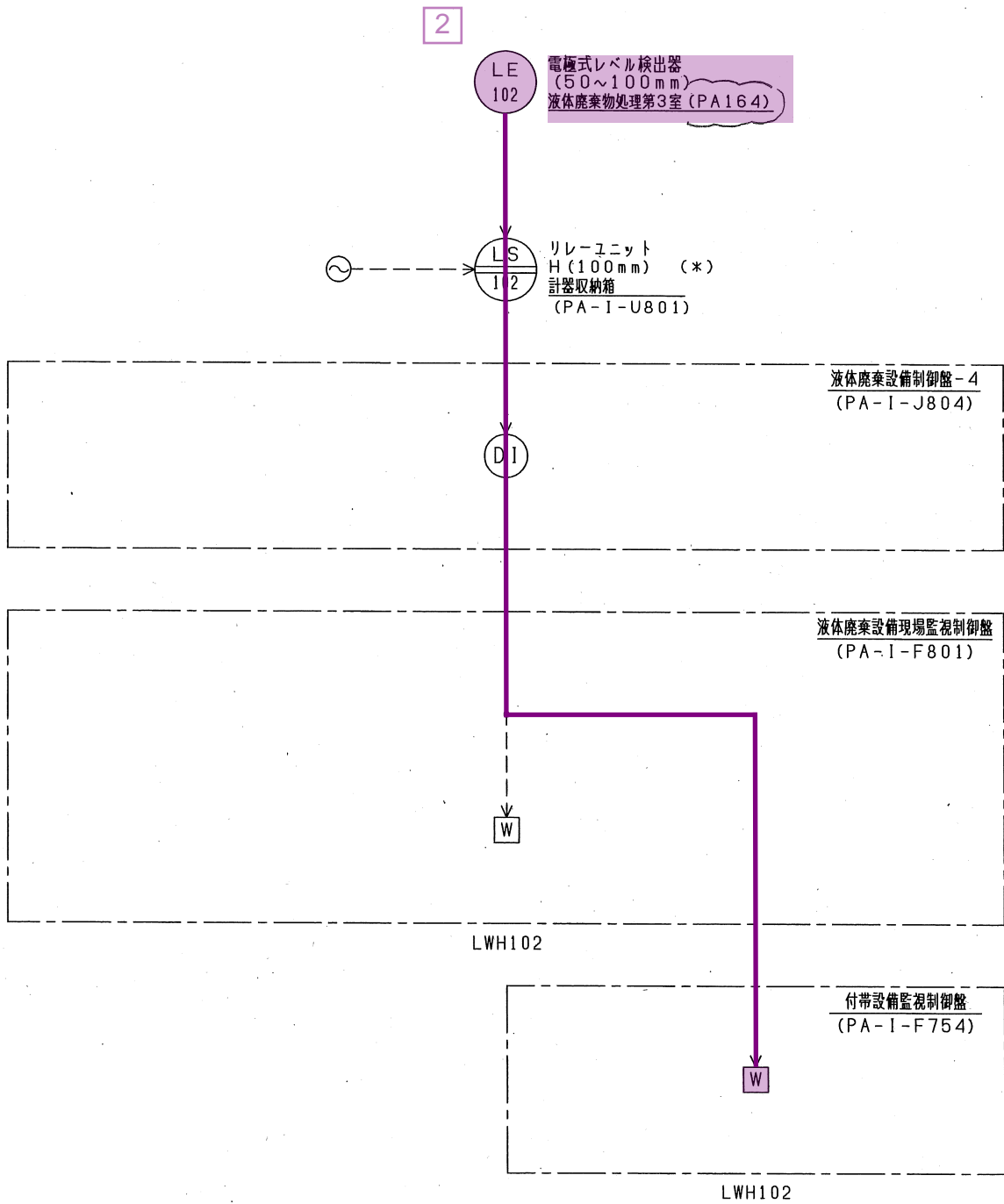
REVISED 5

BY

燃料加工建屋 液体廃棄設備 (J)

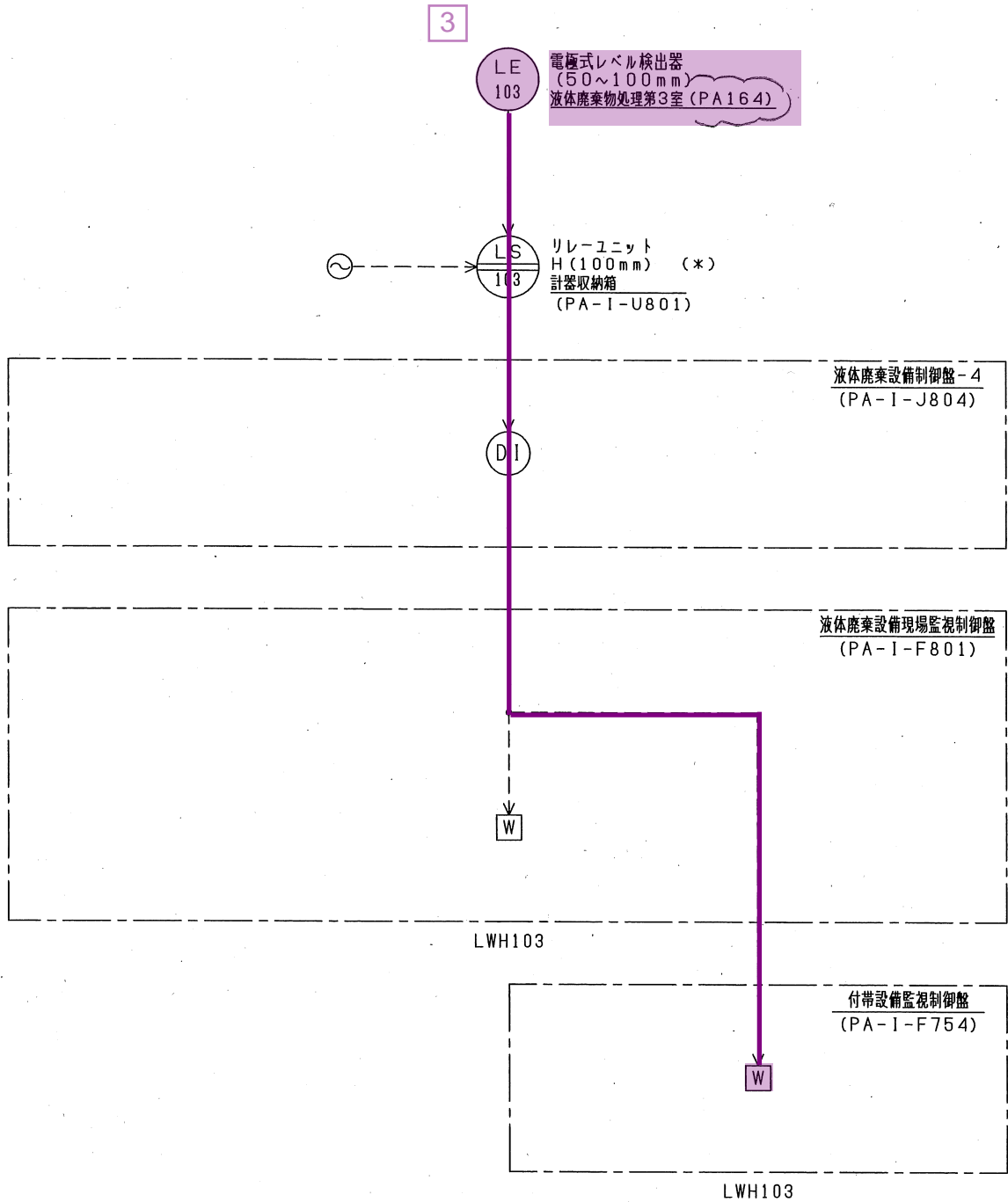
液体廃棄設備 (PA0172)

### 液体廃棄物処理第3室サンプB液位



\* : 検出器取付架台にて設定値可変

液体廃棄物処理第3室サンプC液位



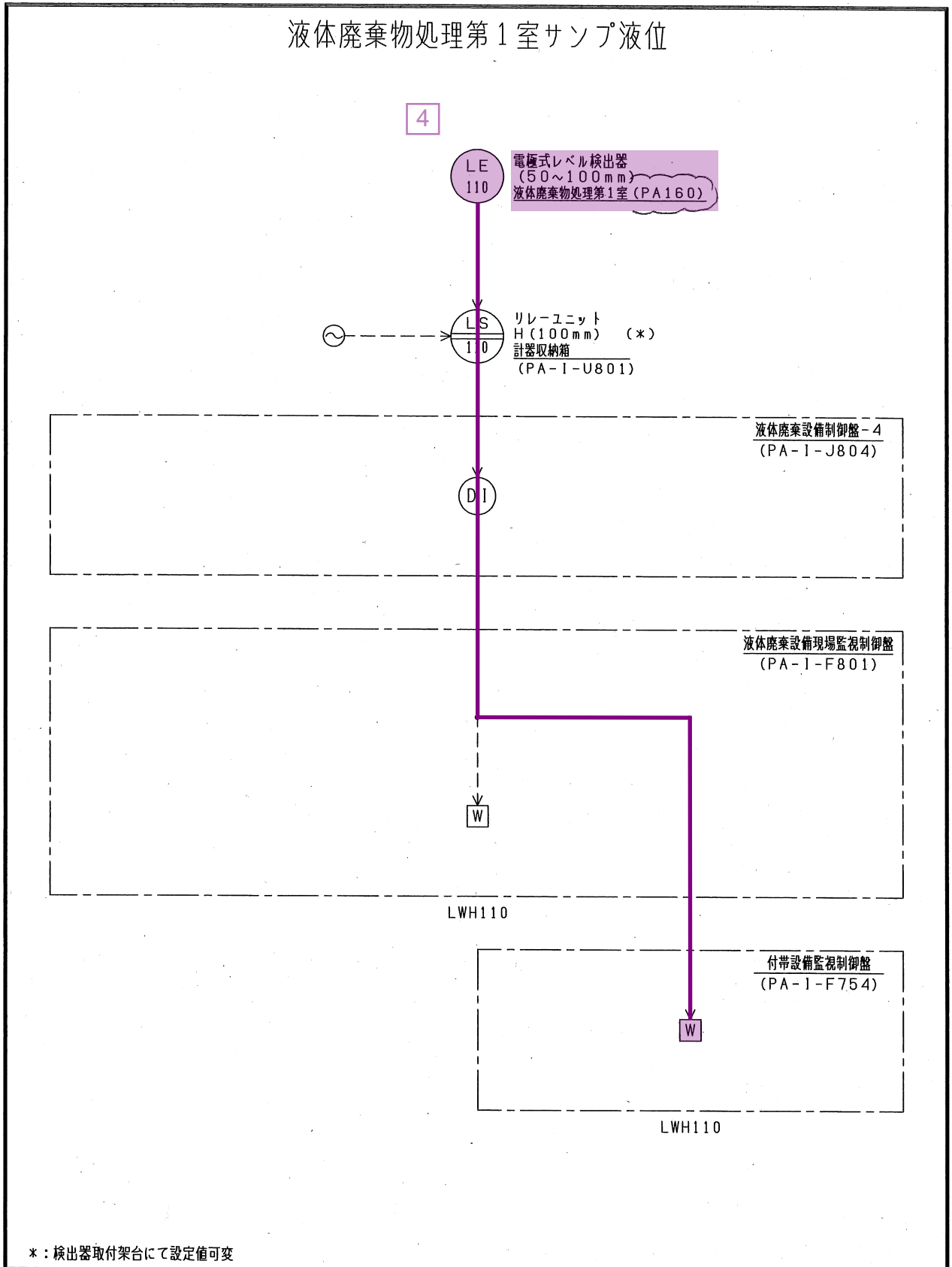
\* : 検出器取付架台にて設定値可変



燃料加工建屋 液体廃棄設備 (J)

液体廃棄設備 (PA0172)

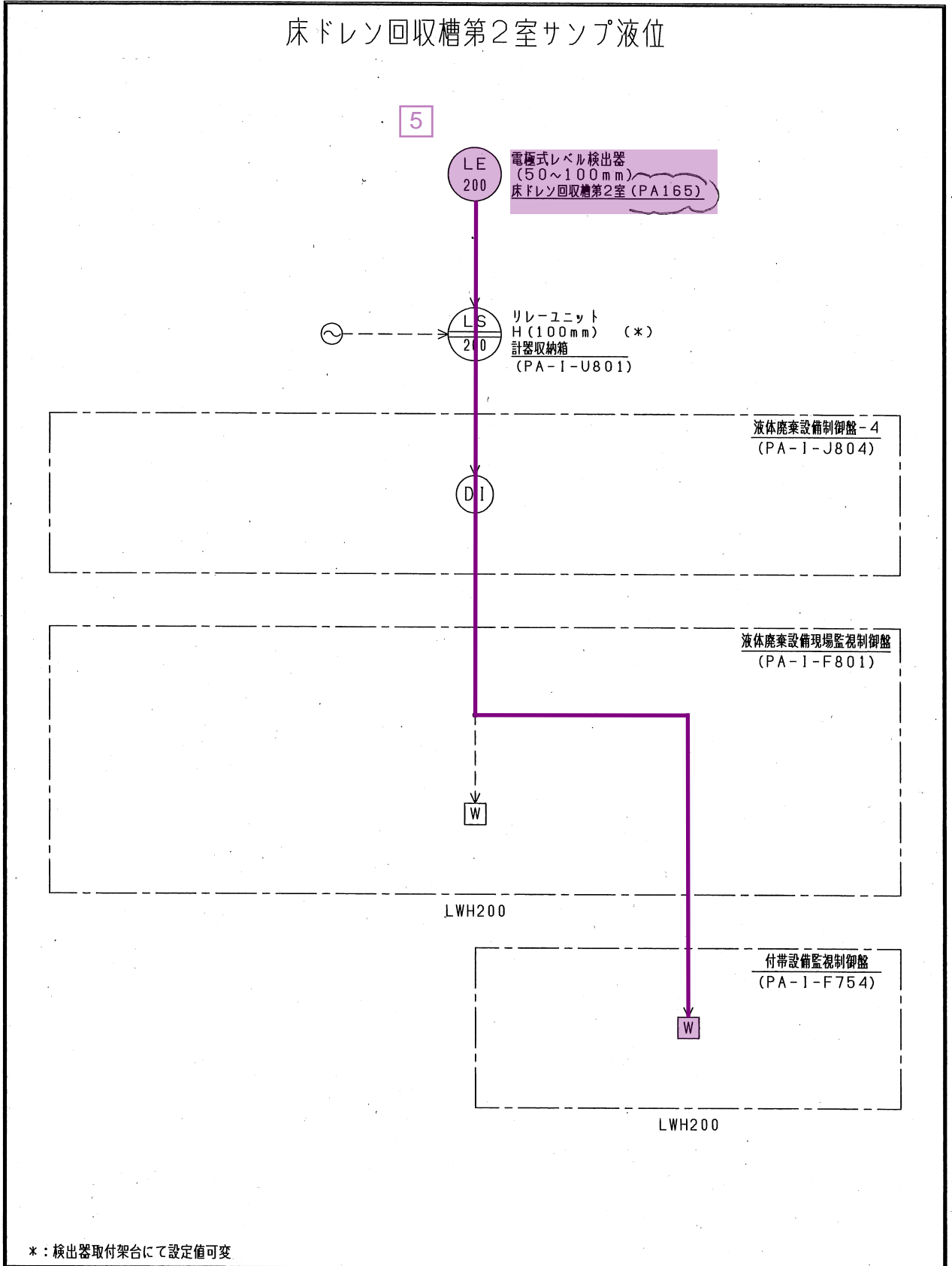
液体廃棄物処理第1室サンプ液位



燃料加工建屋 液体廃棄設備 (J)

液体廃棄設備 (PA0172)

床ドレン回収槽第2室サンプ液位



SHEET NO. 030

TAG NO. L-300

DATE

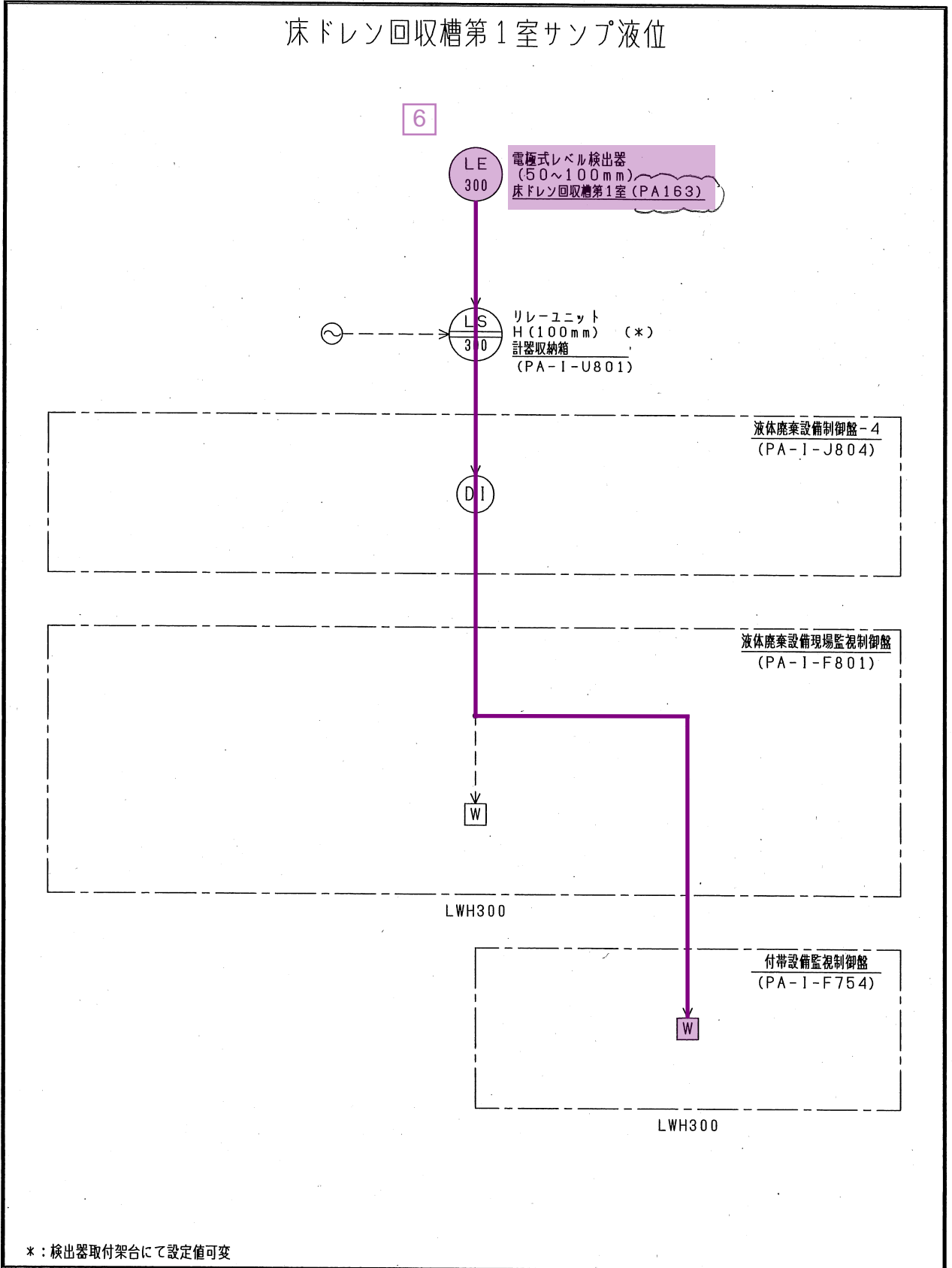
REVISED 8

BY

燃料加工建屋 液体廃棄設備 (J)

液体廃棄設備 (PA0172)

床ドレン回収槽第1室サンプル液位





SHEET NO. 075

TAG NO. L-10701

DATE

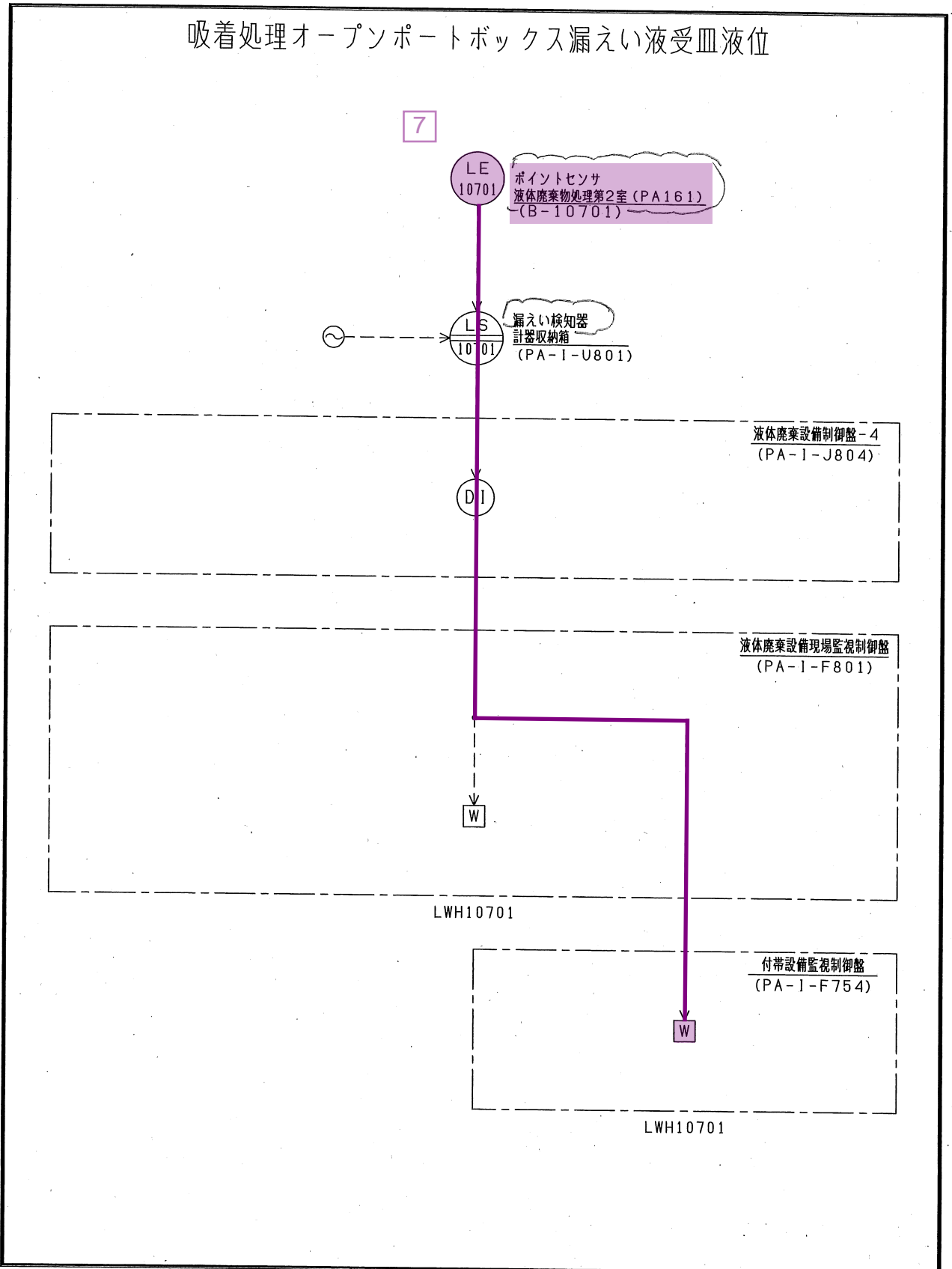
REVISED 8

BY

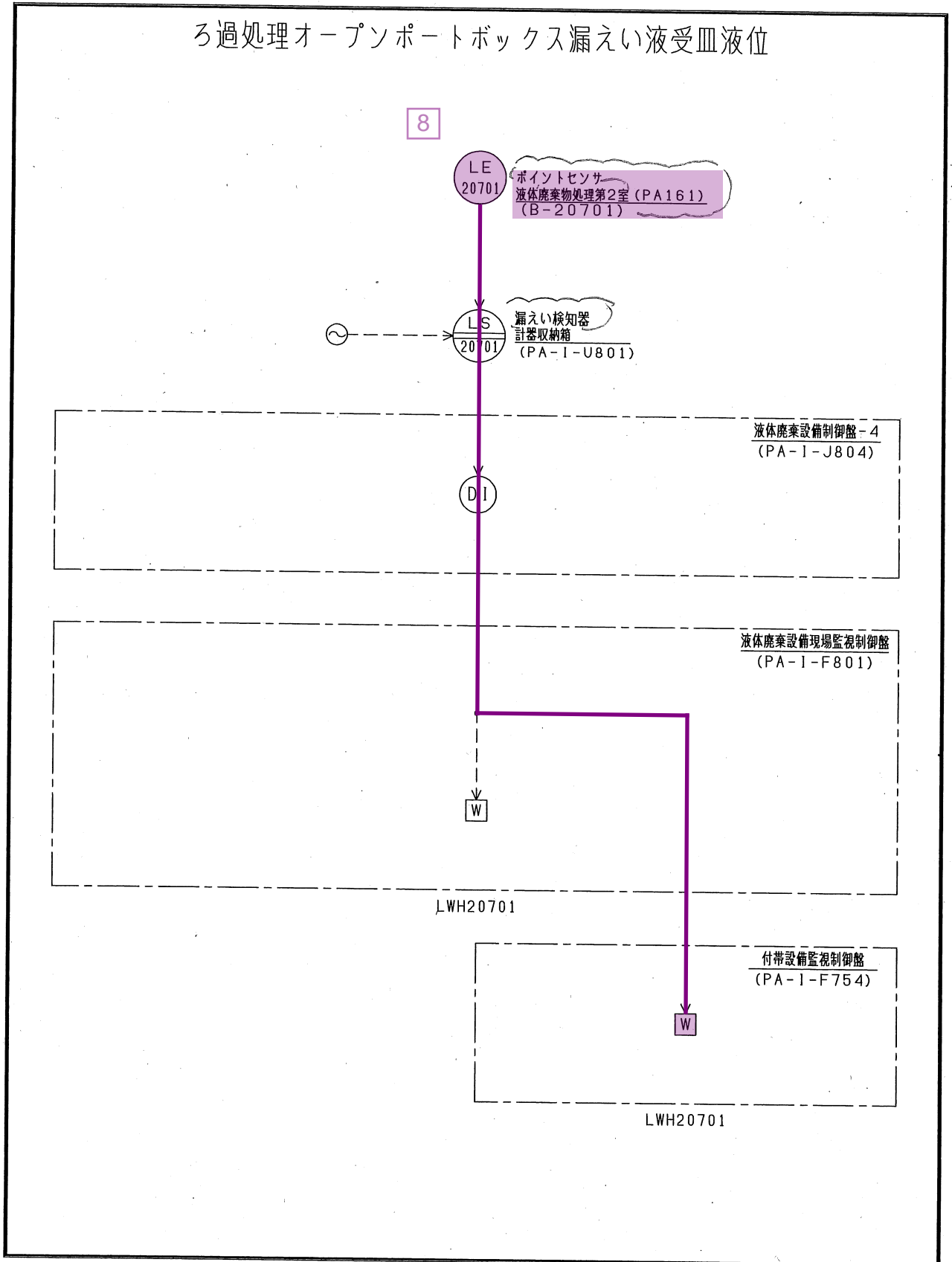
燃料加工建屋 液体廃棄設備 (J)

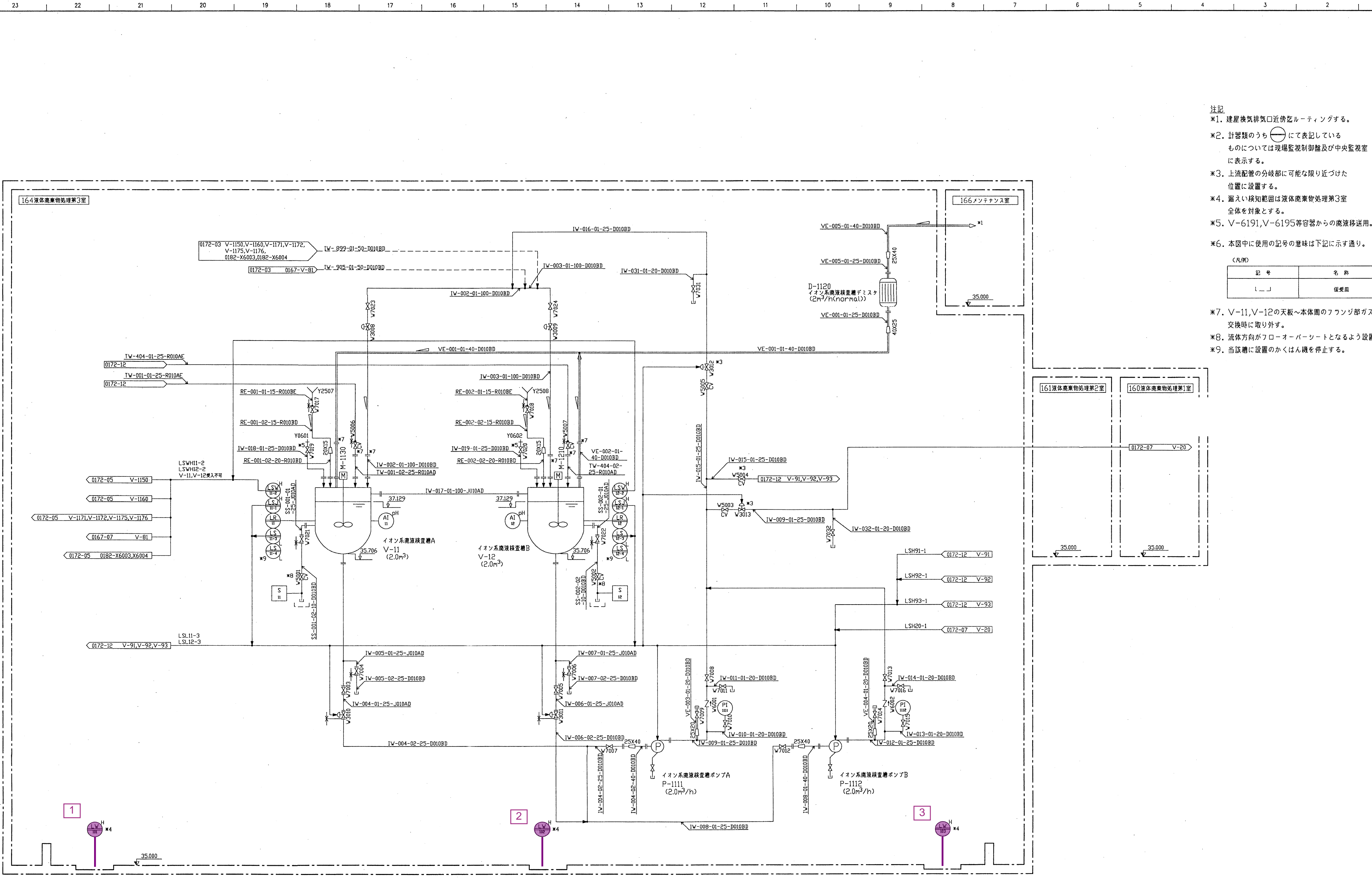
液体廃棄設備 (PA0172)

### 吸着処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位



ろ過処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位





- 注記
- \*1. 建屋換気排気口近傍をルーティングする。
  - \*2. 計器類のうち にて表記しているものについては現場監視制御盤及び中央監視室に表示する。
  - \*3. 上流配管の分岐部に可能な限り近づけた位置に設置する。
  - \*4. 漏えい検知範囲は液体廃棄物処理第3室全体を対象とする。
  - \*5. V-6191, V-6195等容器からの廃液移送用。
  - \*6. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

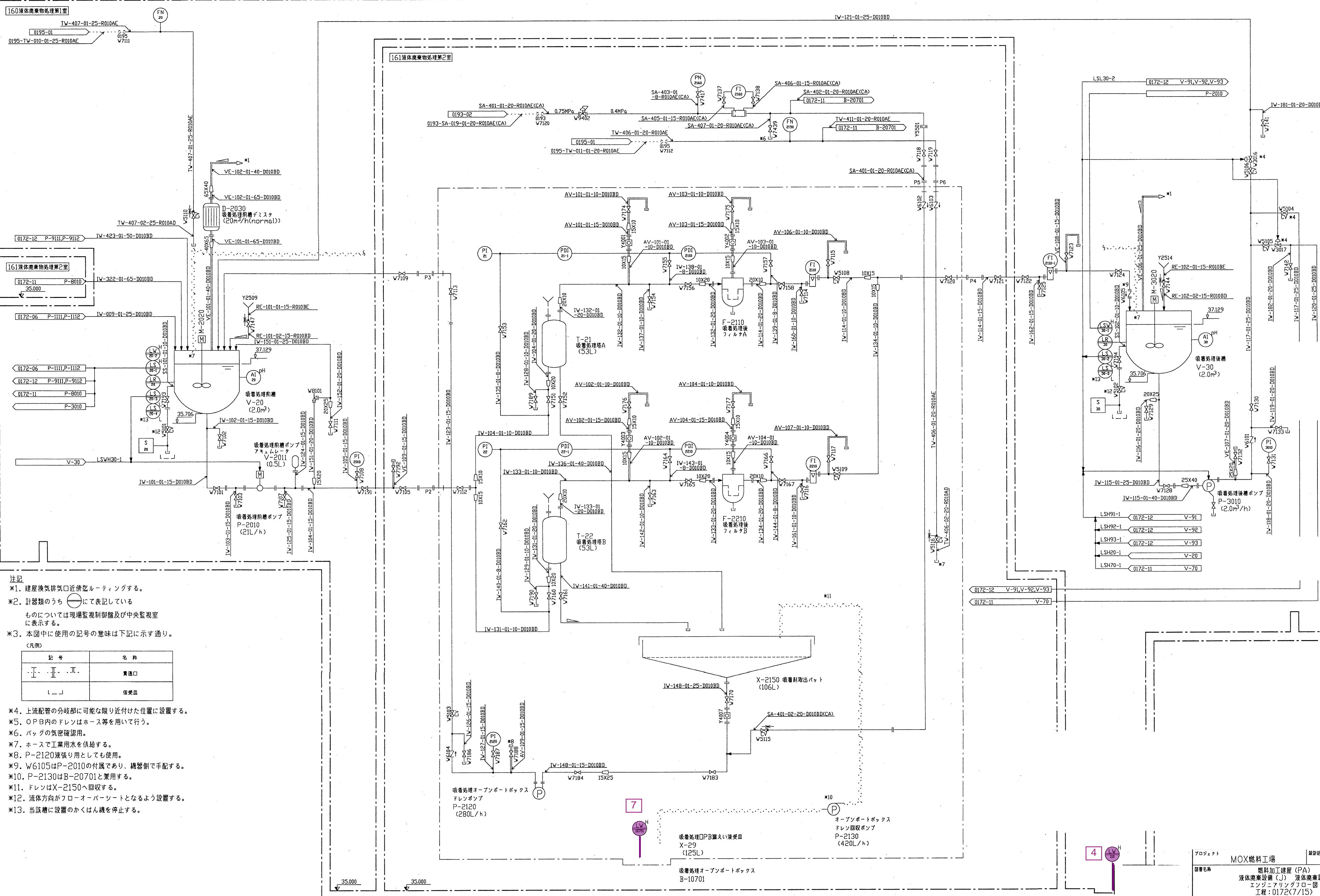
(凡例)

記号	名称
	検知範囲

- \*7. V-11, V-12の天板~本体間のフランジ部がasket交換時に取り外す。
- \*8. 流体方向がフローオーバーシートとなるよう設置する。
- \*9. 当該部に設置のかくはん機を停止する。

プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 液体廃棄設備 (J) 液体廃棄設備 エンジニアリングフロー図 工程: 0172(6/15)		
客先図番	PM-0172-4421-012	改訂	11



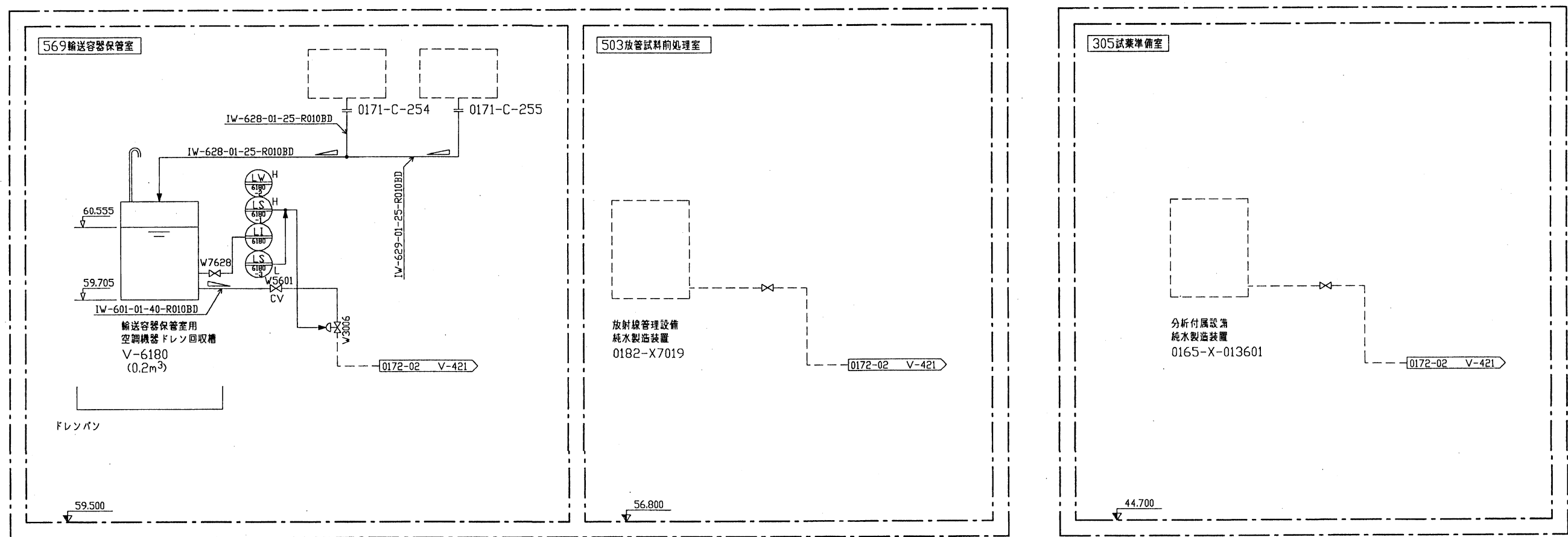


- 注記
- \*1. 建屋換気排気口近傍をルーティングする。
  - \*2. 計器類のうち にて表記しているものについては現場監視制御盤及び中央監視室に表示する。
  - \*3. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  
(凡例)
- | 記号 | 名称  |
|----|-----|
|    | 貫通口 |
|    | 受受皿 |
- \*4. 上流配管の分岐部に可能な限り近付けた位置に設置する。
  - \*5. OPB内のドレンはホース等を用いて行う。
  - \*6. バッグの気密確認用。
  - \*7. ホースで工業用水を供給する。
  - \*8. P-2120減張り用としても使用。
  - \*9. W6105はP-2010の付属であり、機器側で手配する。
  - \*10. P-2130はB-20701と兼用する。
  - \*11. ドレンはX-2150へ回収する。
  - \*12. 流体方向がフローオーバーシートとなるよう設置する。
  - \*13. 当該槽に設置のかくはん機を停止する。

プロジェクト MOX燃料工場 設計区分 P

図番名称 燃料加工建屋 (PA) 液体廃棄設備 (C) 液体廃棄設備エンジニアリングチーム 工号: 0172(7/15)

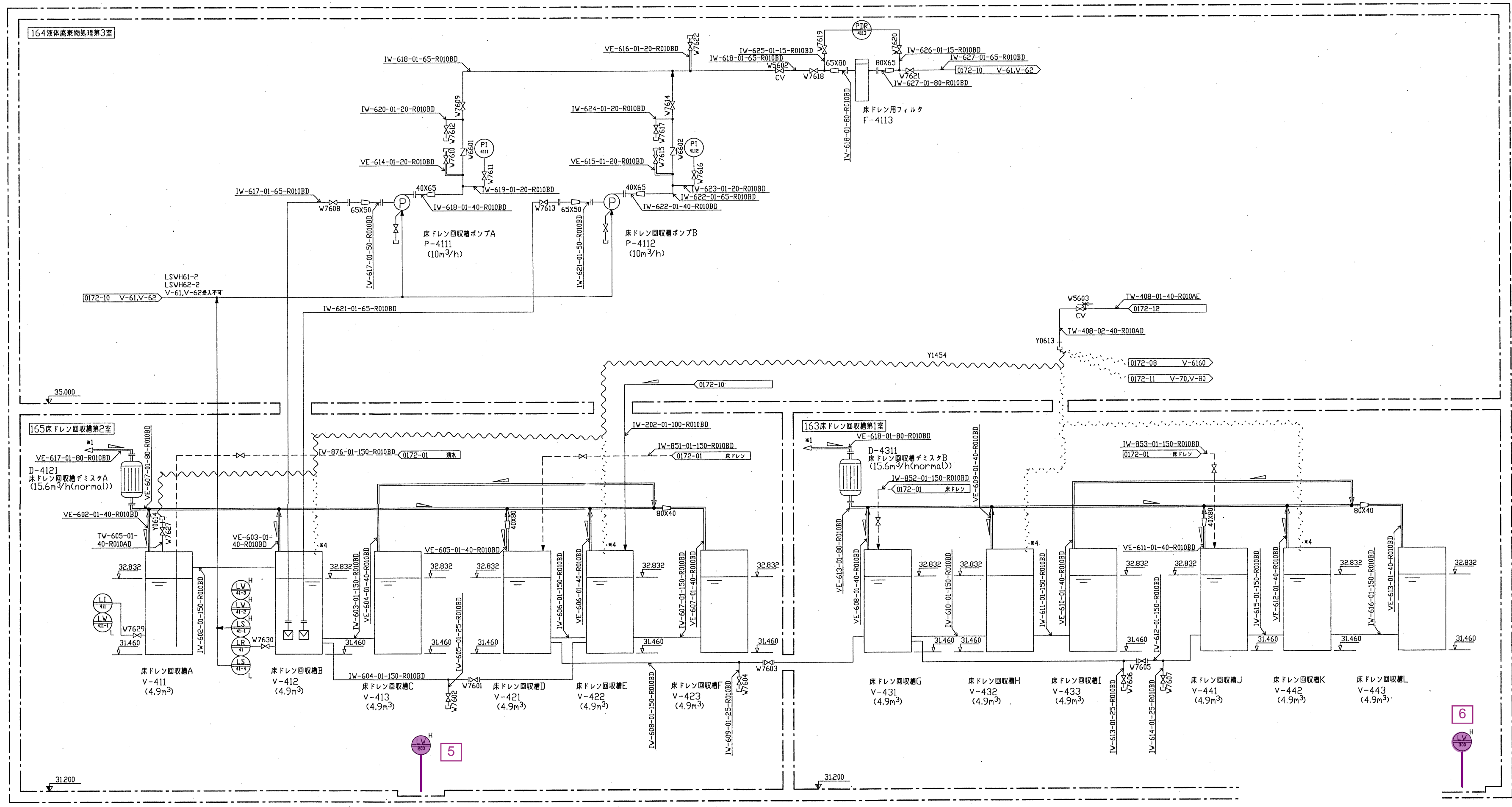
発行図番番号 PM-0172-4421-013 表紙 13



注記  
 \*1. 建屋換気排気口近傍をルーティングする。  
 \*2. 計器類のうち にて表記しているものについては現場監視制御盤及び中央監視室に表示する。  
 \*3. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  
 (凡例)  

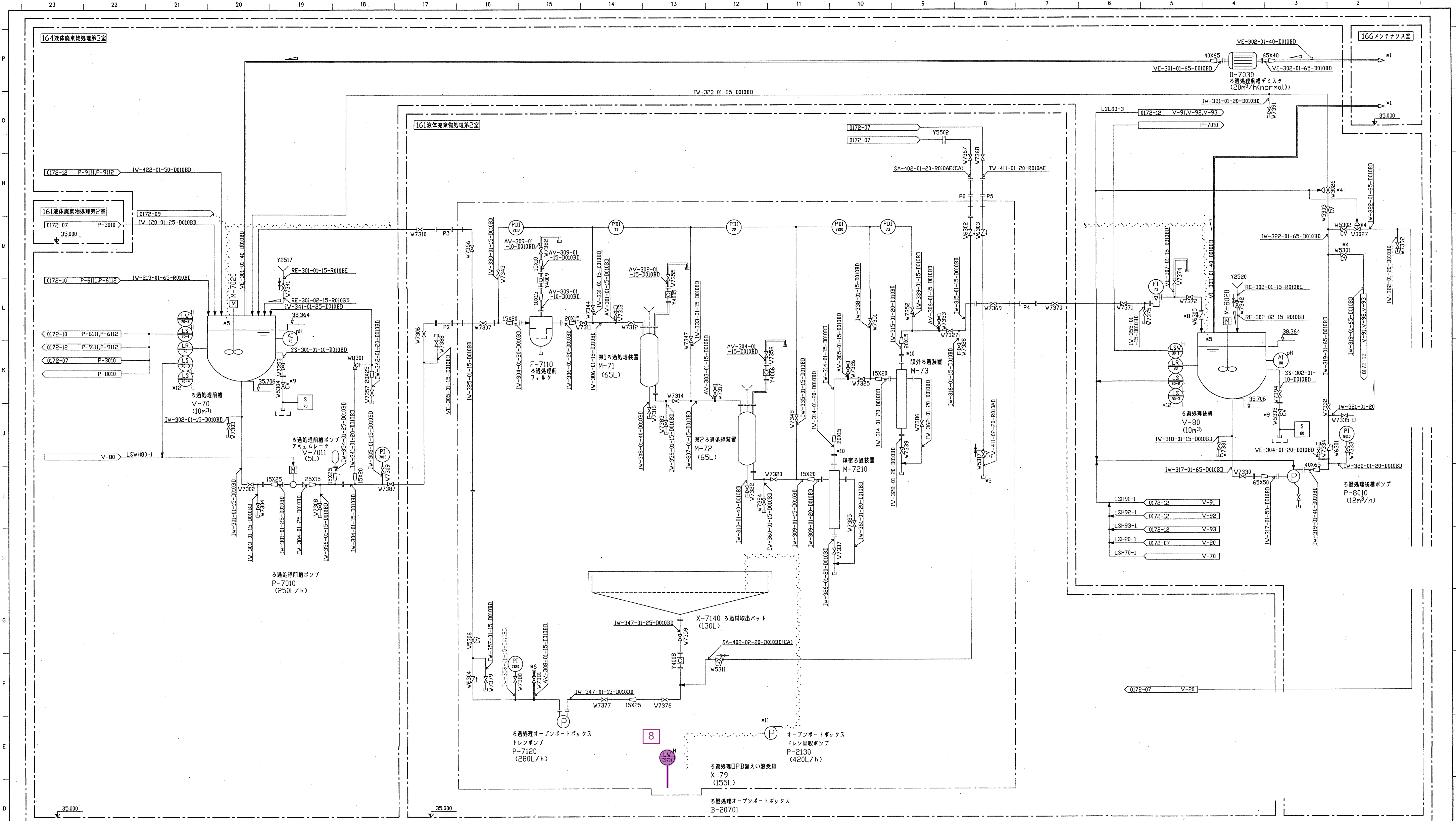
記号	名称
	床又は壁貫通スリーブ

 \*4. ホースで工業用水を供給する。




プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
設備名称	燃料加工建屋 (PA) 液体廃棄設備 (J) 液体廃棄設備 エンジニアリングフロー図 工程: 0172(9/15)		
客先図番番号	PM-0172-4421-015	改訂	9







注記  
 \*1. 建屋換気排気口近傍にルーティングする。

\*2. 計器類のうち  で表記しているものについては現場監視制御盤及び中央監視室に表示する。

\*3. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  
 (凡例)

記号	名称
	異議口
	仮受皿

\*4. 上流配管の分岐部に可能な限り近付けた位置に設置する。  
 \*5. ホースで工業用水を供給する。  
 \*6. P-7120 溢張り用としても使用。  
 \*7. OPB内のフレンはホース等を用いて行う。

\*8. W6305はP-7010の付属であり、機器側で手配する。  
 \*9. 流体方向がフローオーバーシートとなるよう設置する。  
 \*10. エレメント交換時に取り外す。  
 \*11. P-2130はB-10701と兼用する。  
 \*12. 当該槽に設置のかくはん機を停止する。

ろ過処理オープンポートボックス  
 フレンポンプ  
 P-7120  
 (280L/h)

ろ過処理オープンポートボックス  
 フレンポンプ  
 P-2130  
 (420L/h)

ろ過処理オープンポートボックス  
 フレンポンプ  
 P-8010  
 (12m<sup>3</sup>/h)

プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋 (PA) 液体廃棄設備 (J) 液体廃棄設備 エンジニアリングフロー図 工程: 0172(11/15)		
発行図番	PM-0172-4421-017	改訂	11



## 2. 2 申請対象設備抽出結果

### (分析済液処理装置 (漏えい検知))

施 設	その他加工施設の附属施設
設 備	核燃料物質の検査設備 分析設備
機 器	分析済液処理装置 (漏えい検知)

	施設区分	設備区分					機器名称(許可)
【対象機器】	その他加工設備の附属施設	—	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	分析済液処理装置
【主たる機能】	分析済液処理装置 漏えい検知						

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分	設備区分					機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	その他加工設備の附属施設	—	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	—	分析済液処理装置	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス漏えい液受血液位	計装/放管設備(計測装置)	PA0167-LE-94	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	電極式漏えい検出器
PA0167-LE-95											電極式漏えい検出器								
3	その他加工設備の附属施設	—	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	—	分析済液処理装置	第2活性炭・吸着処理グローブボックス漏えい液受血液位	計装/放管設備(計測装置)	PA0167-LE-97	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	電極式漏えい検出器
4											PA0167-LE-98								電極式漏えい検出器
5	その他加工設備の附属施設	—	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	—	分析済液処理装置	分析済液中和固液分離グローブボックス漏えい受血液位	計装/放管設備(計測装置)	PA0167-LE-90	燃料加工建屋	5	2	新設	非安重	—	—	電極式漏えい検出器
6											PA0167-LE-91								電極式漏えい検出器
7											PA0167-LE-92								電極式漏えい検出器
8											PA0167-LE-93								電極式漏えい検出器
9											PA0167-LE-93-1								電極式漏えい検出器
10	その他加工設備の附属施設	—	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	—	分析済液処理装置	払出前希釈槽下部堰内漏えい液位	計装/放管設備(計測装置)	PA0167-LE-100	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	電極式液位検出器

設計区分	P	客先 図書番号	PM-0160-4522-001	改訂 5
<p><b>日本原燃株式会社 殿</b></p> <hr/> <p>MOX燃料工場</p> <hr/> <p>燃料加工建屋 (PA)</p> <hr/> <p>計測制御設備 (G)</p> <hr/> <p>計装ループブロック図</p>				



## 目次

工程	TAG No.	計測点名称	SHEET No.	頁	
	PA0167	L-60	第2活性炭処理供給槽液位	639	380
	PA0167	P-61	第2活性炭処理塔入口圧力	640	381
	PA0167	PD-61-2	第2活性炭処理塔出口圧力	641	382
	PA0167	L-65	第2活性炭処理液受槽液位	642	383
	PA0167	L-70	吸着処理供給槽液位	643	384
	PA0167	P-71	吸着処理塔入口圧力	644	385
	PA0167	PD-71-2	吸着処理塔出口圧力	645	386
	PA0167	L-72	吸着処理液受槽A液位	646	387
	PA0167	L-73	吸着処理液受槽B液位	647	388
	PA0167	L-80	希釈槽液位	648	389
	PA0167	A-81	払出前希釈槽pH	649	390
	PA0167	L-81	払出前希釈槽液位	650	391
	PA0167	L-84	分析済液中和固液分離処理ドレン回収槽液位	651	392
	PA0167	L-85	ろ過・第1活性炭処理ドレン回収槽液位	652	393
	PA0167	L-87	第2活性炭・吸着処理ドレン回収槽液位	653	394
5	PA0167	L-90	分析済液中和固液分離GB漏えい液受皿1液位	654	395
6	PA0167	L-91	分析済液中和固液分離GB漏えい液受皿2液位	655	396
7	PA0167	L-92	分析済液中和固液分離GB漏えい液受皿3液位	656	397
8	PA0167	L-93	分析済液中和固液分離GB漏えい液受皿4液位	657	398
9	PA0167	L-93-1	分析済液中和固液分離GB漏えい液位	658	399
1	PA0167	L-94	ろ過・第1活性炭処理GB漏えい液受皿1液位	659	400
2	PA0167	L-95	ろ過・第1活性炭処理GB漏えい液受皿2液位	660	401
3	PA0167	L-97	第2活性炭・吸着処理GB漏えい液受皿1液位	662	402
4	PA0167	L-98	第2活性炭・吸着処理GB漏えい液受皿2液位	663	403
10	PA0167	L-100	払出前希釈槽下部堰内漏えい液液位	664	404
	PA0167	C-1101	中和液ろ過装置A導電率	665	405
	PA0167	F-1101	中和液ろ過装置A工業用水量	666	406
	PA0167	C-1201	中和液ろ過装置B導電率	667	407
	PA0167	F-1201	中和液ろ過装置B工業用水量	668	408
	PA0167	P-1530	中和ろ液受槽遠心分離処理供給ポンプ出口圧力	671	409
	PA0167	P-2320	排ガス洗浄塔デミスタ出口排ガス圧力	674	410
	PA0167	P-5110	第1活性炭処理第1プレフィルタ入口圧力	677	411
	PA0167	PD-5110-2	第1活性炭処理第1プレフィルタ出口圧力	678	412
	PA0167	PD-5120	第1活性炭処理第2プレフィルタ出口圧力	679	413
	PA0167	PD-7110	吸着処理アフタフィルタ出口圧力	680	414
	PA0167	PD-10701	分析済液中和固液分離グローブボックス圧力1	700	415
	PA0167	T-10701	分析済液中和固液分離グローブボックス温度	701	416
	PA0167	X-10701	分析済液中和固液分離グローブボックス温度上昇率	702	417
	PA0167	-	分析済液中和固液分離グローブボックス火災	703	418
	PA0167	-	分析済液中和固液分離グローブボックス異常	703-1	419
	PA0167	PD-10841	分析済液中和固液分離グローブボックス排気フィルタ差圧	704	420
	PA0167	PD-30701	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス圧力1	705	421
	PA0167	T-30701	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス温度	706	422
	PA0167	X-30701	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス温度上昇率	707	423
	PA0167	-	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス火災	708	424
	PA0167	-	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス異常	708-1	425
	PA0167	PD-30841	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス排気フィルタ差圧	709	426
	PA0167	PD-40701	第2活性炭・吸着処理グローブボックス圧力1	710	427
	PA0167	T-40701	第2活性炭・吸着処理グローブボックス温度	711	428
	PA0167	X-40701	第2活性炭・吸着処理グローブボックス温度上昇率	712	429
	PA0167	-	第2活性炭・吸着処理グローブボックス火災	713	430
	PA0167	-	第2活性炭・吸着処理グローブボックス異常	713-1	431
	PA0167	PD-40841	第2活性炭・吸着処理グローブボックス排気フィルタ差圧	714	432